

2 小学生（6歳～11歳）調査

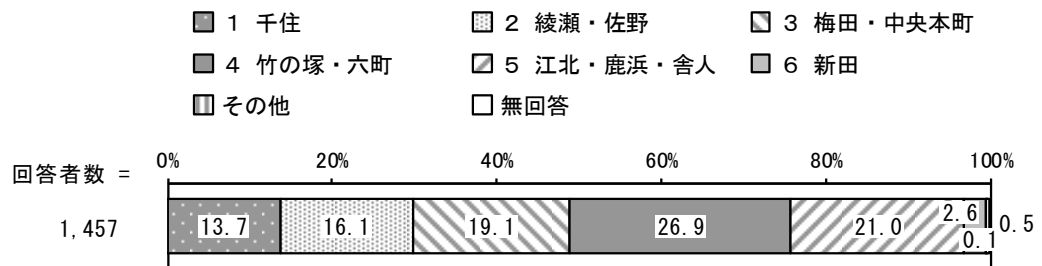
2-1 居住地区について

2-1-1 住んでいる地区

問1 お住まいの地区をカッコ内にご記入ください。

「4 竹の塚・六町」地域の割合が26.9%と最も多く、次いで「5 江北・鹿浜・舎人」地域の割合が21.0%、「3 梅田・中央本町」地域の割合が19.1%となっている。

図表 211 居住地区（提供区域別）



※回答対象は小学生対象調査の全員

※重複回答は「その他」に分類している

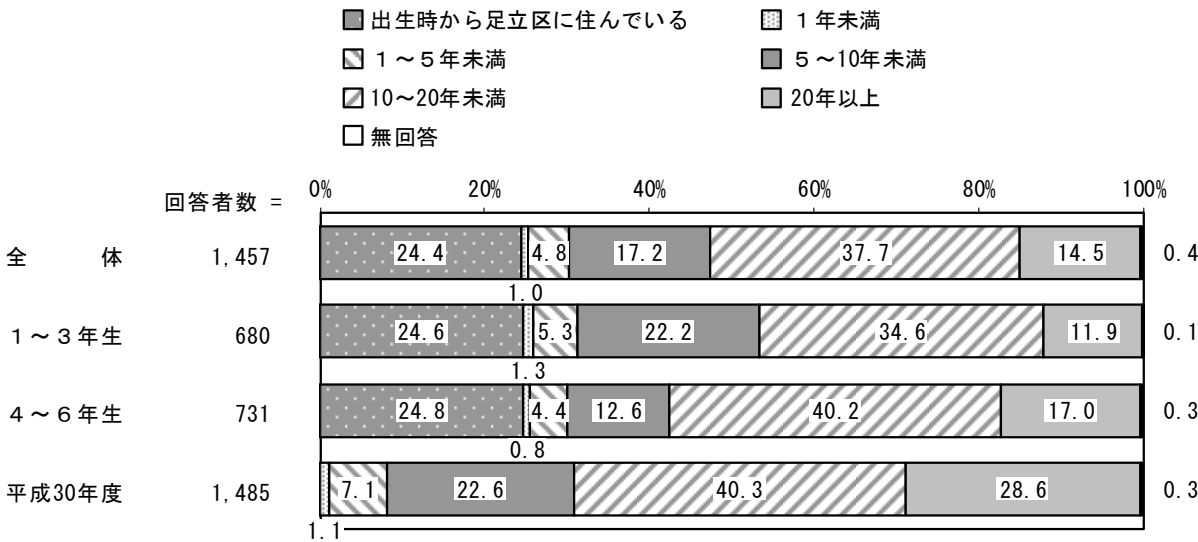
2-1-2 足立区内の居住年数

問2 あなたは足立区に住んで何年になりますか（○は1つだけ）。

全体では「10～20 年未満」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「出生時から足立区に住んでいる」の割合が 24.4%、「5～10 年未満」の割合が 17.2%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3 年生で「5～10 年未満」の割合が高くなっている。

図表 212 足立区内の居住年数



※平成 30 年度調査は「出生時から足立区に住んでいる」の選択肢がなく単純比較ができないため、参考表記とする
※回答対象は小学生対象調査の全員

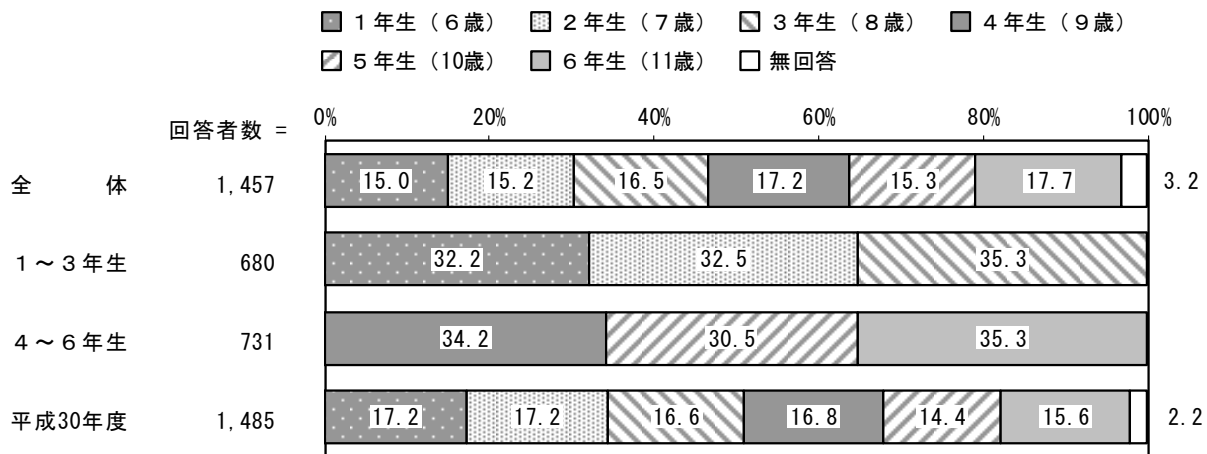
2-2 子どもと家族の状況について

2-2-1 子どもの年齢

問3 お子さんの生年月月をご記入ください（カッコ内に数字で）。

全体では、「6年生（11歳）」の割合が17.7%と最も高く、次いで「4年生（9歳）」の割合が17.2%、「3年生（8歳）」の割合が16.5%となっている。
平成30年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 213 子どもの年齢



※回答対象は小学生対象調査の全員

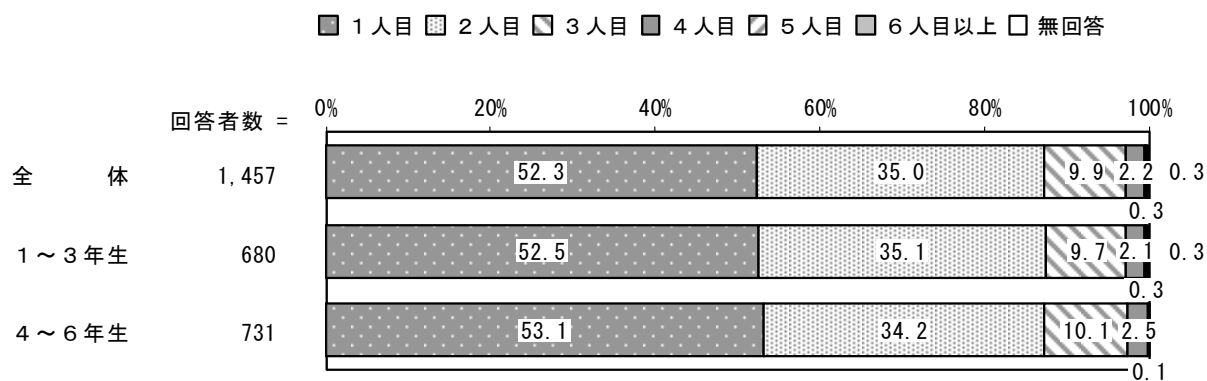
2-2-2 何番目の子どもか

問4 お子さんはご回答いただく方にとって何番目のお子さんですか（○は1つだけ）。

全体では、「1人目」の割合が52.3%と最も高く、次いで「2人目」の割合が35.0%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 214 何番目の子どもか



※回答対象は小学生対象調査の全員

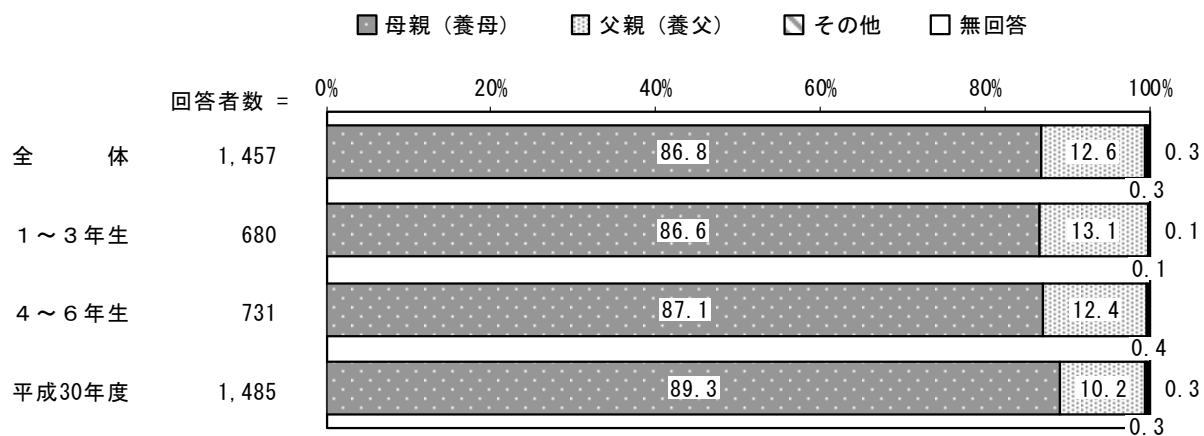
調査結果 小学生

2-2-3 調査票の記入者

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか（○は1つだけ）。
 お子さんから見た関係でお答えください。なお、祖父母などの方は3その他
 （ ）に記載をお願いします。

全体では、「母親（養母）」の割合が86.8%、「父親（養父）」の割合が12.6%となっている。
 学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。
 平成30年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 215 調査票の記入者



※回答対象は小学生対象調査の全員

2-2-4 調査票記入者の配偶者の有無

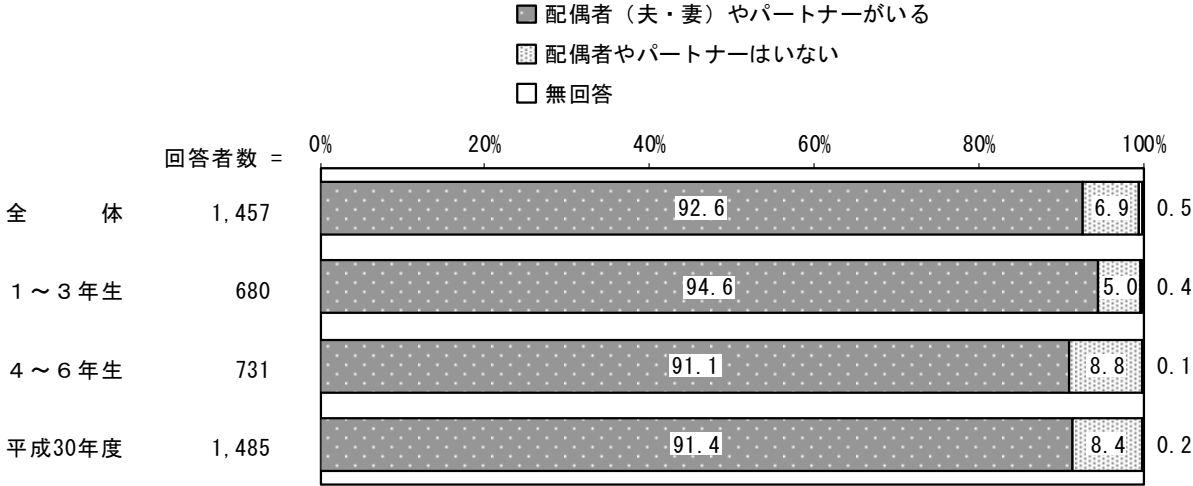
問6 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか
(○は1つだけ)。

全体では、「配偶者（夫・妻）やパートナーがいる」の割合が 92.6%、「配偶者やパートナーはいない」の割合が 6.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 216 調査票記入者の配偶者の有無



※回答対象は小学生対象調査の全員

2-2-5 子育てを主に行っている方

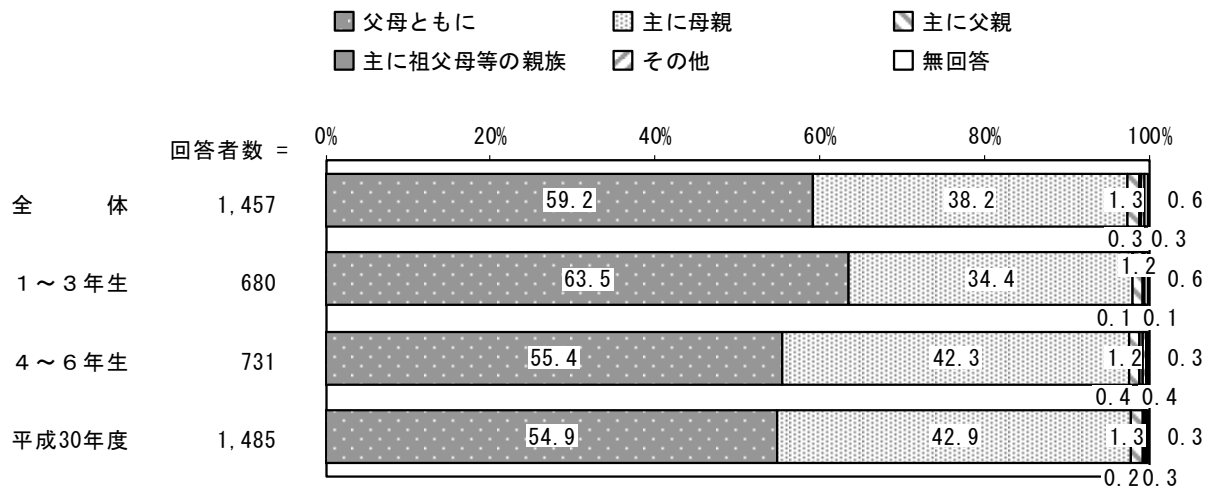
問7 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください（○は1つだけ）。

全体では、「父母ともに」の割合が59.2%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が38.2%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 217 子育てを主に行っている方



※回答対象は小学生対象調査の全員

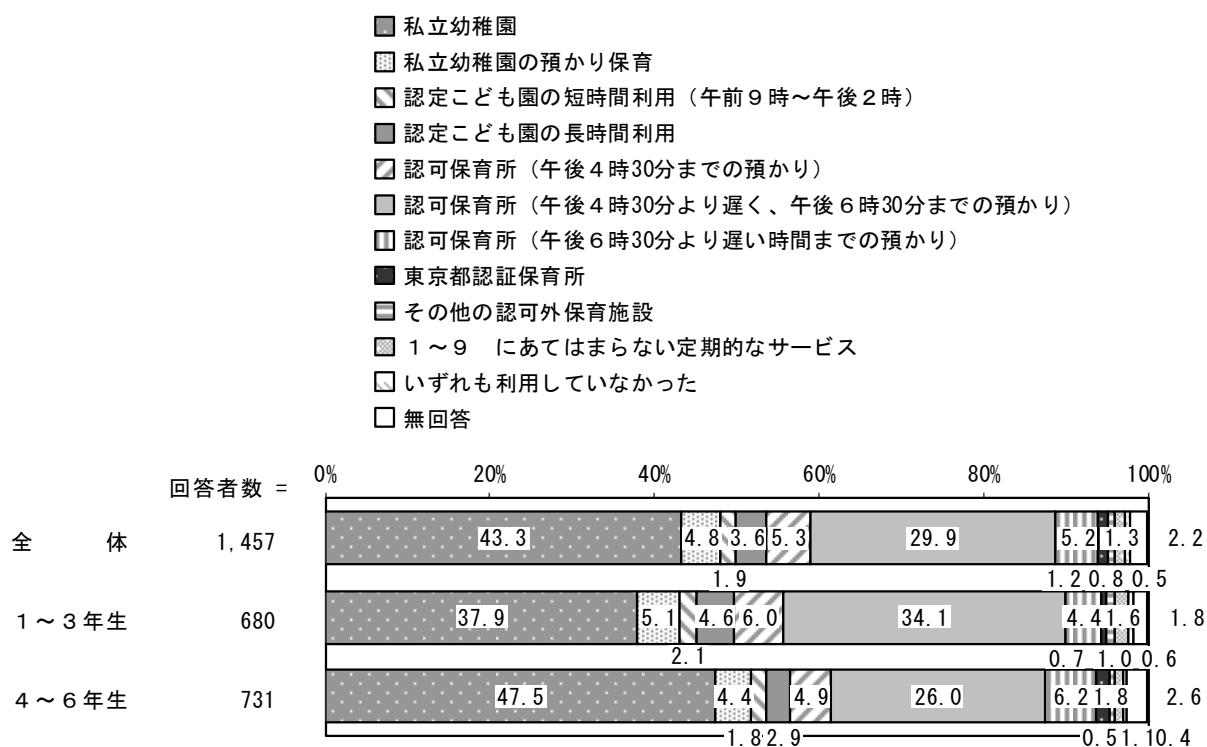
2-3 就学前の教育・保育事業の利用状況について

問8 お子さんが小学校に入学する直前の年度に、平日、定期的に利用していた教育・保育事業をお答えください（○は1つだけ）。
 ※年度内に利用する教育・保育事業を変更した場合は、直近で利用していた事業をお答えください。
 ※複数の事業を同時に利用していた場合は、主に利用していた事業をお答えください。

全体では、「私立幼稚園」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「認可保育所（午後4時30分より遅く、午後6時30分までの預かり）」の割合が 29.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 218 就学前の教育・保育事業の利用状況



※回答対象は小学生対象調査の全員

2-4 子育て環境について

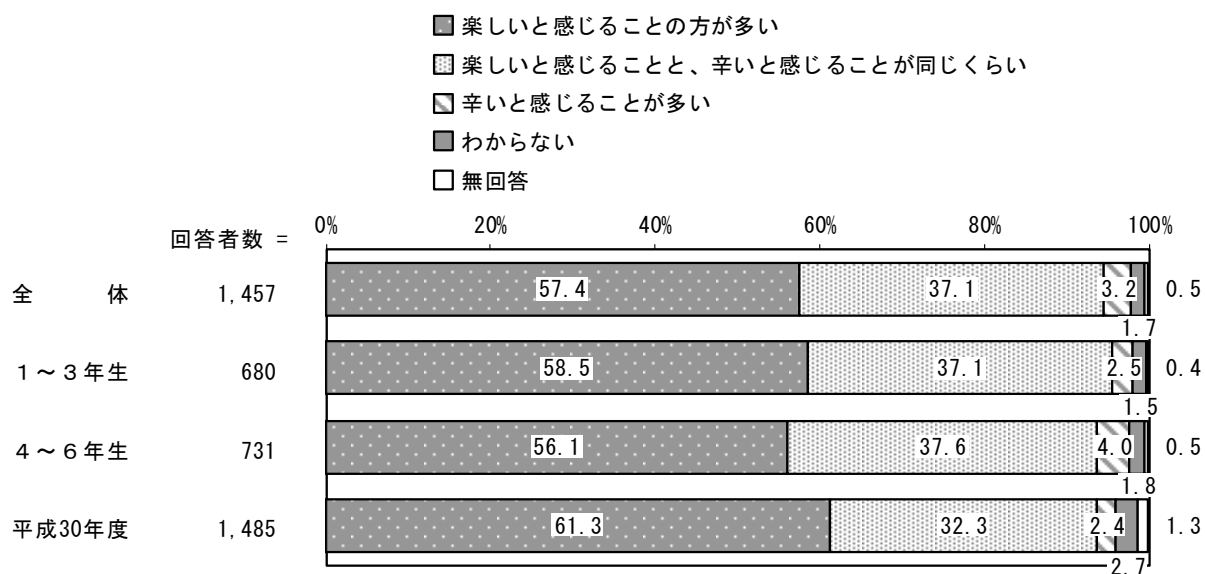
問9 あなたは、子育てをどのように感じていますか（○は1つだけ）。

全体では、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい」の割合が 37.1%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 219 子育てについての感想



※回答対象は小学生対象調査の全員

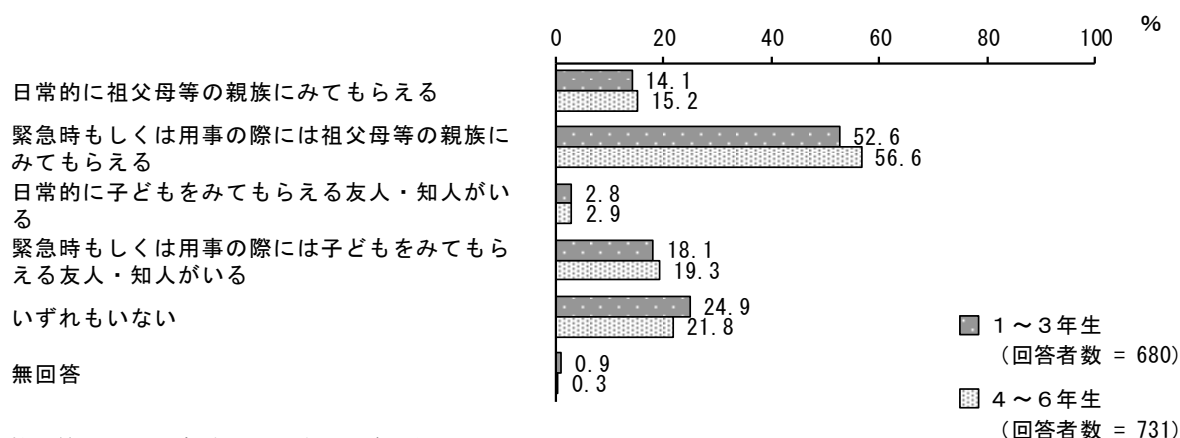
2-4-1 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問 10 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人はいますか
(あてはまるものすべてに○)。

全体では、1～3年生と4～6年生共に「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が52.6%、56.6%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が24.9%、21.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が18.1%、19.3%となっている。

学年別でみると、大きな差はみられない。

図表 220 子どもをみてもらえる親族・知人の有無



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は小学生対象調査の全員

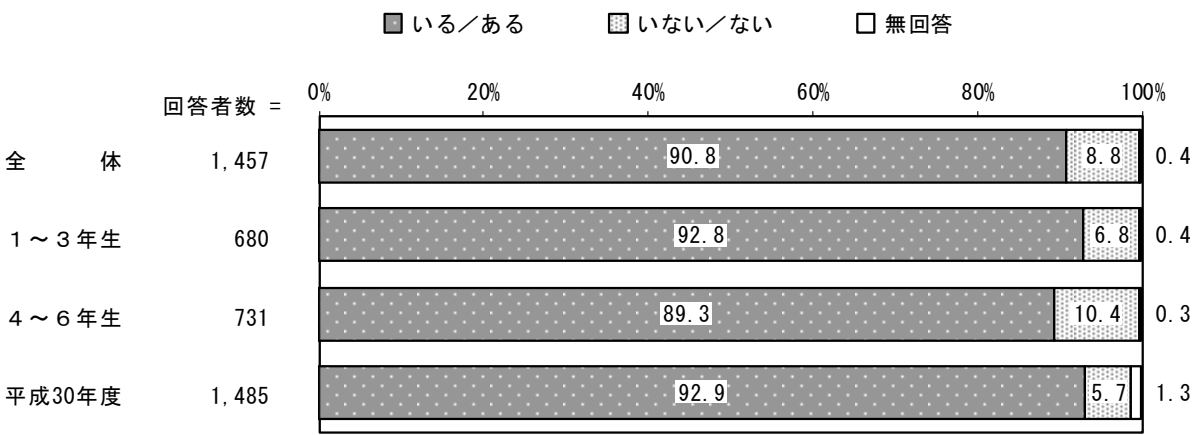
調査結果 小学生

2-4-2 子育てについて相談できる人・場所の有無

問 11 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
または相談できる場所がありますか（○は1つだけ）。

全体では、「いる／ある」の割合が 90.8%、「いない／ない」の割合が 8.8%となっている。
学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。
平成 30 年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 221 子育てについて相談できる人・場所の有無



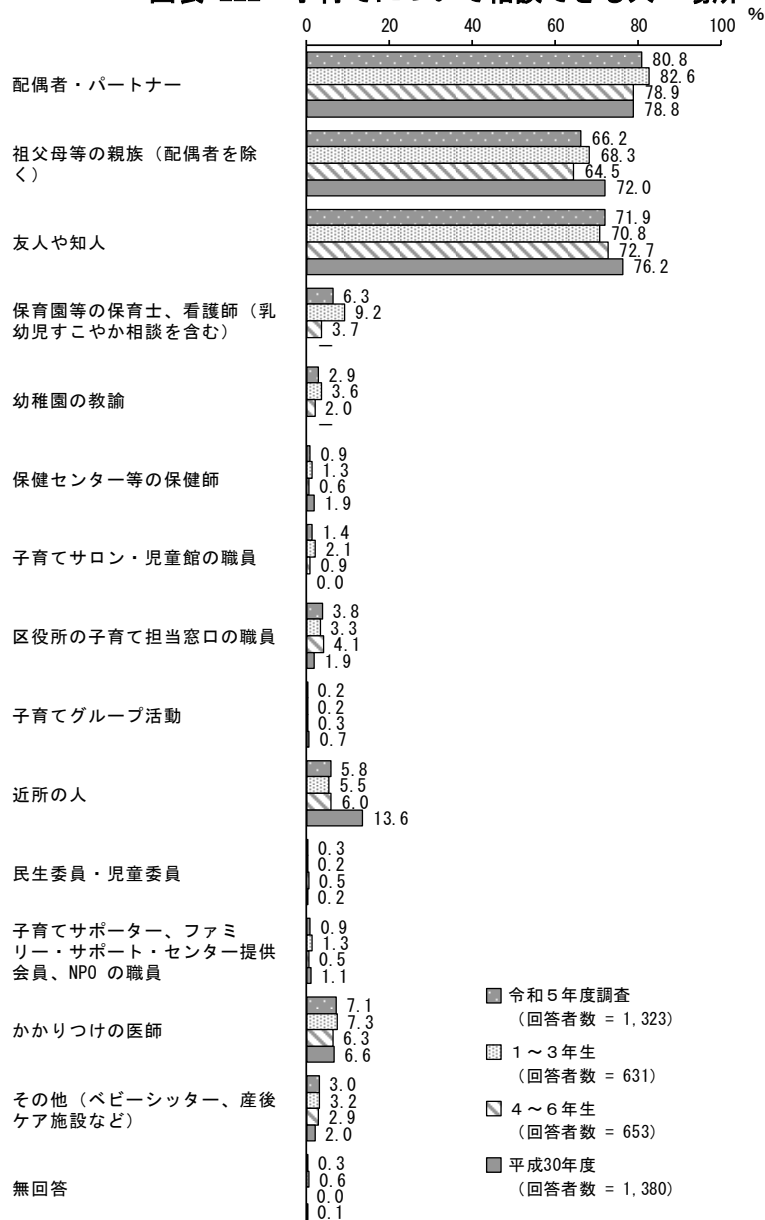
※回答対象は小学生対象調査の全員

2-4-3 子育てについて相談できる人・場所

問 11-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか（〇はあてはまるものすべて）。

全体では、1～3年生と4～6年生共に「配偶者・パートナー」の割合が82.6%、78.9%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が70.8%、72.7%、「祖父母等の親族（配偶者を除く）」の割合が68.3%、64.5%となっている。

図表 222 子育てについて相談できる人・場所



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問11で「いる／ある」と回答した人

※平成30年度調査で選択肢になかった項目は「—」としている。

調査結果 小学生

2-4-4 子育てに関する悩み

問 12 子育てに関して悩んでいることがありますか（あてはまるものすべてに○）。

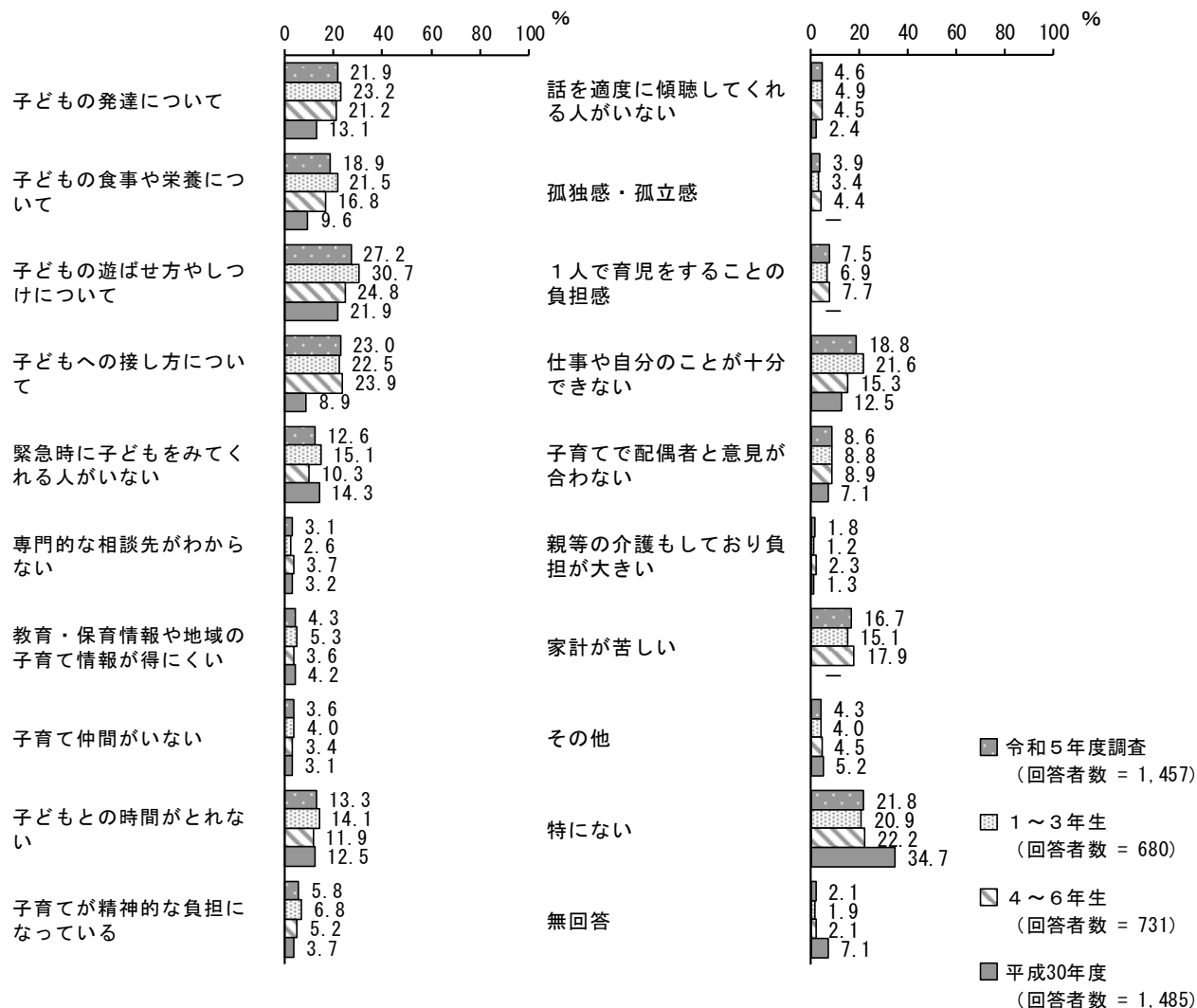
1～3年生で「子どもの遊ばせ方やしつけについて」の割合が30.7%と最も高く、次いで「子どもの発達について」の割合が23.2%、「子どもへの接し方について」の割合が22.5%となっている。

4～6年生で「子どもの遊ばせ方やしつけについて」の割合が24.8%と最も高く、次いで「子どもへの接し方について」の割合が23.9%、「特にない」の割合が22.2%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「子どもの遊ばせ方やしつけについて」「仕事や自分のことが十分できない」の割合が高くなっている。

平成30年度と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較はできないものの、「子どもの発達について」「子どもの食事や栄養について」「子どもの遊ばせ方やしつけについて」「子どもへの接し方について」の割合が増加している。

図表 223 子育てに関する悩み



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は小学生対象調査の全員

※平成30年度調査で選択肢になかった項目は「—」としている。

2-5 保護者の就労状況について

2-5-1 母親

2-5-1-1 母親の就労状況

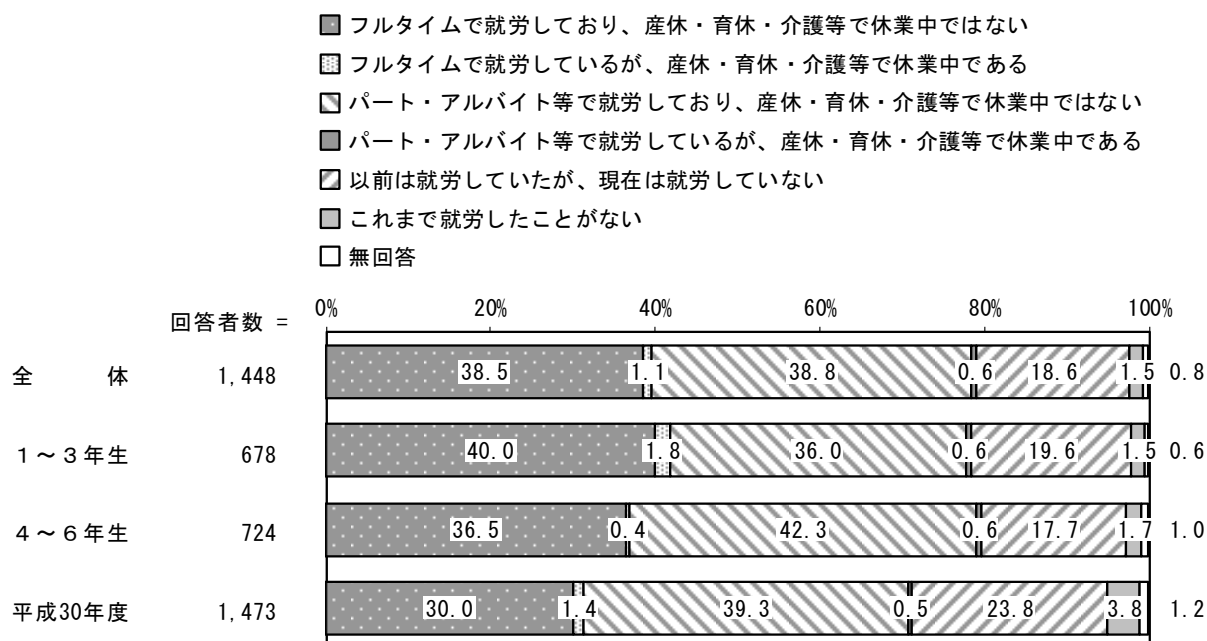
問 13 お母さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

全体では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護等で休業中ではない」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護等で休業中ではない」の割合が 38.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 18.6%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護等で休業中ではない」の割合が増加している。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少している。

図表 224 母親の就労状況



※回答対象は小学生対象調査の全員（父子家庭を除く）

2-5-1-2 フルタイムの母親の就労状況

問 13-1 お母さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

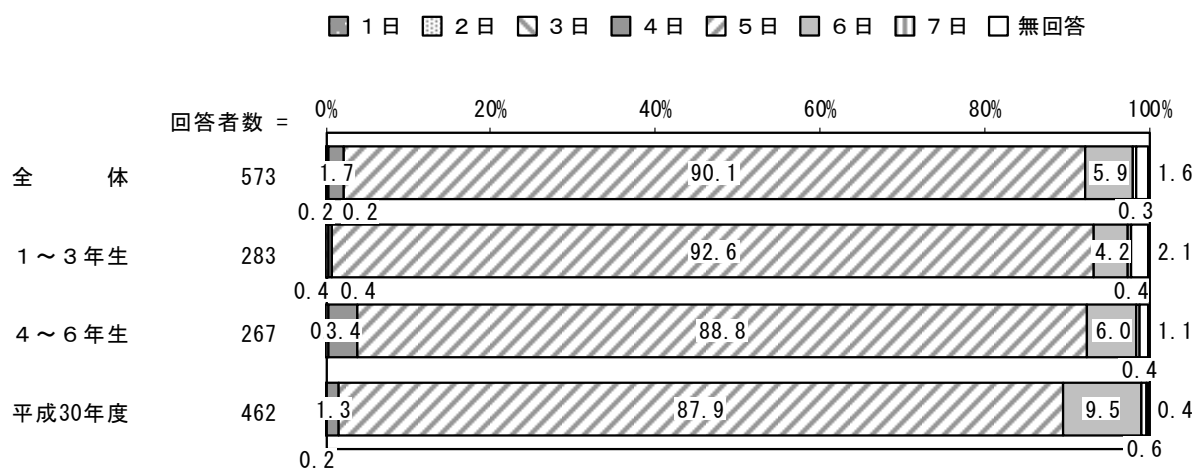
(1) 1週あたりの就労日数

全体では、「5日」の割合が90.1%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 225 1週あたりの就労日数（フルタイムの母親）



※回答対象は問 13 で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

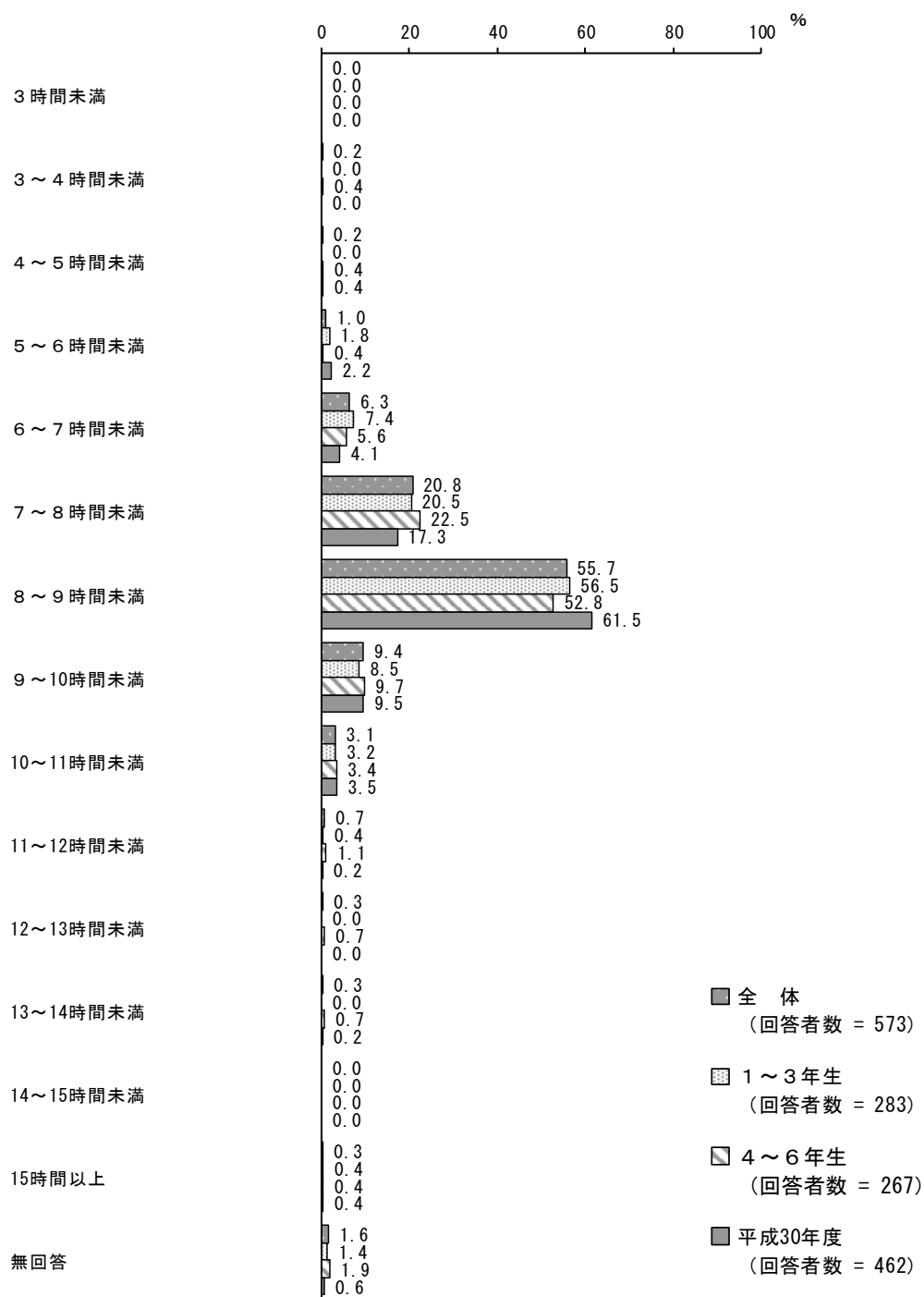
(2) 1日あたり就労時間（残業時間を含む）

1～3年生と4～6年生共に「8～9時間未満」の割合が56.5%、52.8%と最も高く、次いで「7～8時間未満」の割合が20.5%、22.5%、「9～10時間未満」の割合が8.5%、9.7%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、「8～9時間未満」の割合が減少している。

図表 226 1日あたり就労時間（フルタイムの母親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

調査結果 小学生

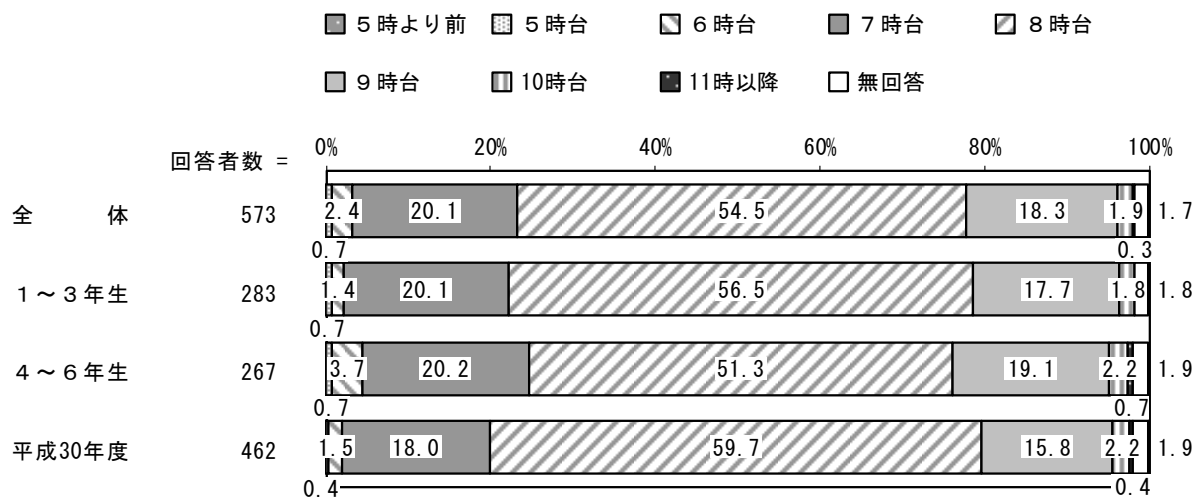
(3) 出勤時刻

全体では、「8時台」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が 20.1%、「9時台」の割合が 18.3%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度と比較すると、「8時台」の割合が減少している。

図表 227 出勤時刻（フルタイムの母親）



※回答には 12 時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は 24 時制で回答依頼）

※回答対象は問 13 で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

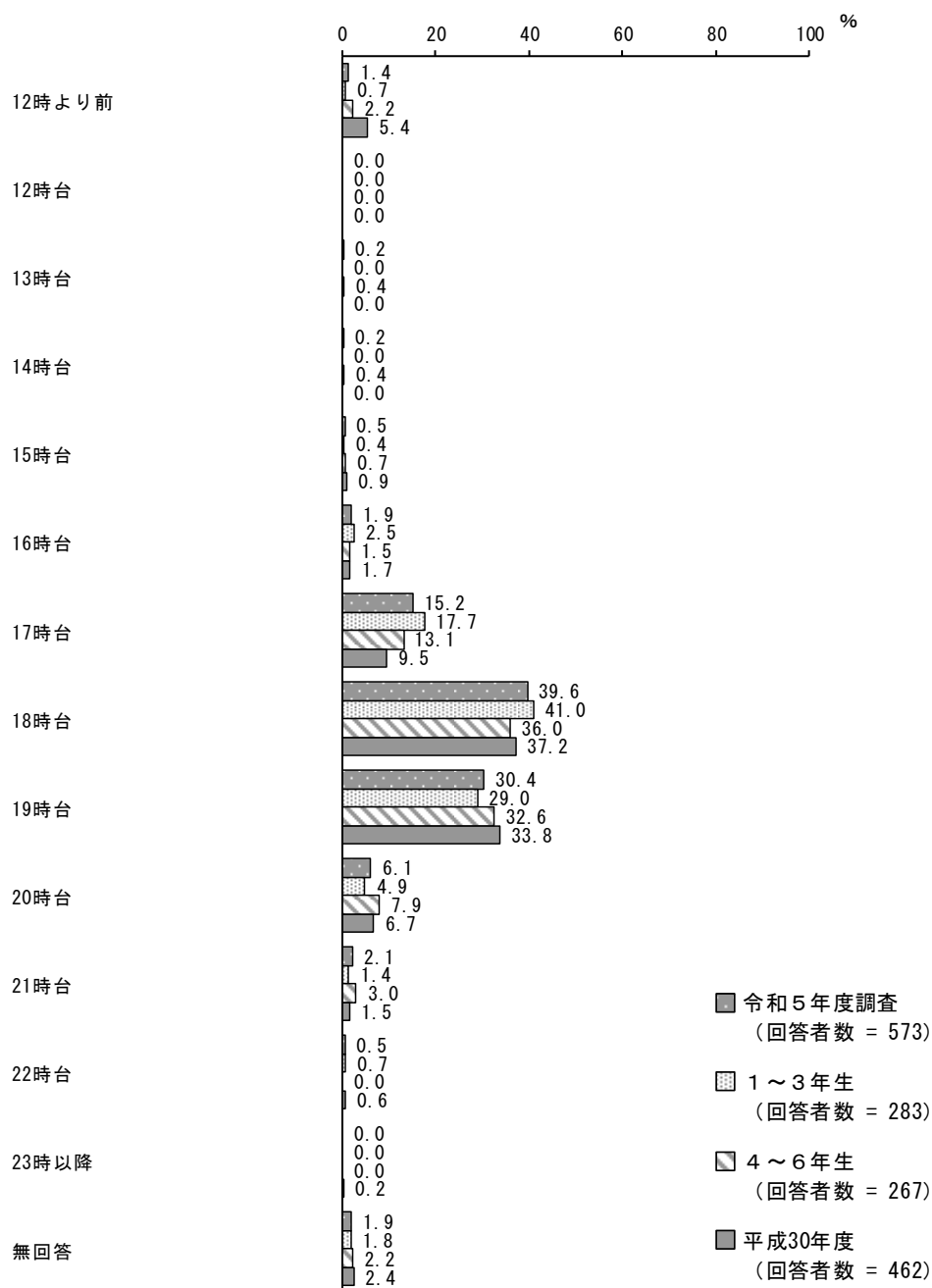
(4) 帰宅時刻

全体では、1～3年生と4～6年生共に「18 時台」の割合が 41.0%、36.0%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 29.0%、32.6%、「17 時台」の割合が 17.7%、13.1%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「18 時台」の割合が高くなっている。

平成 30 年度と比較すると、「17 時台」の割合が増加している。

図表 228 帰宅時刻（フルタイムの母親）



※回答には 12 時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は 24 時制で回答依頼）

※回答対象は問 13 で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

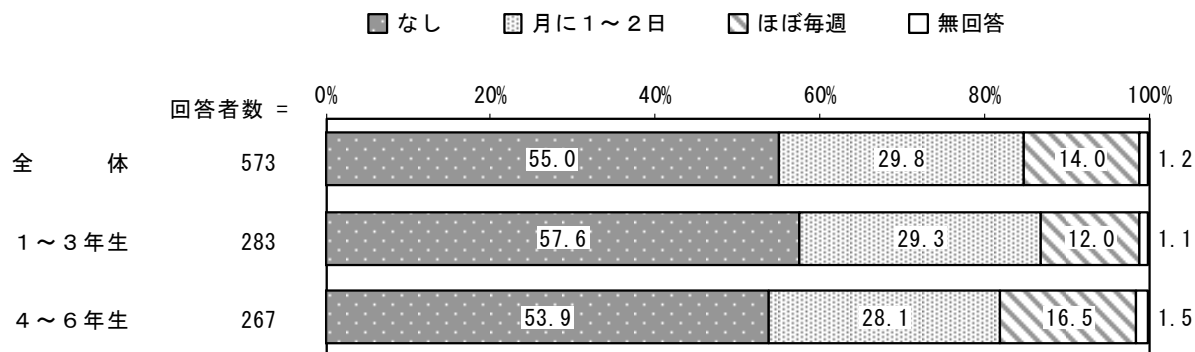
調査結果 小学生

(5) 土曜日の就労日数

全体では、「なし」の割合が55.0%と最も高く、次いで「月に1～2日」の割合が29.8%、「ほぼ毎週」の割合が14.0%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 229 土曜日の就労日数（フルタイムの母親）



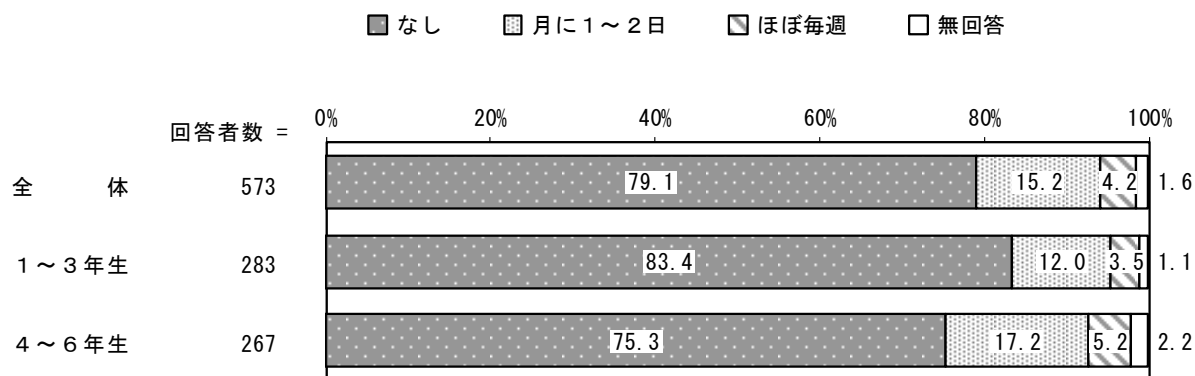
※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(6) 日曜日・祝日の就労日数

全体では、「なし」の割合が79.1%と最も高く、次いで「月に1～2日」の割合が15.2%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 230 日曜日・祝日の就労日数（フルタイムの母親）



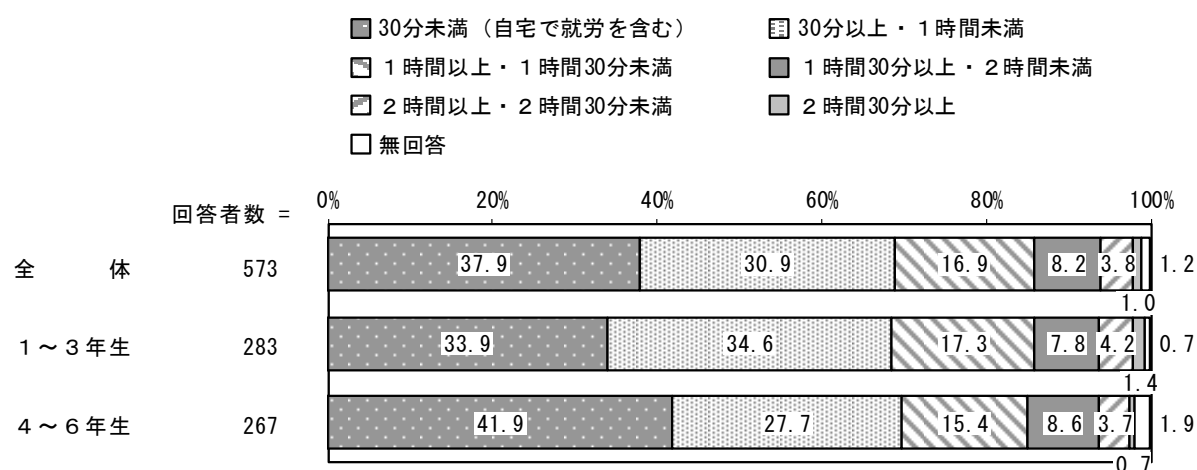
※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

全体では、「30 分未満（自宅就労を含む）」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「30 分以上・1 時間未満」の割合が 30.9%、「1 時間以上・1 時間 30 分未満」の割合が 16.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 231 通勤時間（フルタイムの母親）



※回答対象は問 13 で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

調査結果 小学生

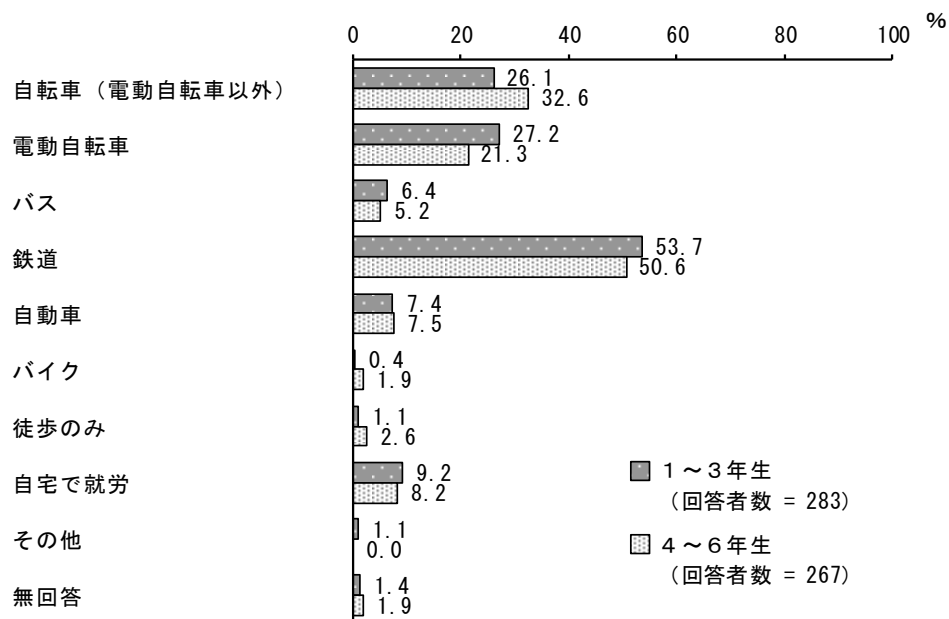
(8) 通勤手段

1～3年生で「鉄道」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「電動自転車」の割合が 27.2%、「自転車（電動自転車以外）」の割合が 26.1%となっている。

4～6年生で「鉄道」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「自転車（電動自転車以外）」の割合が 32.6%、「電動自転車」の割合が 21.3%となっている。

学年別でみると、1～3年生で「電動自転車」の割合が高くなっている。

図表 232 通勤手段（フルタイムの母親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

2-5-1-3 パート・アルバイト等の母親の就労状況

問 13-1 お母さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

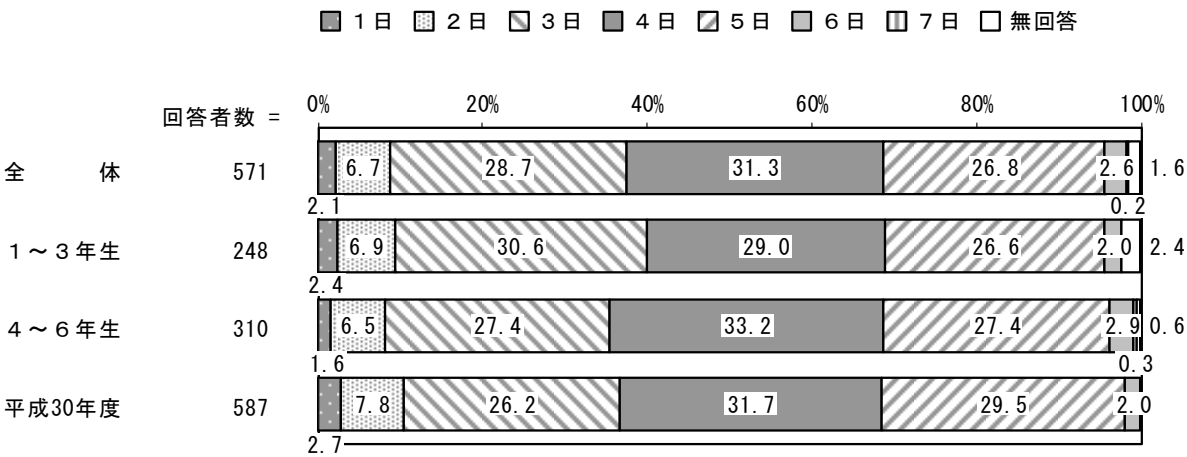
(1) 1週あたりの就労日数

全体では、「4日」の割合が31.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が28.7%、「5日」の割合が26.8%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 233 1週あたりの就労日数（パート・アルバイト等の母親）



※回答対象は問 13 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

調査結果 小学生

(2) 1日あたり就労時間（残業時間を含む）

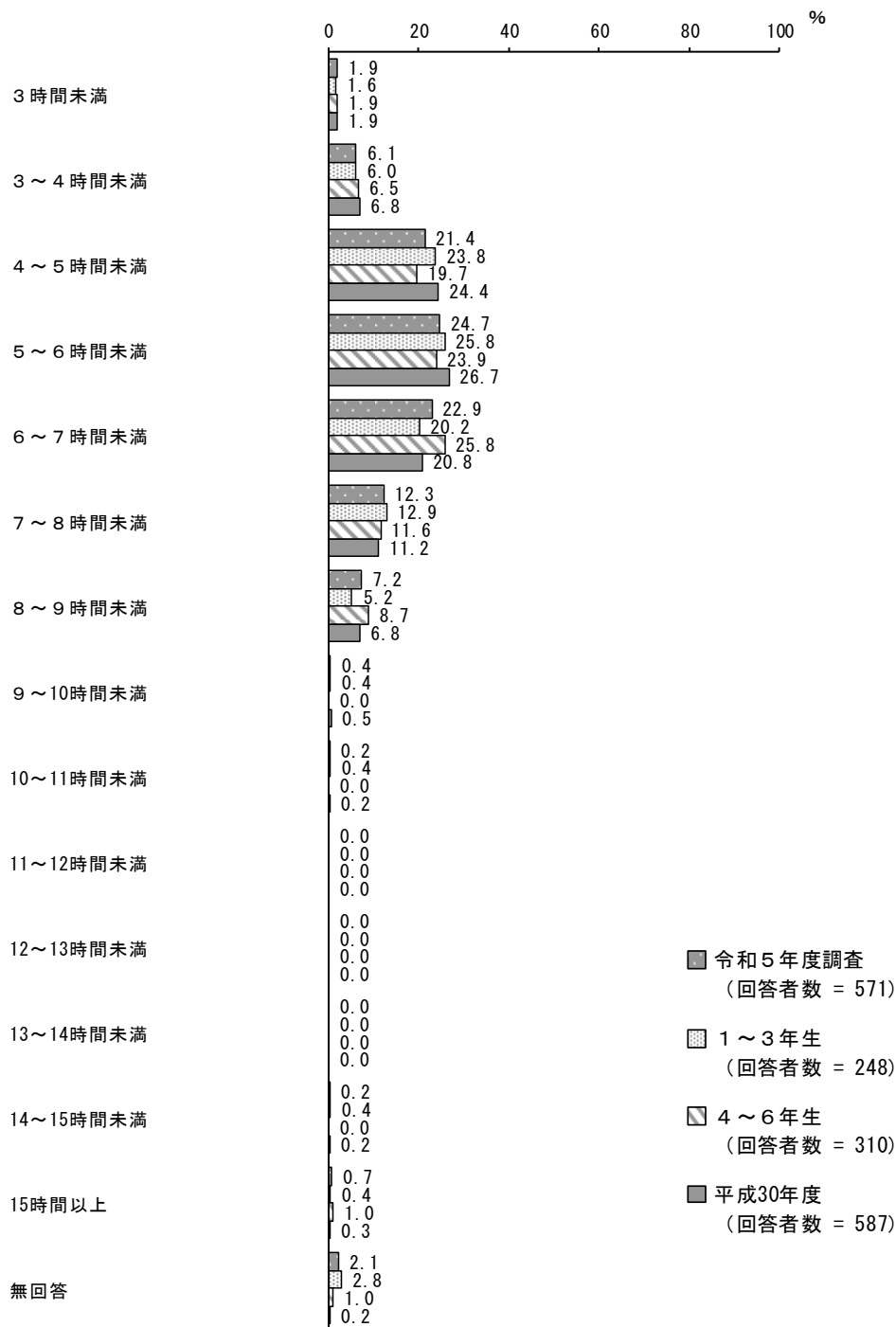
1～3年生で「5～6時間未満」の割合が25.8%と最も高く、次いで「4～5時間未満」の割合が23.8%、「6～7時間未満」の割合が20.2%となっている。

4～6年生で「6～7時間未満」の割合が25.8%と最も高く、次いで「5～6時間未満」の割合が23.9%、「4～5時間未満」の割合が19.7%となっている。

学年別でみると、全体と大きな差異はみられない。

平成30年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 234 1日あたり就労時間（パート・アルバイト等の母親）



※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

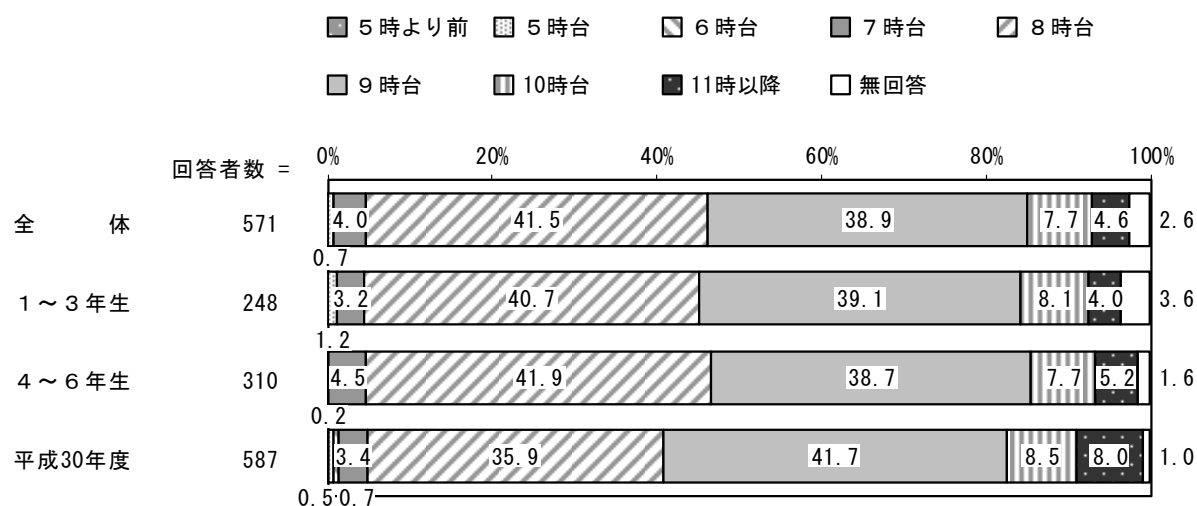
(3) 出勤時刻

全体では、「8時台」の割合が41.5%と最も高く、次いで「9時台」の割合が38.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、「8時台」の割合が増加している。

図表 235 出勤時刻（パート・アルバイト等の母親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

調査結果 小学生

(4) 帰宅時刻

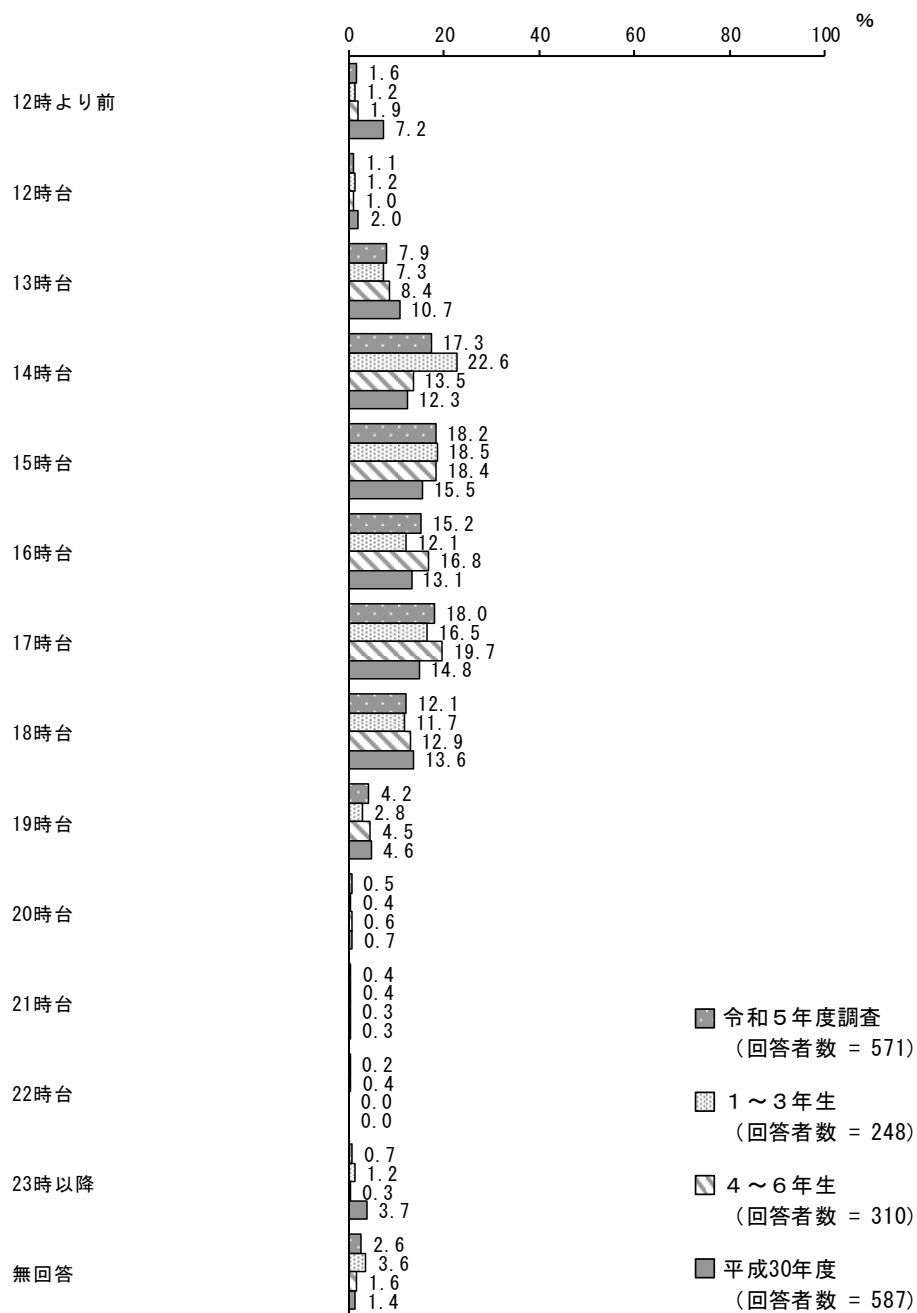
1～3年生で「14時台」の割合が22.6%と最も高く、次いで「15時台」の割合が18.5%、「17時台」の割合が16.5%となっている。

4～6年生で「17時台」の割合が19.7%と最も高く、次いで「15時台」の割合が18.4%、「16時台」の割合が16.8%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「14時台」の割合が高くなっている。

平成30年度と比較すると、「14時台」の割合が増加し、「12時より前」の割合が減少している。

図表 236 帰宅時刻（パート・アルバイト等の母親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

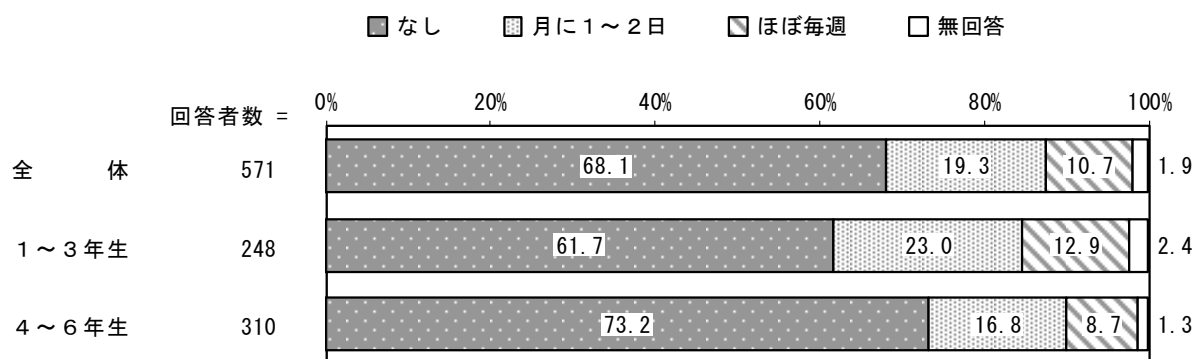
※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(5) 土曜日の就労日数

全体では、「なし」の割合が68.1%と最も高く、次いで「月に1～2日」の割合が19.3%、「ほぼ毎週」の割合が10.7%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、4～6年生で「なし」の割合が高くなっている。

図表 237 土曜日の就労日数（パート・アルバイト等の母親）



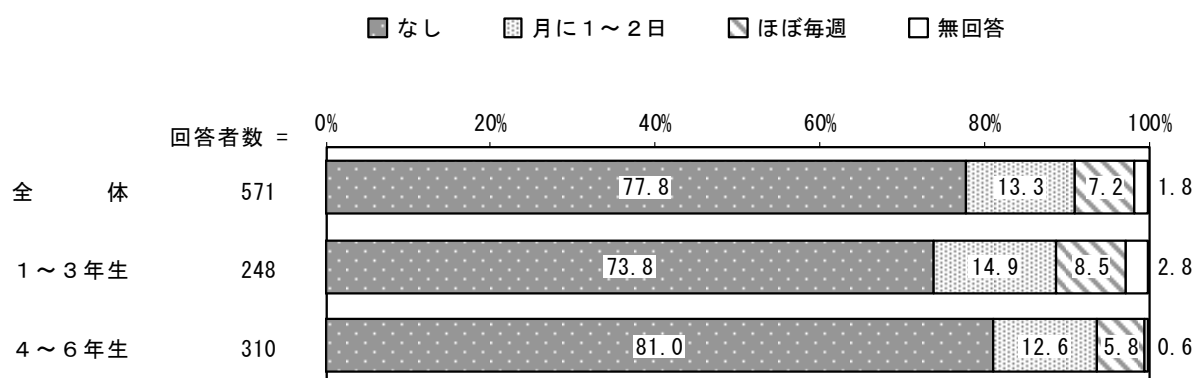
※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(6) 日曜日・祝日の就労日数

全体では、「なし」の割合が77.8%と最も高く、次いで「月に1～2日」の割合が13.3%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 238 日曜日・祝日の就労日数（パート・アルバイト等の母親）



※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

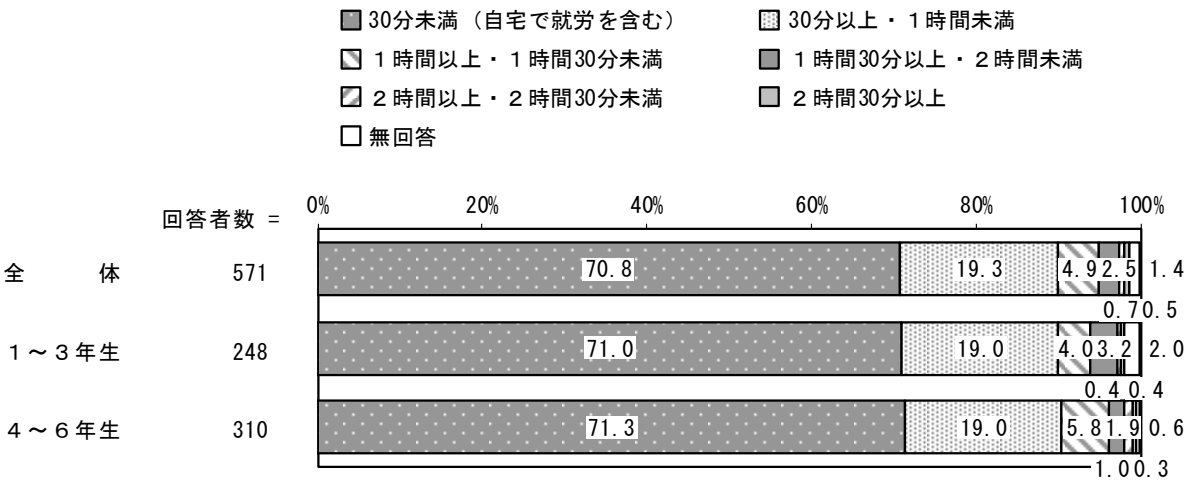
調査結果 小学生

(7) 通勤時間

全体では、「30 分未満（自宅で就労を含む）」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「30 分以上・1 時間未満」の割合が 19.3%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 239 通勤時間（パート・アルバイト等の母親）



※回答対象は問 13 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

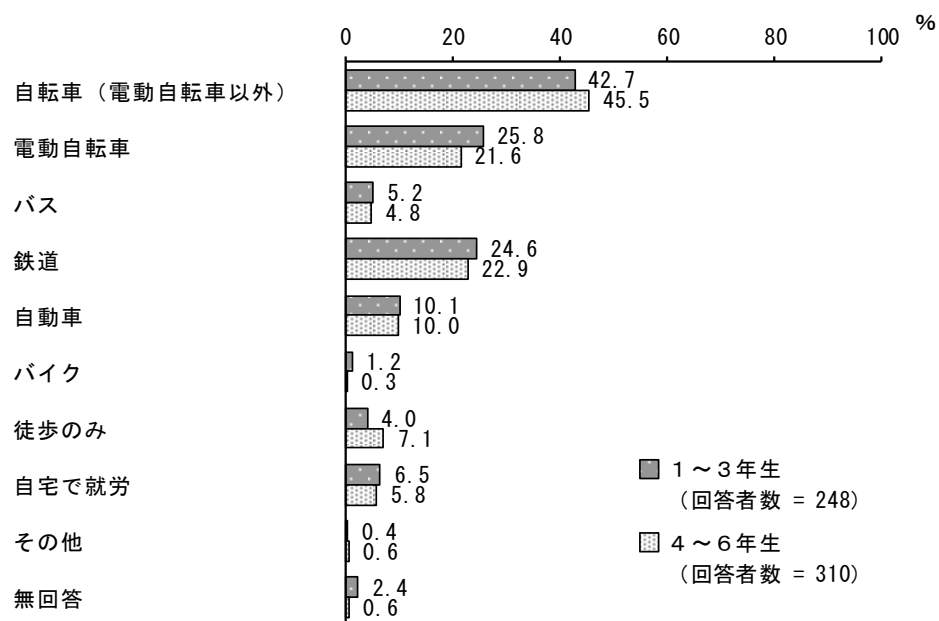
(8) 通勤手段

1～3年生で「自転車（電動自転車以外）」の割合が42.7%と最も高く、次いで「電動自転車」の割合が25.8%、「鉄道」の割合が24.6%となっている。

4～6年生で「自転車（電動自転車以外）」の割合が45.5%と最も高く、次いで「鉄道」の割合が22.9%、「電動自転車」の割合が21.6%となっている。

学年別でみると、大きな差はみられない。

図表 240 通勤手段（パート・アルバイト等の母親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

調査結果 小学生

2-5-1-4 パート・アルバイト等の母親の今後の就労希望

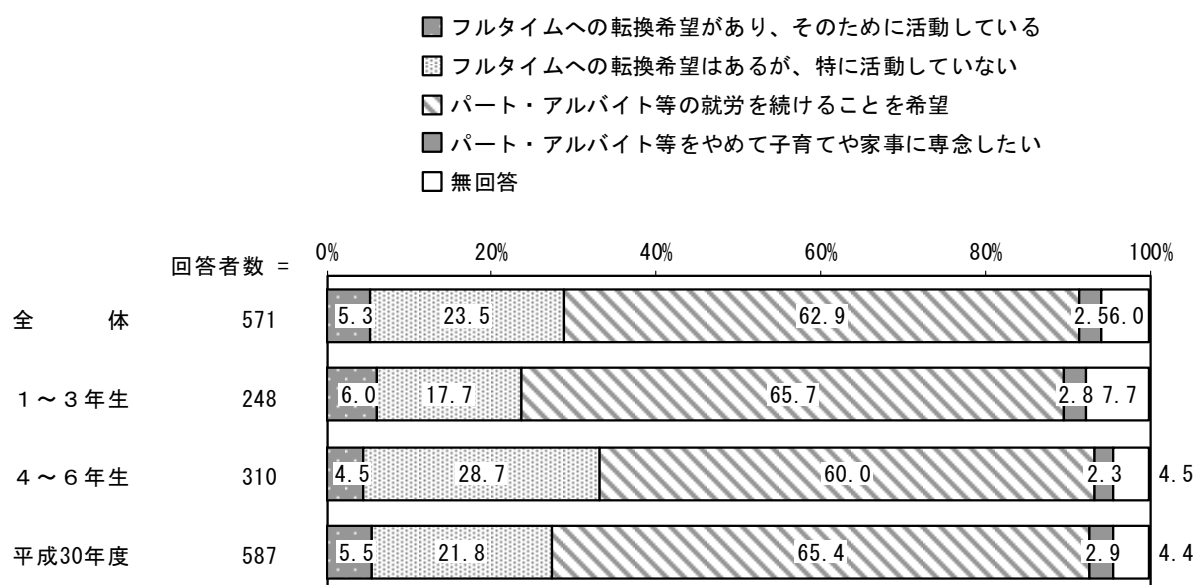
問 14 今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

全体では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」の割合が 23.5%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、4～6年生で「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」の割合が高くなっている。

平成30年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 241 今後の就労希望（パート・アルバイト等の母親）



※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

2-5-1-5 非就労の母親の今後の就労希望

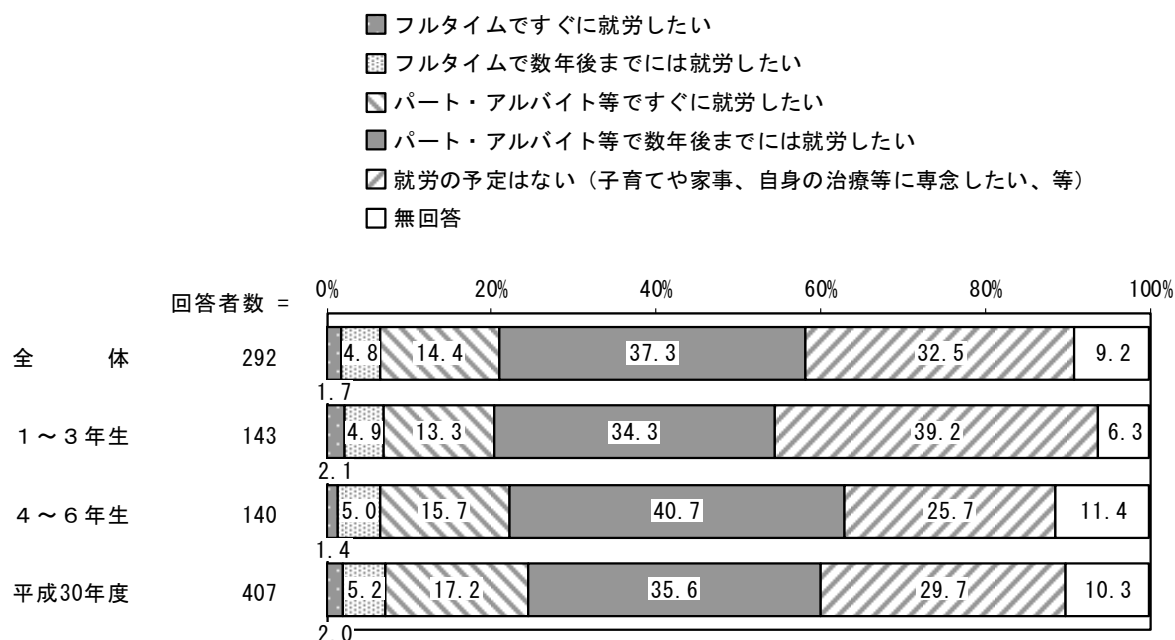
問 15 今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ1つだけ）。また、下記で「3または4（パート・アルバイト等で就労したい）」に○をつけた方は、希望する「就労日数」「就労時間」「通勤時間」についてもお答えください（カッコ内に数字で）。

全体では、「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」の割合が 32.5%、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」の割合が 14.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」の割合が高くなっている。

平成 30 年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 242 非就労の母親の今後の就労希望



※回答対象は問 13 で「就労していない・就労したことがない」と回答した人

調査結果 小学生

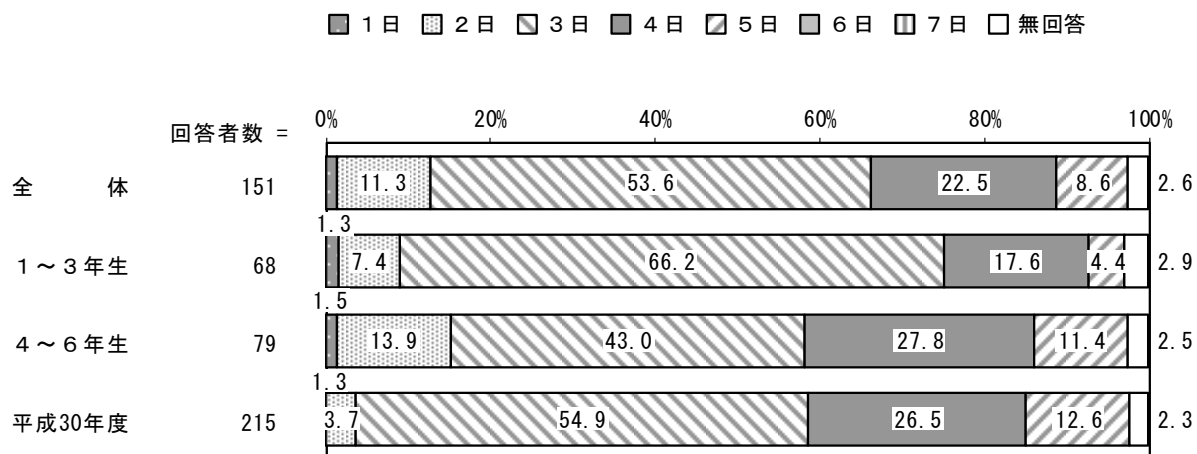
(1) パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労日数（1週あたり）

全体では、「3日」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が 22.5%、「2日」の割合が 11.3%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「3日」の割合が、4～6年生で「4日」の割合が高くなっている。

平成30年度と比較すると、「2日」の割合が増加している。

図表 243 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労日数



※回答対象は問15で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

(2) パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労時間（1日あたり）

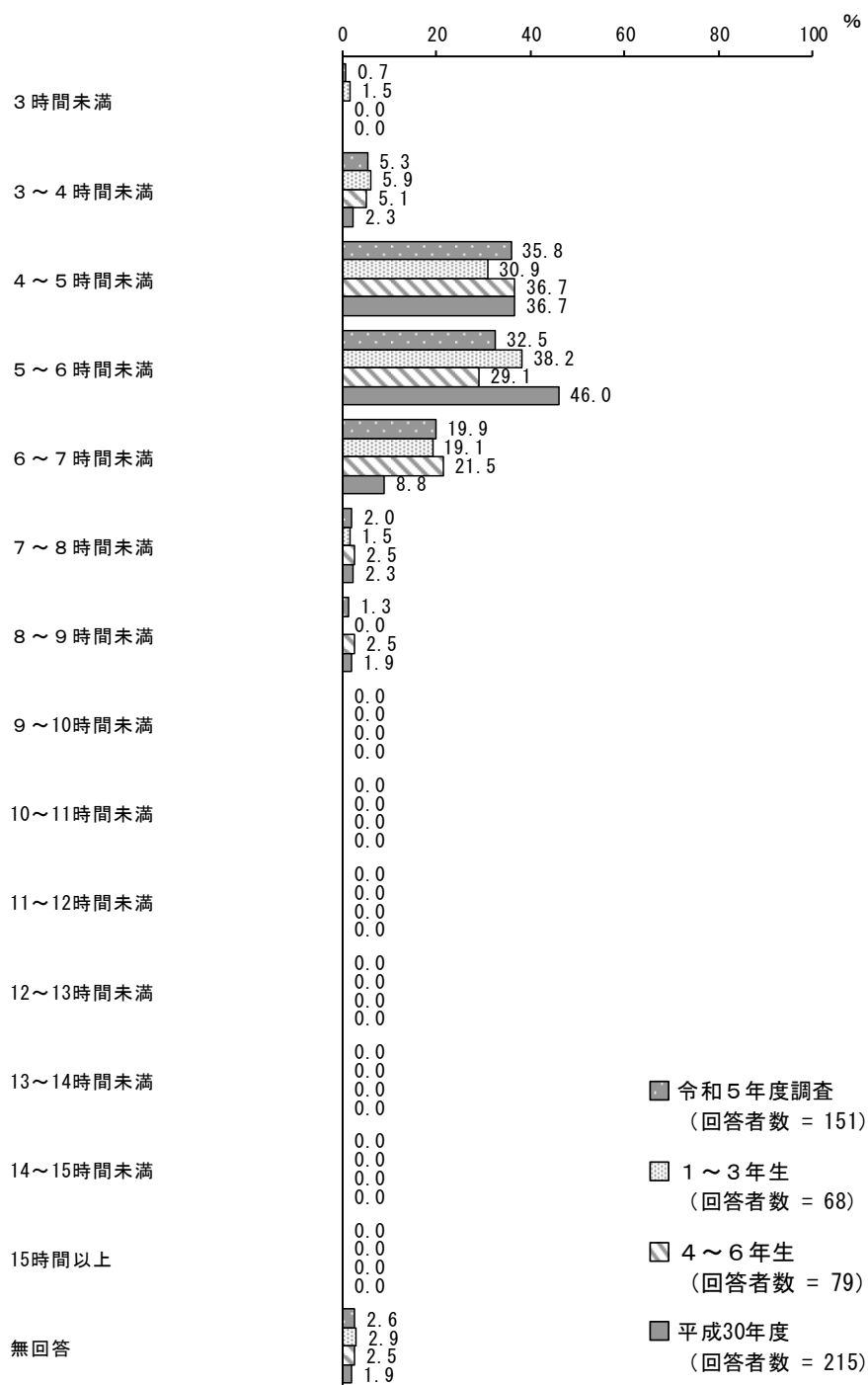
1～3年生で「5～6時間未満」の割合が38.2%と最も高く、次いで「4～5時間未満」の割合が30.9%、「6～7時間未満」の割合が19.1%となっている。

4～6年生で「4～5時間未満」の割合が36.7%と最も高く、次いで「5～6時間未満」の割合が29.1%、「6～7時間未満」の割合が21.5%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「5～6時間未満」の割合が高くなっている。

平成30年度と比較すると、「6～7時間未満」の割合が増加している。一方、「5～6時間未満」の割合が減少している。

図表 244 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労時間



※回答対象は問15で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

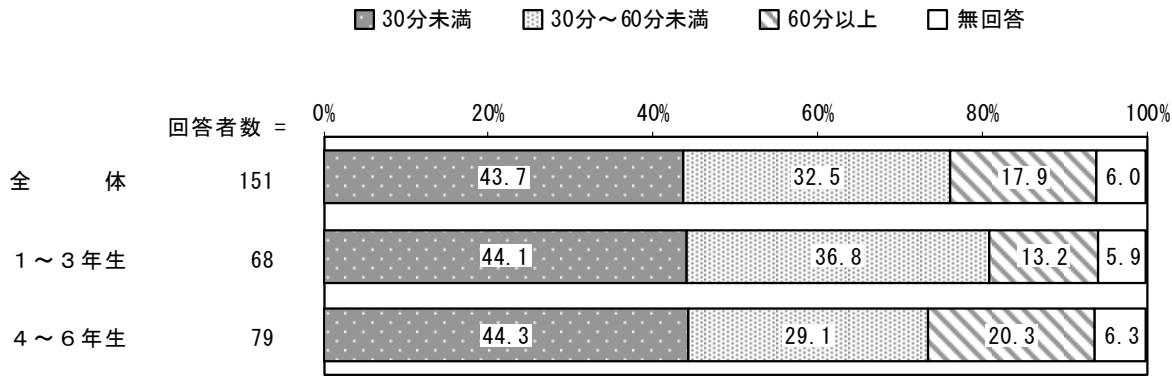
調査結果 小学生

(3) パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する通勤時間（1日あたり往復）

全体では、「30 分未満」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「30 分～60 分未満」の割合が 32.5%、「60 分以上」の割合が 17.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 245 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する通勤時間



※回答対象は問 15 で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

2-5-2 父親

2-5-2-1 父親の就労状況

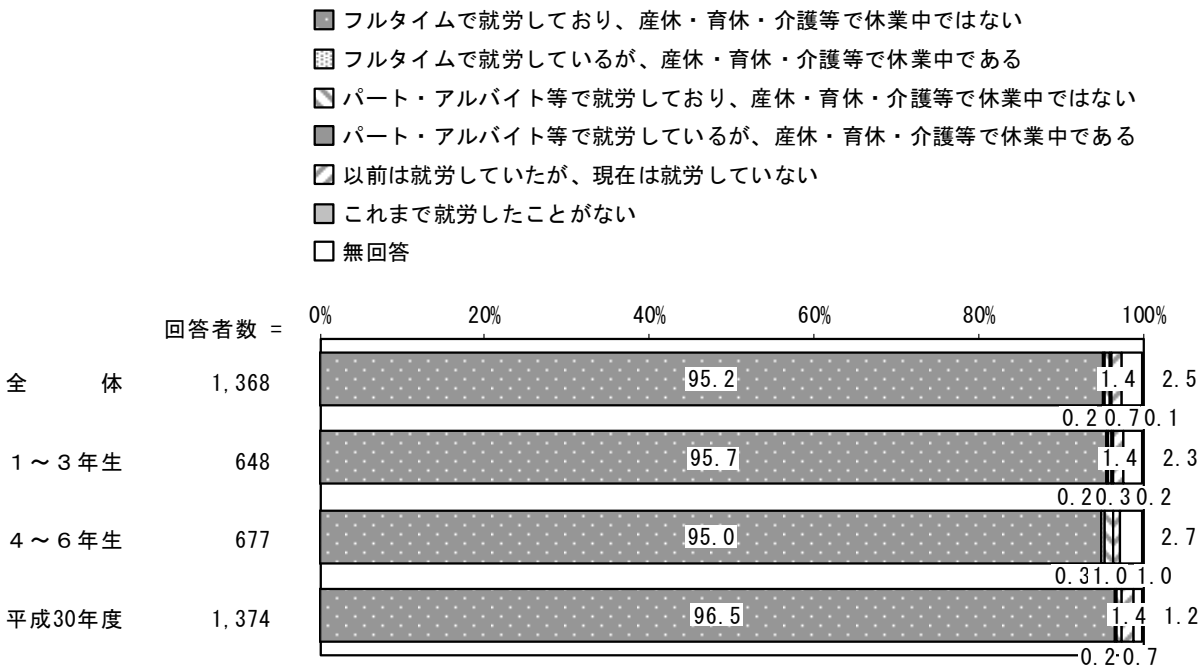
問 13 お父さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

全体では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護等で休業中ではない」の割合が95.2%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、大きな差はみられない。

図表 246 父親の就労状況



※回答対象は小学生対象調査の全員（母子家庭を除く）

2-5-2-2 フルタイムの父親の就労状況

問 13-1 お父さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

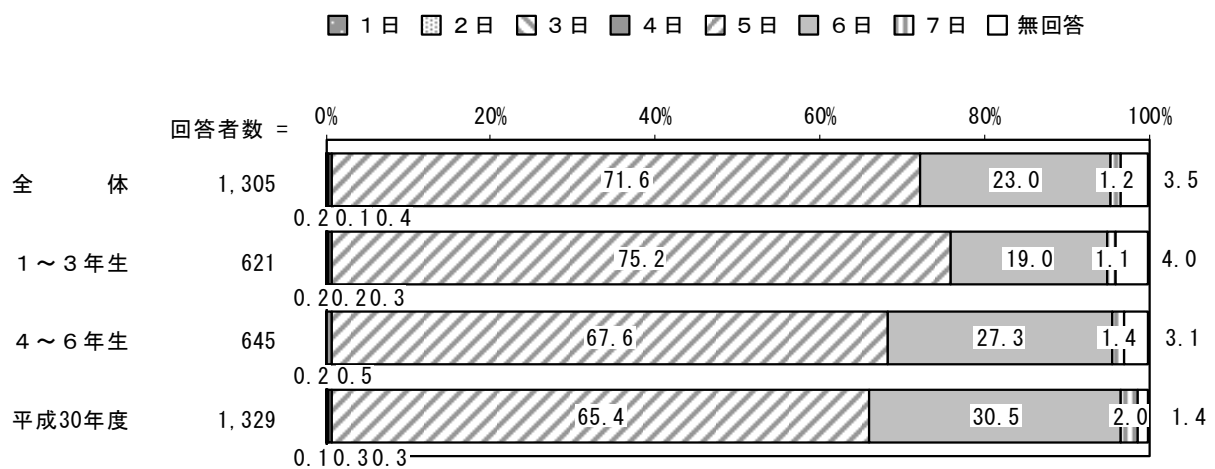
(1) 1週あたりの就労日数

全体では、「5日」の割合が71.6%と最も高く、次いで「6日」の割合が23.0%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、「5日」の割合が増加している。一方、「6日」の割合が減少している。

図表 247 1週あたりの就労日数（フルタイムの父親）



※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(2) 1日あたり就労時間（残業時間を含む）

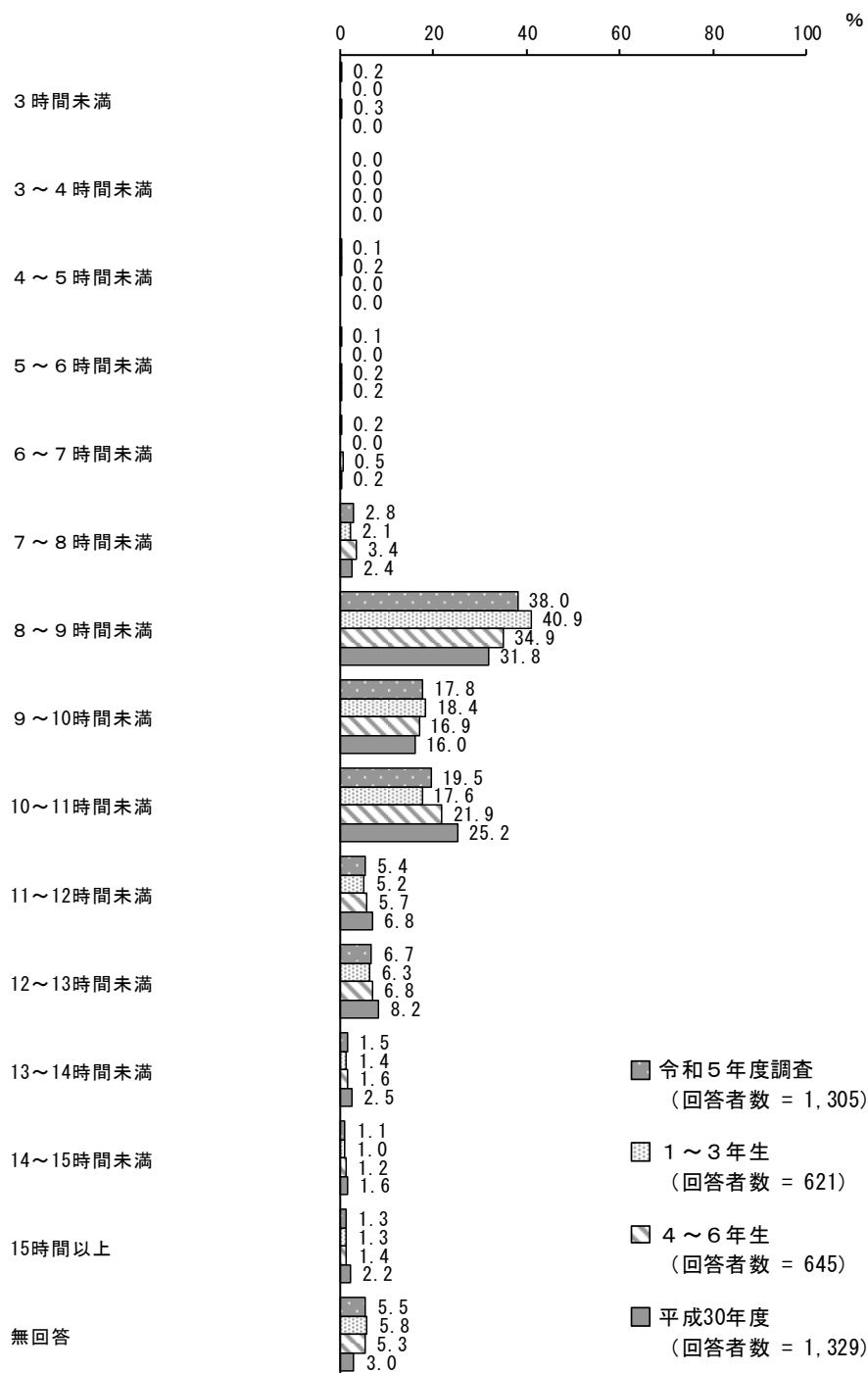
1～3年生で「8～9時間未満」の割合が40.9%と最も高く、次いで「9～10時間未満」の割合が18.4%、「10～11時間未満」の割合が17.6%となっている。

4～6年生で「8～9時間未満」の割合が34.9%と最も高く、次いで「10～11時間未満」の割合が21.9%、「9～10時間未満」の割合が16.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、「8～9時間未満」の割合が増加している。一方、「10～11時間未満」の割合が減少している。

図表 248 1日あたり就労時間（フルタイムの父親）



※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

調査結果 小学生

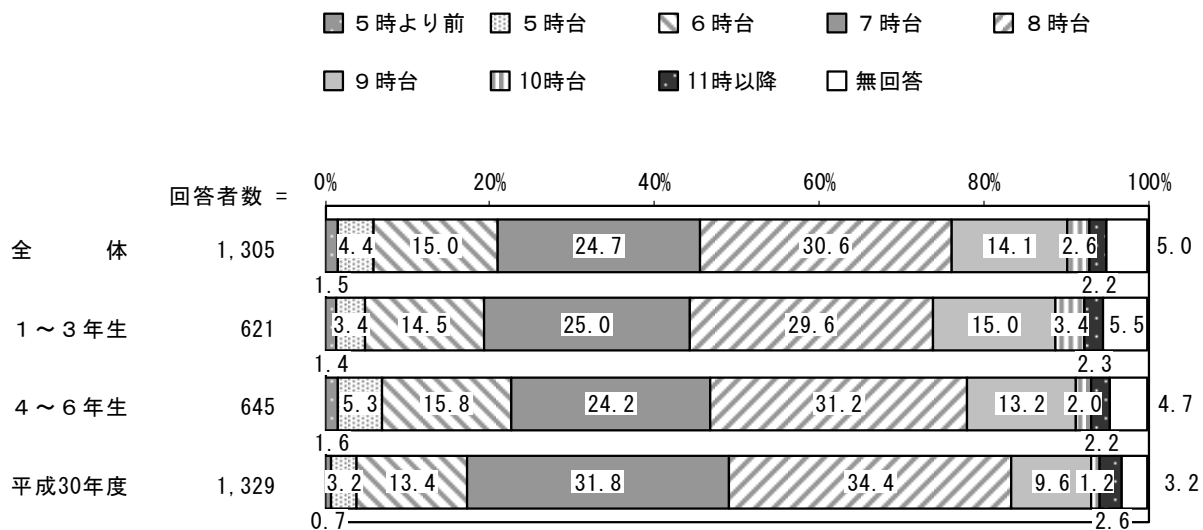
(3) 出勤時刻

全体では、「8時台」の割合が30.6%と最も高く、次いで「7時台」の割合が24.7%、「6時台」の割合が15.0%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度と比較すると、「7時台」の割合が減少している。

図表 249 出勤時刻（フルタイムの父親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(4) 帰宅時刻

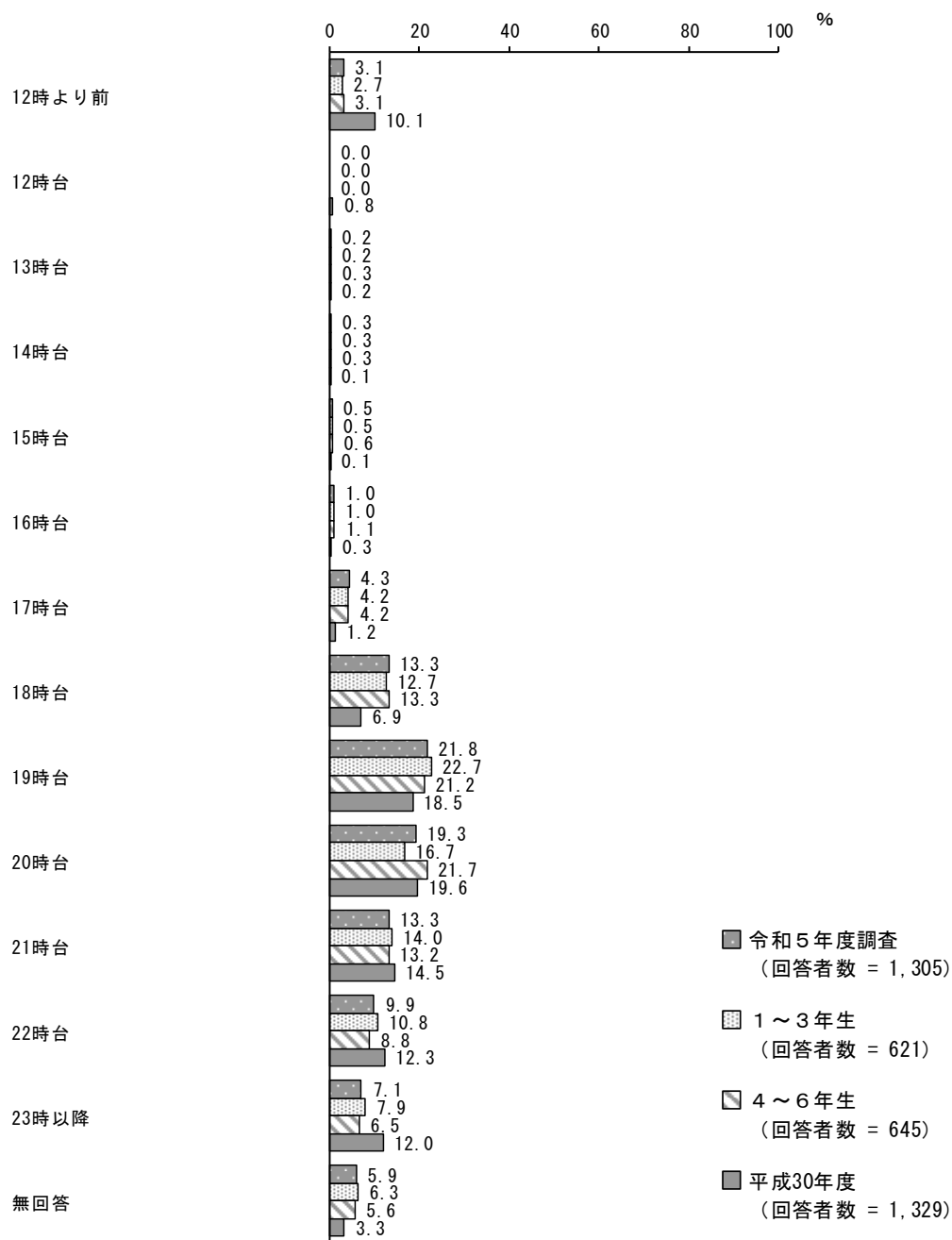
1～3年生で「19時台」の割合が22.7%と最も高く、次いで「20時台」の割合が16.7%、「21時台」の割合が14.0%となっている。

4～6年生で「20時台」の割合が21.7%と最も高く、次いで「19時台」の割合が21.2%、「18時台」の割合が13.3%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、4～6年生で「20時台」の割合が高くなっている。

平成30年度と比較すると、「18時台」の割合が増加している。一方、「12時より前」の割合が減少している。

図表 250 帰宅時刻（フルタイムの父親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

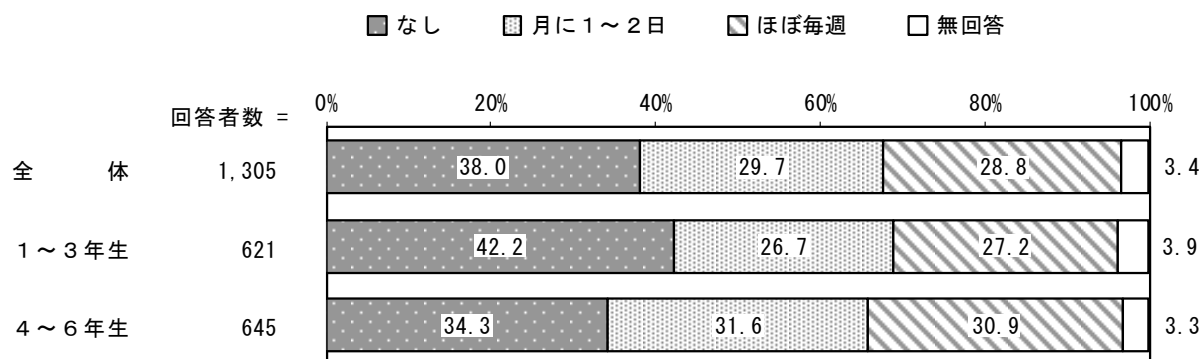
調査結果 小学生

(5) 土曜日の就労日数

全体では、「なし」の割合が38.0%と最も高く、次いで「月に1～2日」の割合が29.7%、「ほぼ毎週」の割合が28.8%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 251 土曜日の就労日数（フルタイムの父親）



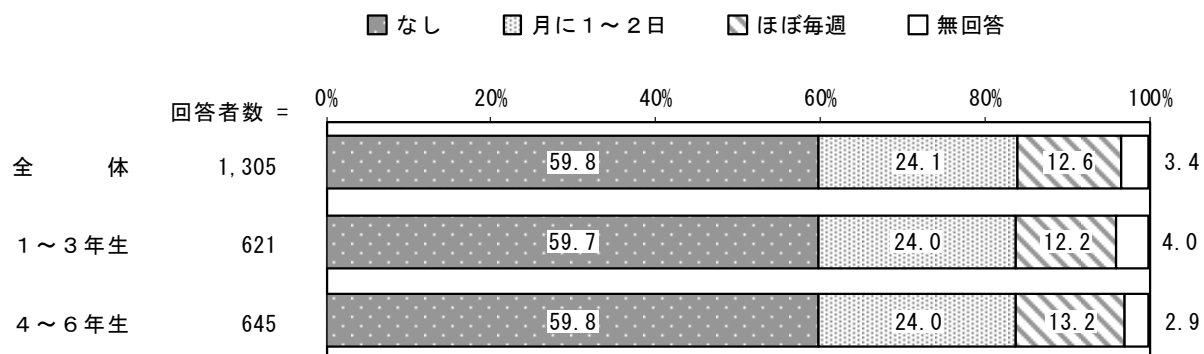
※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(6) 日曜日・祝日の就労日数

全体では、「なし」の割合が59.8%と最も高く、次いで「月に1～2日」の割合が24.1%、「ほぼ毎週」の割合が12.6%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 252 日曜日・祝日の就労日数（フルタイムの父親）



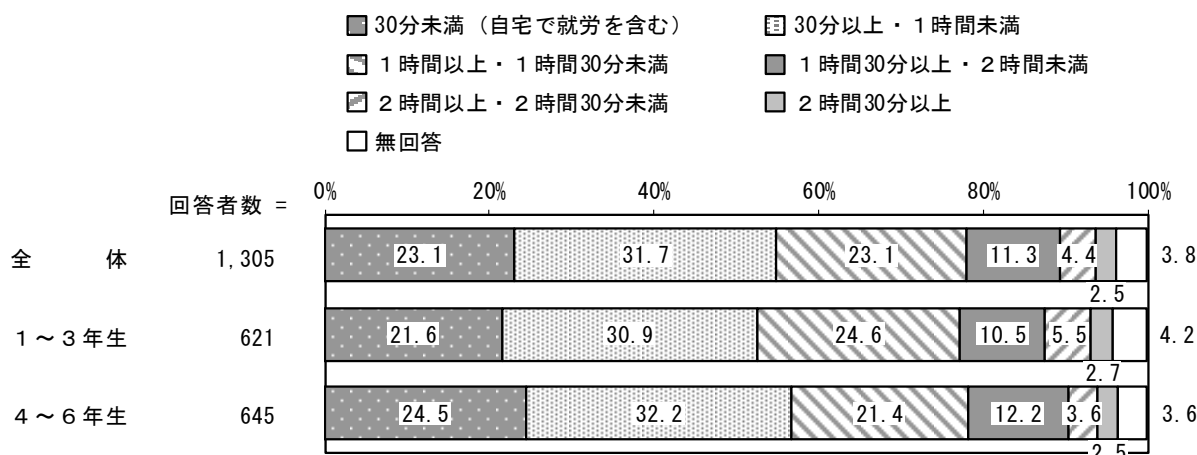
※回答対象は問13で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

全体では、「30 分以上・1 時間未満」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「30 分未満（自宅で就労を含む）」「1 時間以上・1 時間 30 分未満」の割合が 23.1%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 253 通勤時間（フルタイムの父親）

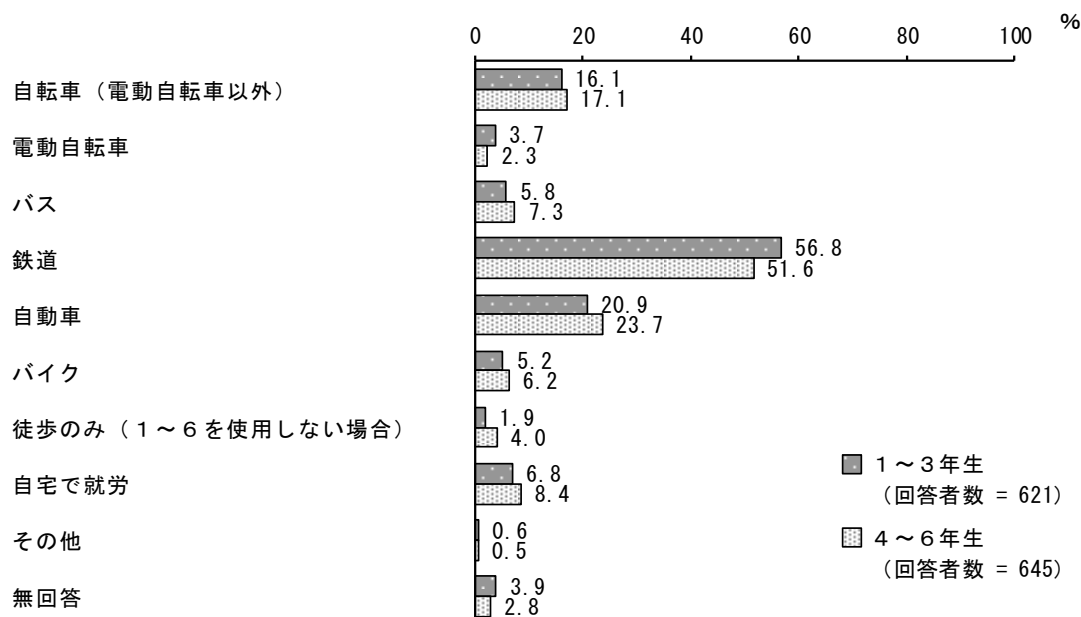


※回答対象は問 13 で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(8) 通勤手段

1～3年生と4～6年生共に「鉄道」の割合が 56.8%、51.6%と最も高く、次いで「自動車」の割合が 20.9%、23.7%、「自転車（電動自転車以外）」の割合が 16.1%、17.1%となっている。学年別でみると、1～3年生で「鉄道」の割合が高くなっている。

図表 254 通勤手段（フルタイムの父親）



※複数回答のため、合計は 100%に一致しない

※回答対象は問 13 で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

調査結果 小学生

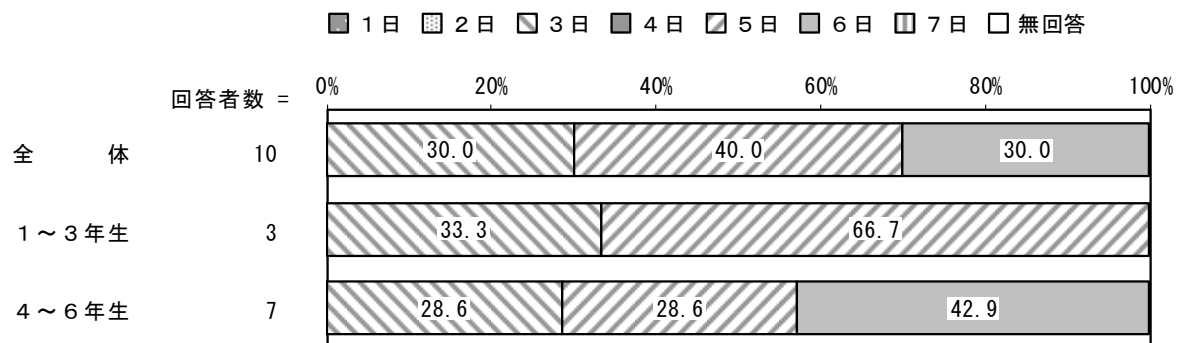
2-5-2-3 パート・アルバイト等の父親の就労状況

問 13-1 お父さまの就労状況について、下の表の（１）～（８）にお答えください。

（１）１週あたりの就労日数

全体では、「５日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「３日」、「６日」の割合が30.0%となっている。

図表 255 １週あたりの就労日数（パート・アルバイト等の父親）



※回答対象は問 13 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

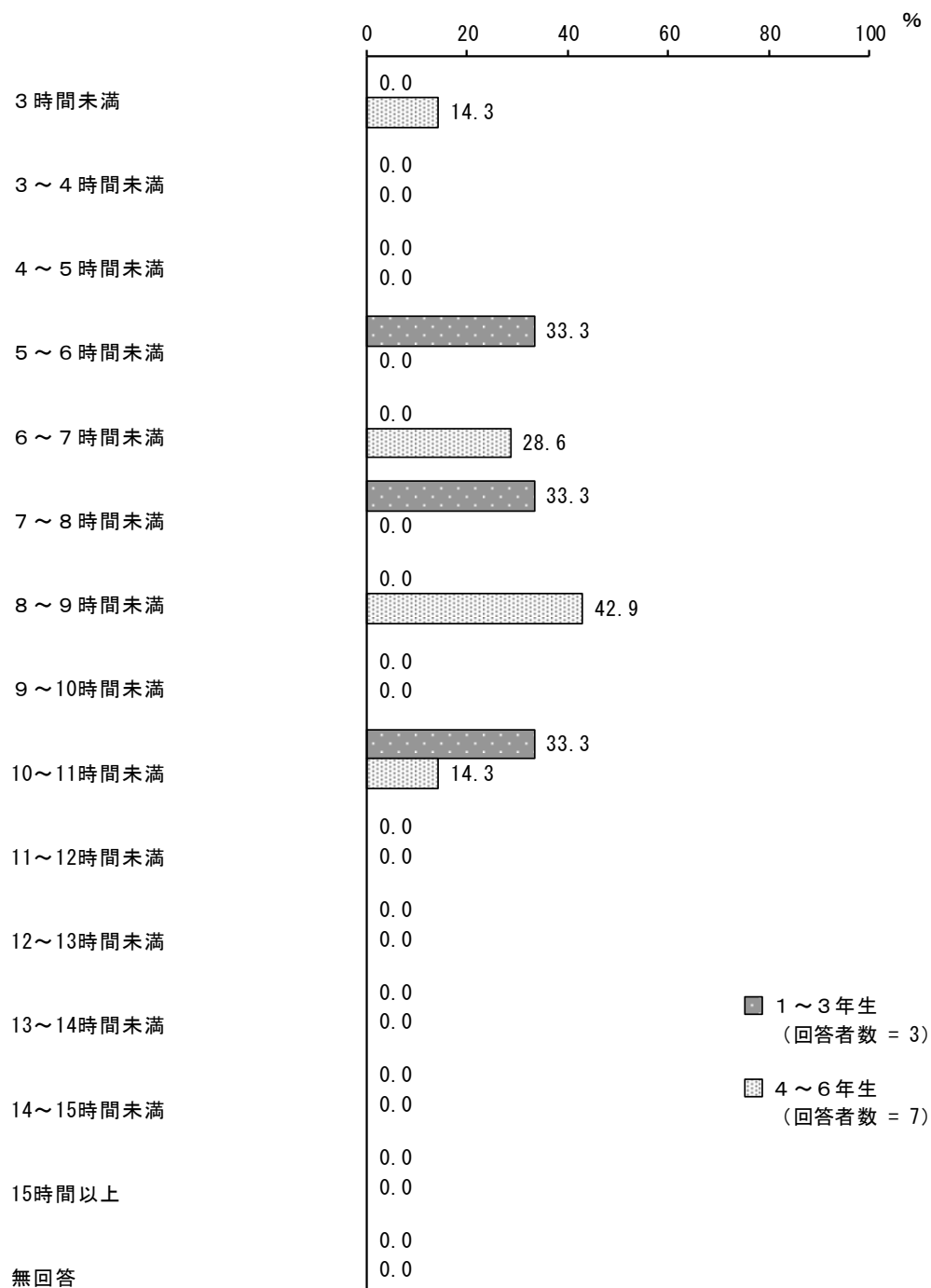
(2) 1日あたり就労時間（残業時間を含む）

1～3年生で「5～6時間未満」「7～8時間未満」「10～11時間未満」の割合が33.3%と最も高くなっている。

4～6年生で「8～9時間未満」の割合が42.9%と最も高く、次いで「6～7時間未満」の割合が28.6%となっている。

学年別でみると、大きな差はみられない。

図表 256 1日あたり就労時間（パート・アルバイト等の父親）



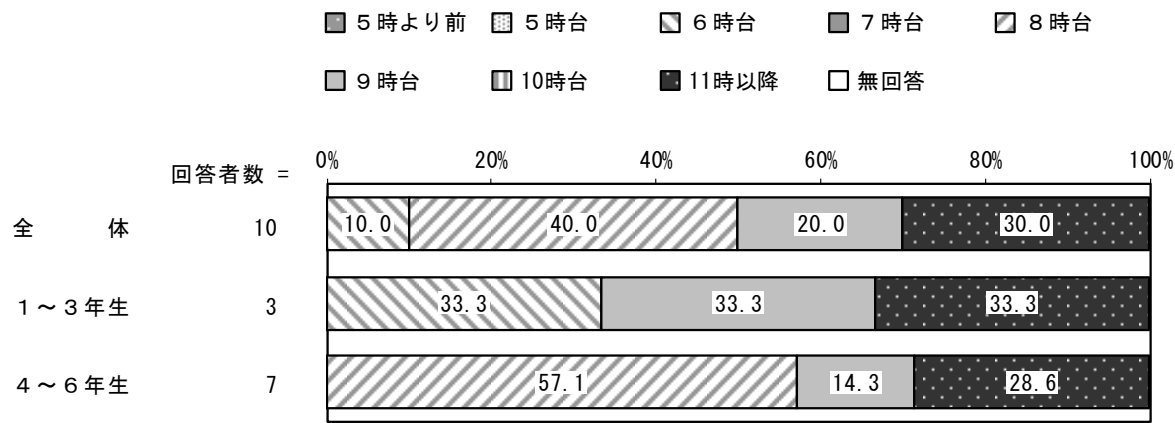
※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

調査結果 小学生

(3) 出勤時刻

全体では、「8 時台」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「11 時以降」の割合が 30.0%、「9 時台」の割合が 20.0%となっている。

図表 257 出勤時刻（パート・アルバイト等の父親）



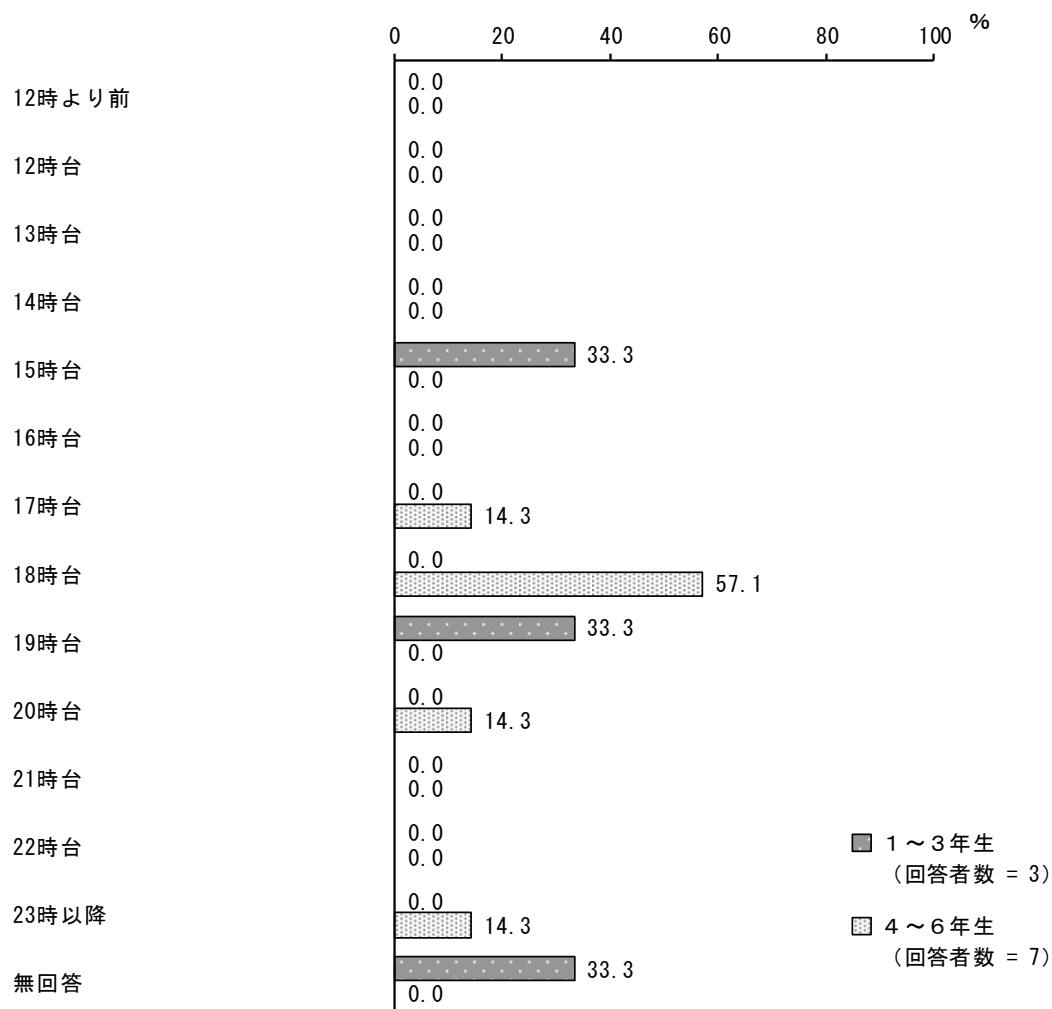
※回答には12 時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24 時制で回答依頼）

※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(4) 帰宅時刻

パート・アルバイト等の父親の帰宅時刻について、以下の図の通りである。
学年別でみると、大きな差はみられない。

図表 258 帰宅時刻（パート・アルバイト等の父親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

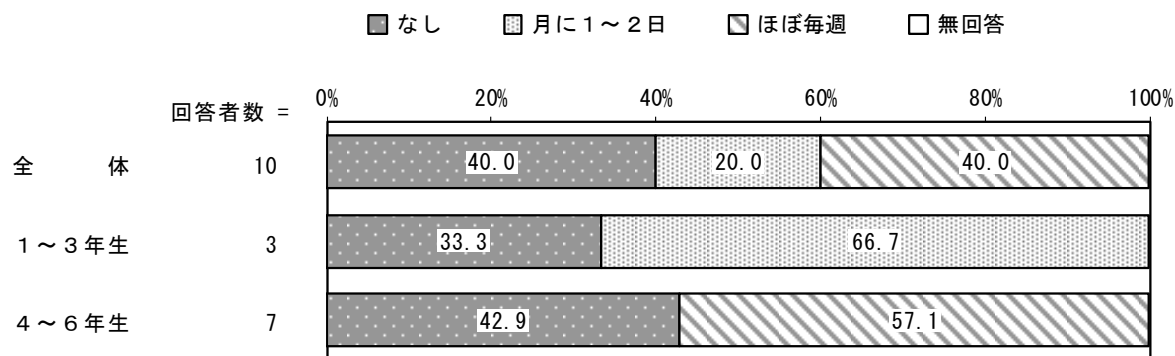
※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

調査結果 小学生

(5) 土曜日の就労日数

全体では、「なし」、「ほぼ毎週」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「月に1～2日」の割合が 20.0%となっている。

図表 259 土曜日の就労日数（パート・アルバイト等の父親）

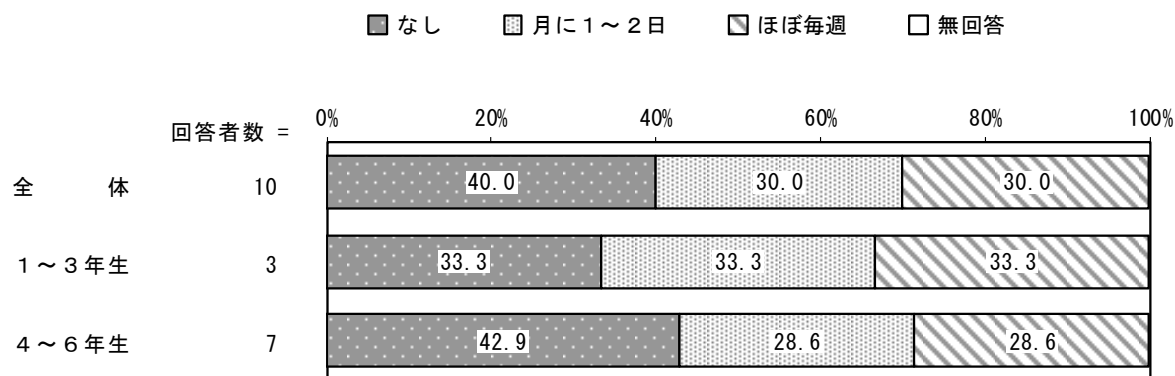


※回答対象は問 13 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(6) 日曜日・祝日の就労日数

全体では、「なし」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「月に1～2日」、「ほぼ毎週」の割合が 30.0%となっている。

図表 260 日曜日・祝日の就労日数（パート・アルバイト等の父親）

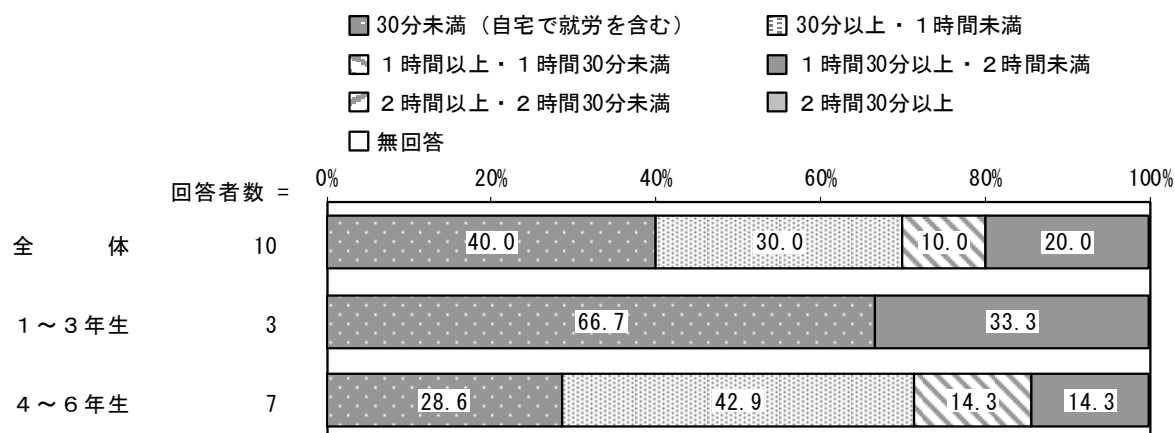


※回答対象は問 13 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

全体では、「30分未満（自宅で就労を含む）」の割合が40.0%と最も高く、次いで「30分以上・1時間未満」の割合が30.0%、「1時間30分以上・2時間未満」の割合が20.0%となっている。

図表 261 通勤時間（パート・アルバイト等の父親）



※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

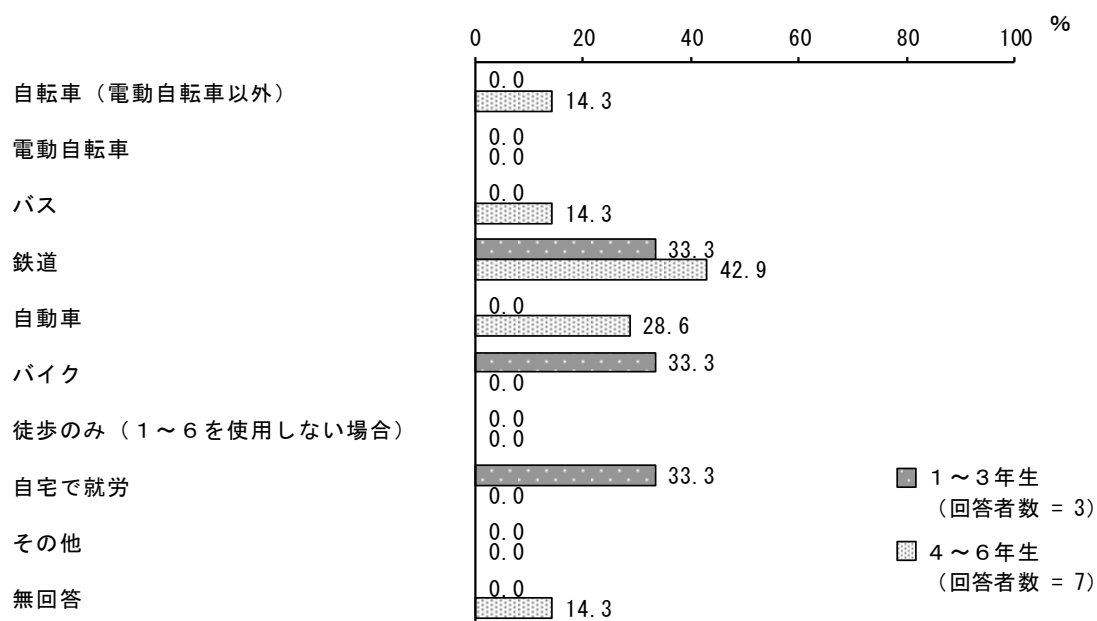
(8) 通勤手段

1～3年生で「鉄道」「バイク」「自宅就労」の割合が33.3%となっている。

4～6年生で「鉄道」の割合が42.9%と最も高く、次いで「自動車」の割合が28.6%となっている。

学年別でみると、大きな差はみられない。

図表 262 通勤手段（パート・アルバイト等の父親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

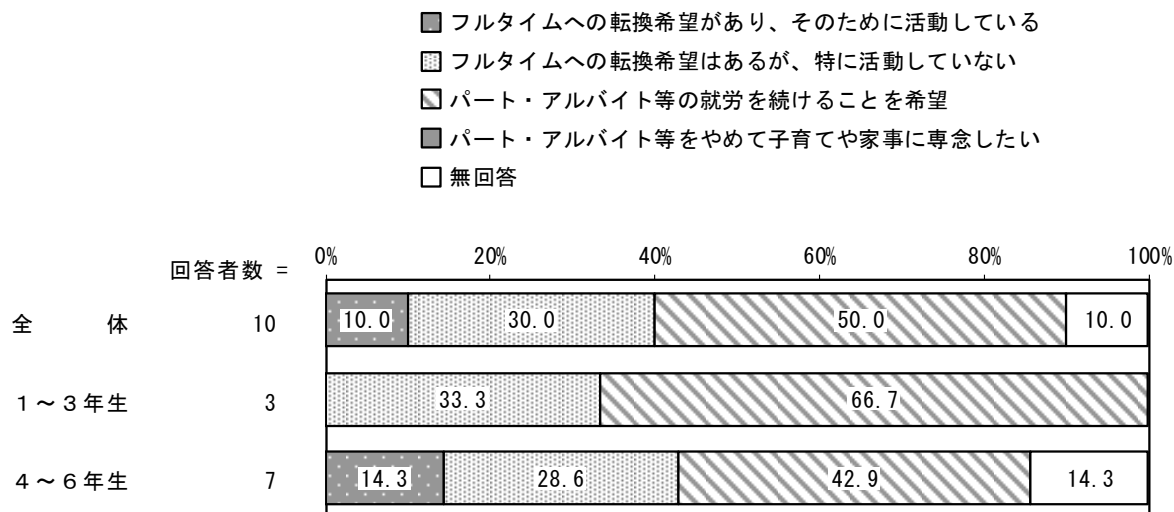
調査結果 小学生

2-5-2-4 パート・アルバイト等の父親の今後の就労希望

問 14 今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

全体では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」の割合が 30.0%、「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」の割合が 10.0%となっている。

図表 263 今後の就労希望（パート・アルバイト等の父親）



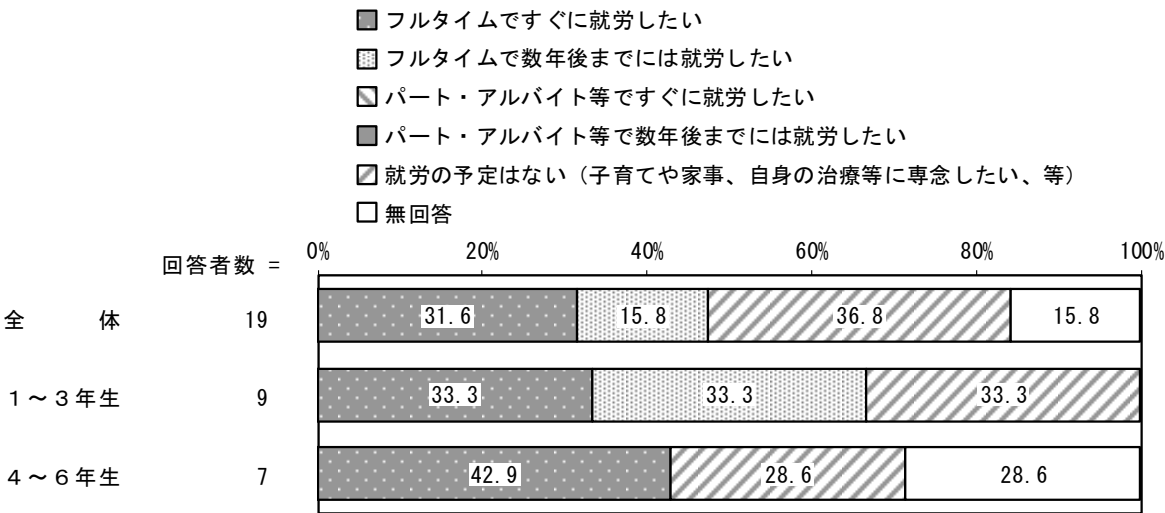
※回答対象は問 13 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

2-5-2-5 非就労の父親の今後の就労希望

問 15 今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ1つだけ）。また、下記で「3または4（パート・アルバイト等で就労したい）」に○をつけた方は、希望する「就労日数」「就労時間」「通勤時間」についてもお答えください（カッコ内に数字で）。

全体では、「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」の割合が36.8%と最も高く、次いで「フルタイムですぐに就労したい」の割合が31.6%、「フルタイムで数年後までには就労したい」の割合が15.8%、「パート・アルバイト等で就労したい」の割合が15.8%となっている。

図表 264 非就労の父親の今後の就労希望



※回答対象は問 13 で「就労していない・就労したことがない」と回答した人（休業中を含む）

- (1) パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労日数（1 週あたり）
有効な回答はなかった。
- (2) パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労時間（1 日あたり）
有効な回答はなかった。
- (3) パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する通勤時間（1 日あたり往復）
有効な回答はなかった。

2-6 「放課後の過ごし方」について

2-6-1 放課後に利用できる場所

問 16 放課後に利用できる場所について、(1) 認知状況、(2) あなたの利用状況
(3) 今後の利用意向について、あてはまるものをお答えください
(○はいずれも、それぞれ1つずつ)。

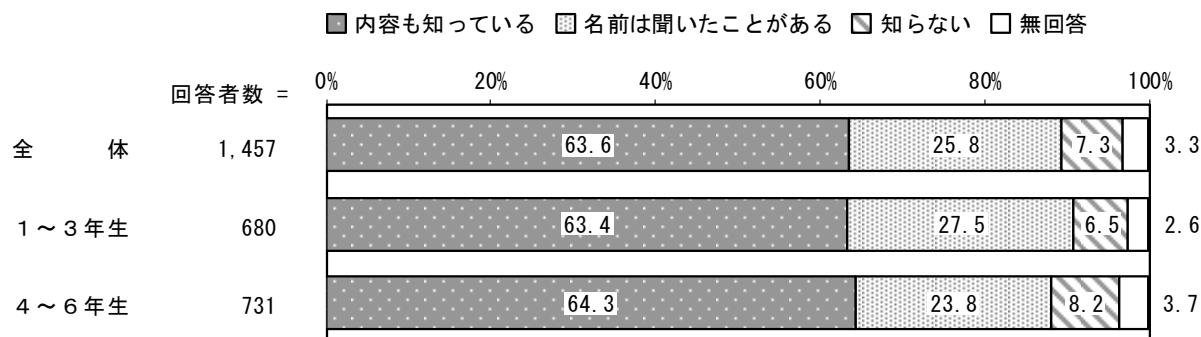
(1) 認知状況

ア ランドセルで児童館（特例利用を含む）

全体では、「内容も知っている」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 25.8%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 265 ランドセルで児童館の認知状況



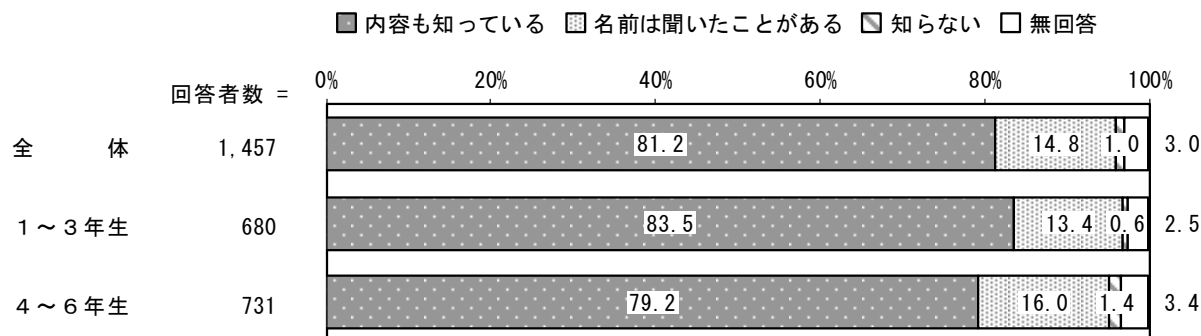
※回答対象は小学生対象調査の全員

イ 学童保育（民間学童を含む）

全体では、「内容も知っている」の割合が 81.2%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 14.8%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 266 学童保育の認知状況



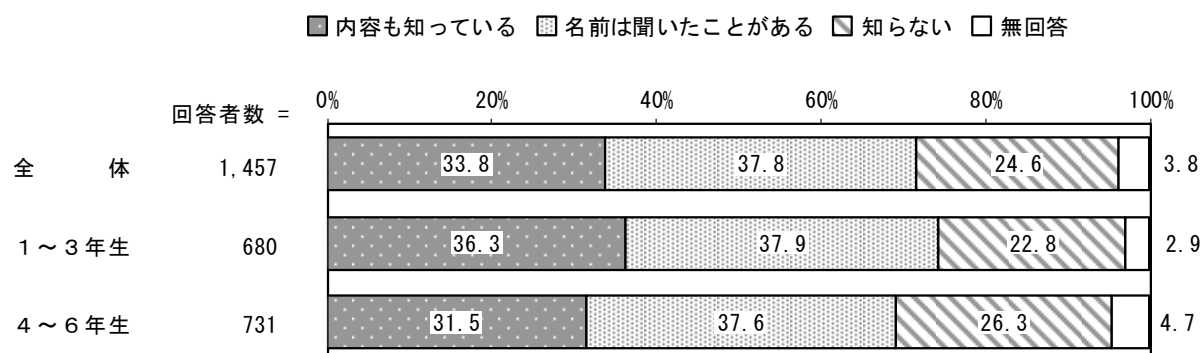
※回答対象は小学生対象調査の全員

ウ 子ども預かり・送迎支援事業またはファミリー・サポート・センター事業

全体では、「名前は聞いたことがある」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「内容も知っている」の割合が 33.8%、「知らない」の割合が 24.6%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 267 子ども預かり・送迎支援事業またはファミリー・サポート・センター事業の認知状況



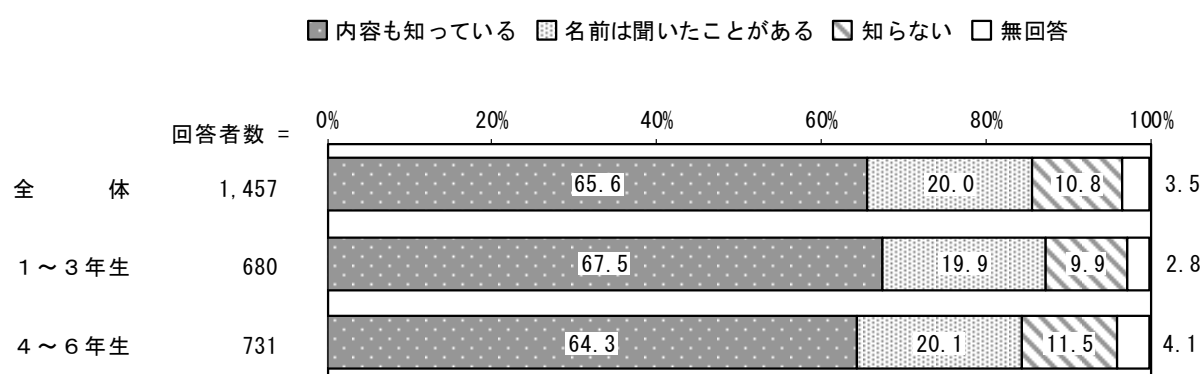
※回答対象は小学生対象調査の全員

エ 放課後子ども教室

全体では、「内容も知っている」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 20.0%、「知らない」の割合が 10.8%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 268 放課後子ども教室の認知状況



※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

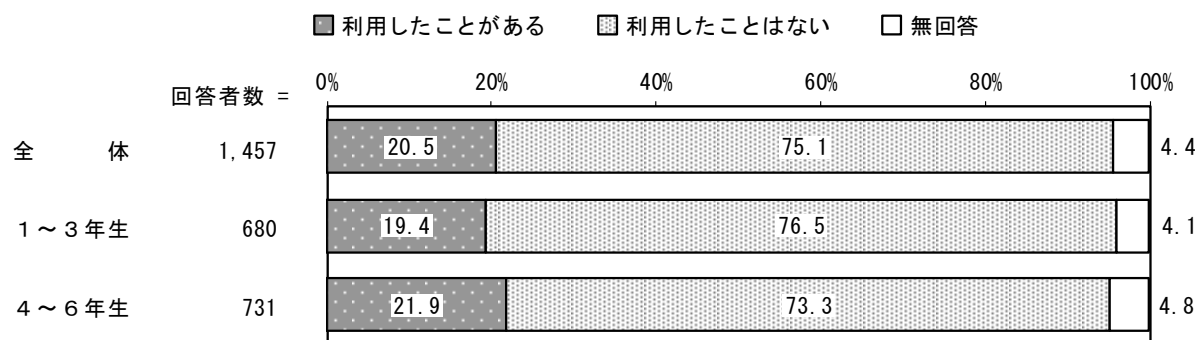
(2) 利用状況

ア ランドセルで児童館（特例利用を含む）

全体では、「利用したことがある」の割合が 20.5%、「利用したことはない」の割合が 75.1%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 269 ランドセルで児童館の利用状況



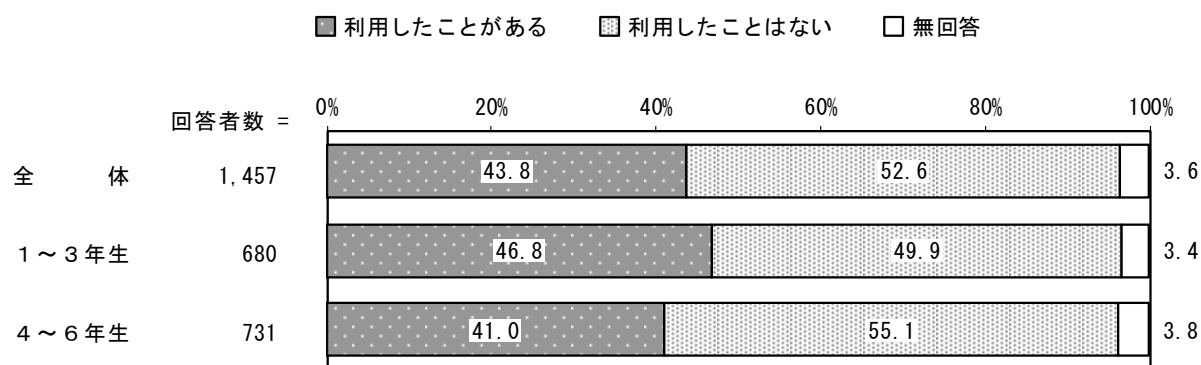
※回答対象は小学生対象調査の全員

イ 学童保育（民間学童を含む）

全体では、「利用したことがある」の割合が 43.8%、「利用したことはない」の割合が 52.6%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 270 学童保育の利用状況



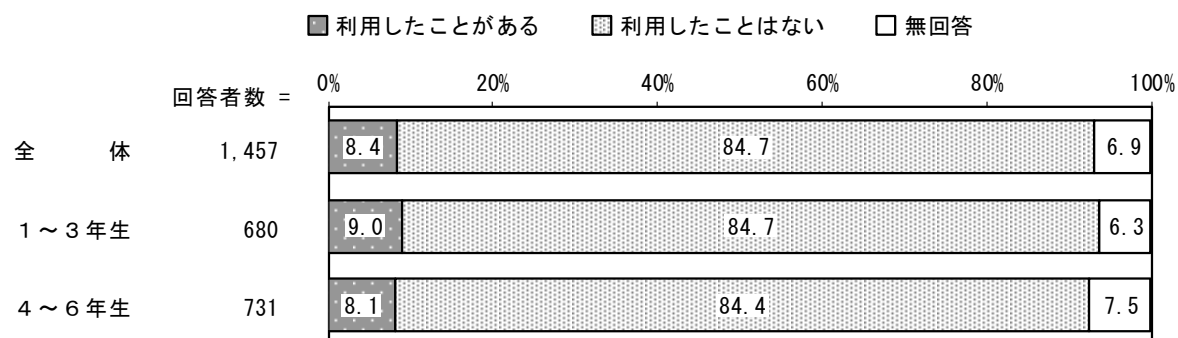
※回答対象は小学生対象調査の全員

ウ 子ども預かり・送迎支援事業またはファミリー・サポート・センター事業

全体では、「利用したことがある」の割合が8.4%、「利用したことはない」の割合が84.7%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 271 子ども預かり・送迎支援事業またはファミリー・サポート・センター事業の利用状況



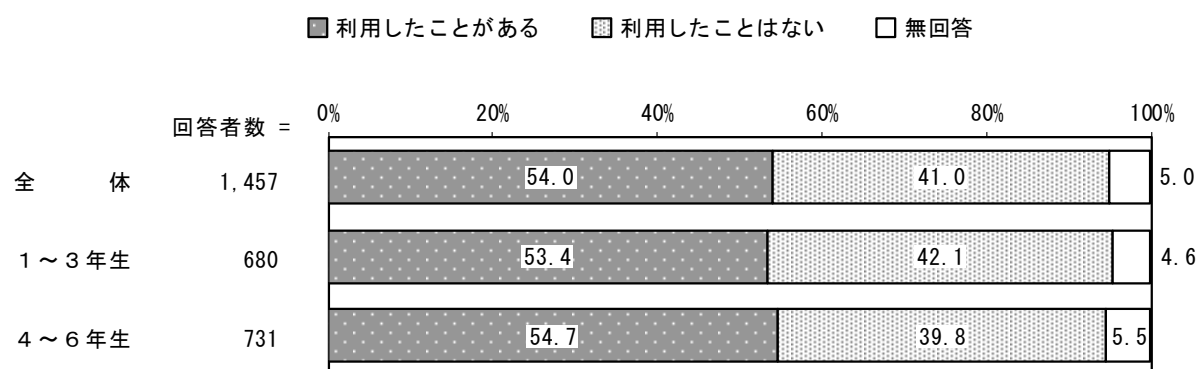
※回答対象は小学生対象調査の全員

エ 放課後子ども教室

全体では、「利用したことがある」の割合が54.0%、「利用したことはない」の割合が41.0%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 272 放課後子ども教室の利用状況



※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

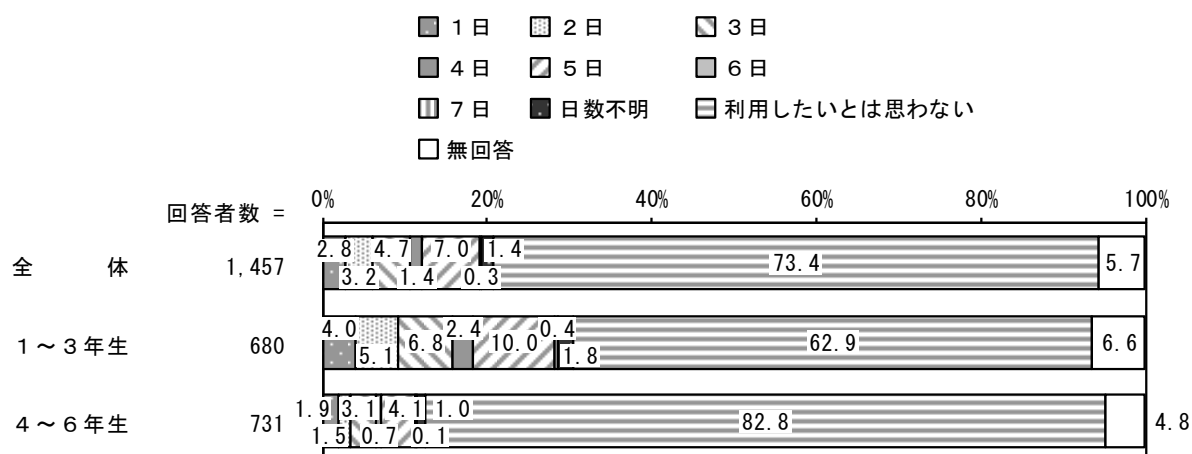
(3) 今後の利用意向

ア ランドセルで児童館（特例利用を含む）

全体では、「1日」～「日数不明」をあわせた「利用したい」の割合が20.9%、「利用したいとは思わない」の割合が73.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「利用したい」の割合が、4～6年生で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっている。

図表 273 ランドセルで児童館の今後の利用意向



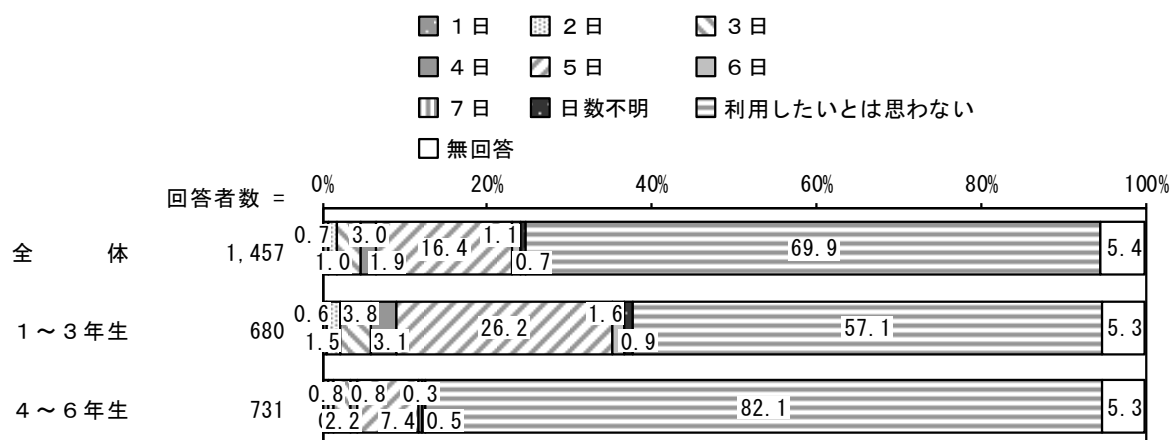
※回答対象は小学生対象調査の全員

イ 学童保育（民間学童を含む）

全体では、「1日」～「日数不明」をあわせた「利用したい」の割合が24.6%、「利用したいとは思わない」の割合が69.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「利用したい」の割合が、4～6年生で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっている。

図表 274 学童保育の今後の利用意向



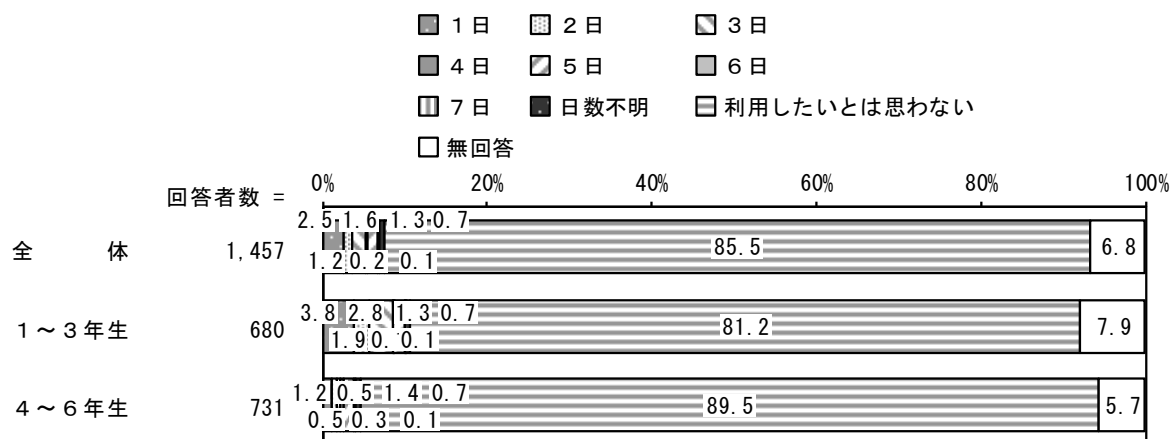
※回答対象は小学生対象調査の全員

ウ 子ども預かり・送迎支援事業またはファミリー・サポート・センター事業

全体では、「1日」～「日数不明」をあわせた「利用したい」の割合が7.7%、「利用したいとは思わない」の割合が85.5%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 275 子ども預かり・送迎支援事業またはファミリー・サポート・センター事業の今後の利用意向



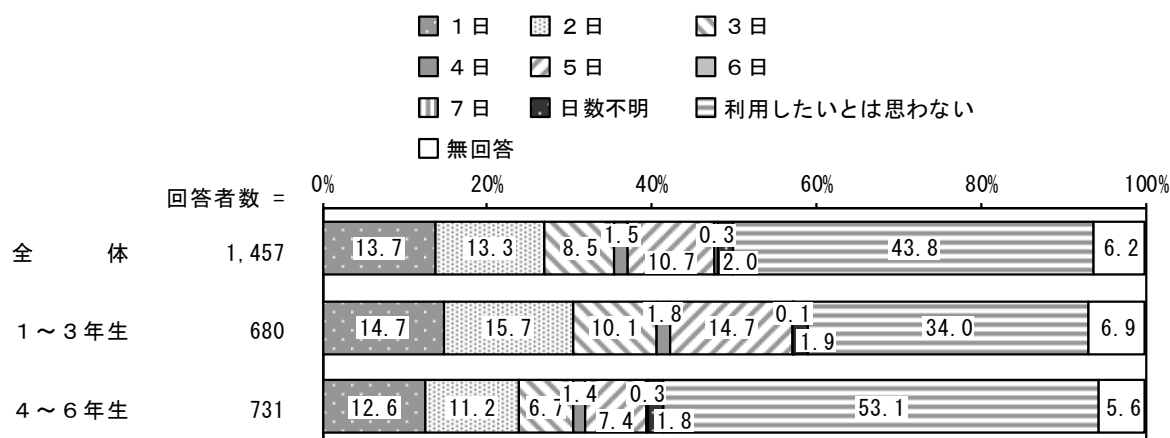
※回答対象は小学生対象調査の全員

エ 放課後子ども教室

全体では、「1日」～「日数不明」をあわせた「利用したい」の割合が50.0%、「利用したいとは思わない」の割合が43.8%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「利用したい」の割合が、4～6年生で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっている。

図表 276 放課後子ども教室の今後の利用意向



※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

2-6-1-1 ランドセルで児童館を今後利用したいと思わない理由

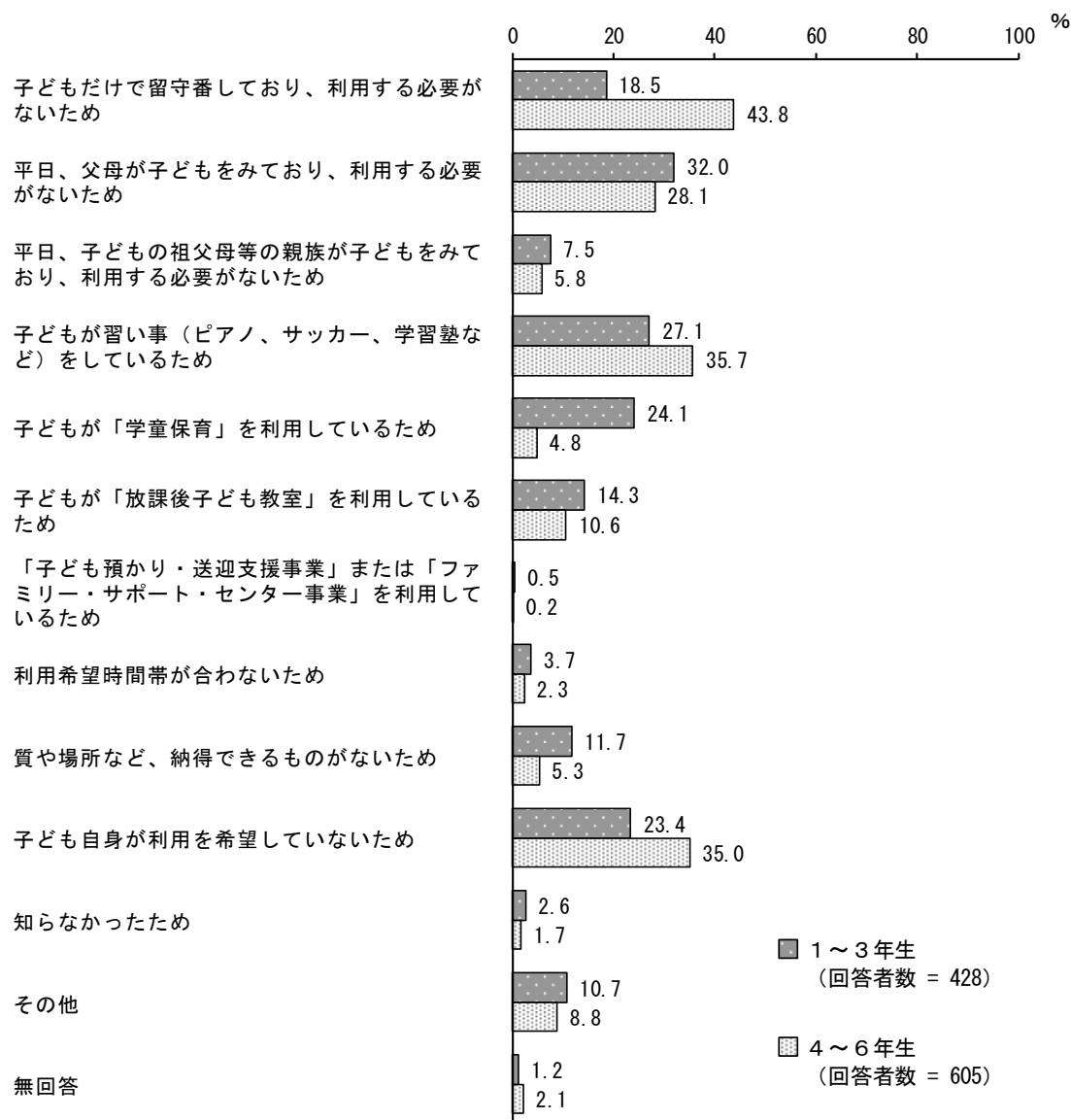
問 16-1 利用したいとは思わない理由は、次のどれですか
(あてはまるものすべてに○)。

1～3年生で「平日、父母が子どもをみており、利用する必要があるため」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしているため」の割合が 27.1%、「子どもが「学童保育」を利用しているため」の割合が 24.1%となっている。

4～6年生で「子どもだけで留守番しており、利用する必要があるため」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしているため」の割合が 35.7%、「子ども自身が利用を希望していないため」の割合が 35.0%となっている。

学年別でみると、1～3年生で「子どもが「学童保育」を利用しているため」「質や場所など、納得できるものがないため」の割合が、4～6年生で「子どもだけで留守番しており、利用する必要があるため」「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしているため」「子ども自身が利用を希望していないため」の割合が高くなっている。

図表 277 ランドセルで児童館を今後利用したいと思わない理由



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問 16（3）で「利用したいとは思わない」と回答した人

2-6-1-2 学童保育を今後利用したいと思わない理由

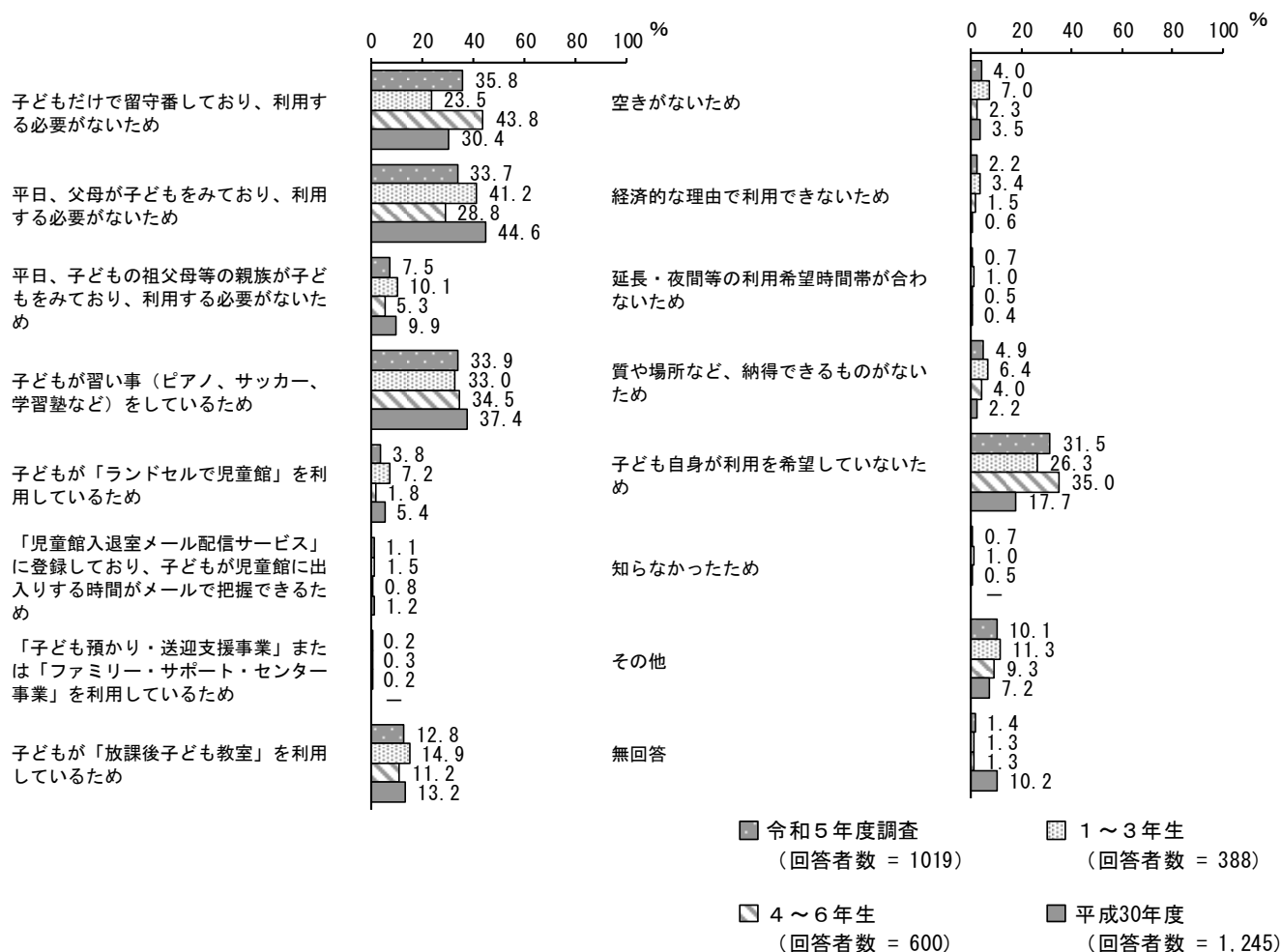
問 16-2 利用したいとは思わない理由は、次のどれですか
(あてはまるものすべてに○)。

1～3年生で「平日、父母が子どもをみており、利用する必要があるため」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしているため」の割合が 33.0%、「子ども自身が利用を希望していないため」の割合が 26.3%となっている。

4～6年生で「子どもだけで留守番しており、利用する必要があるため」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「子ども自身が利用を希望していないため」の割合が 35.0%、「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしているため」の割合が 34.5%となっている。

平成 30 年度調査と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較はできないものの、「子どもだけで留守番しており、利用する必要があるため」「子ども自身が利用を希望していないため」の割合が増加している。一方、「平日、父母が子どもをみており、利用する必要があるため」の割合が減少している。

図表 278 学童保育を今後利用したいと思わない理由



※複数回答のため、合計は 100%に一致しない

※回答対象は問 16（3）で「利用したいとは思わない」と回答した人

※平成 30 年度は「学童保育を利用していない理由」で回答

※平成 30 年度調査で選択肢になかった項目は「—」としている。

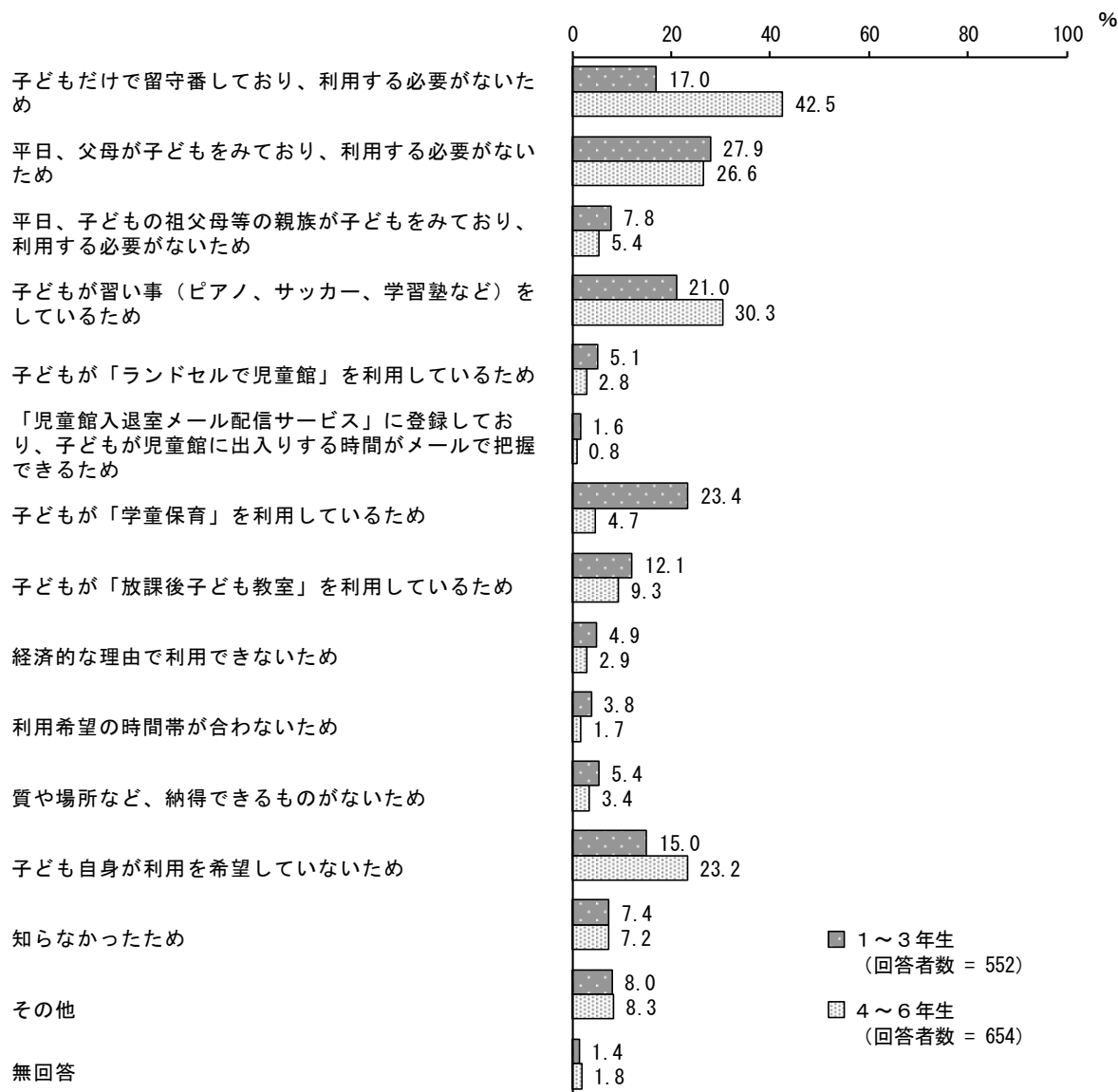
2-6-1-3 子ども預かり・送迎支援事業またはファミリー・サポート・センター事業を今後利用したいと思わない理由

問 16-3 利用したいとは思わない理由は、次のどれですか
(あてはまるものすべてに○)。

1～3年生で「平日、父母が子どもをみており、利用する必要があるため」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「子どもが「学童保育」を利用しているため」の割合が 23.4%、「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしているため」の割合が 21.0%となっている。

4～6年生で「子どもだけで留守番しており、利用する必要があるため」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしているため」の割合が 30.3%、「平日、父母が子どもをみており、利用する必要があるため」の割合が 26.6%となっている。

図表 279 子ども預かり・送迎支援事業またはファミリー・サポート・センター事業を今後利用したいと思わない理由



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問 16（3）で「利用したいとは思わない」と回答した人

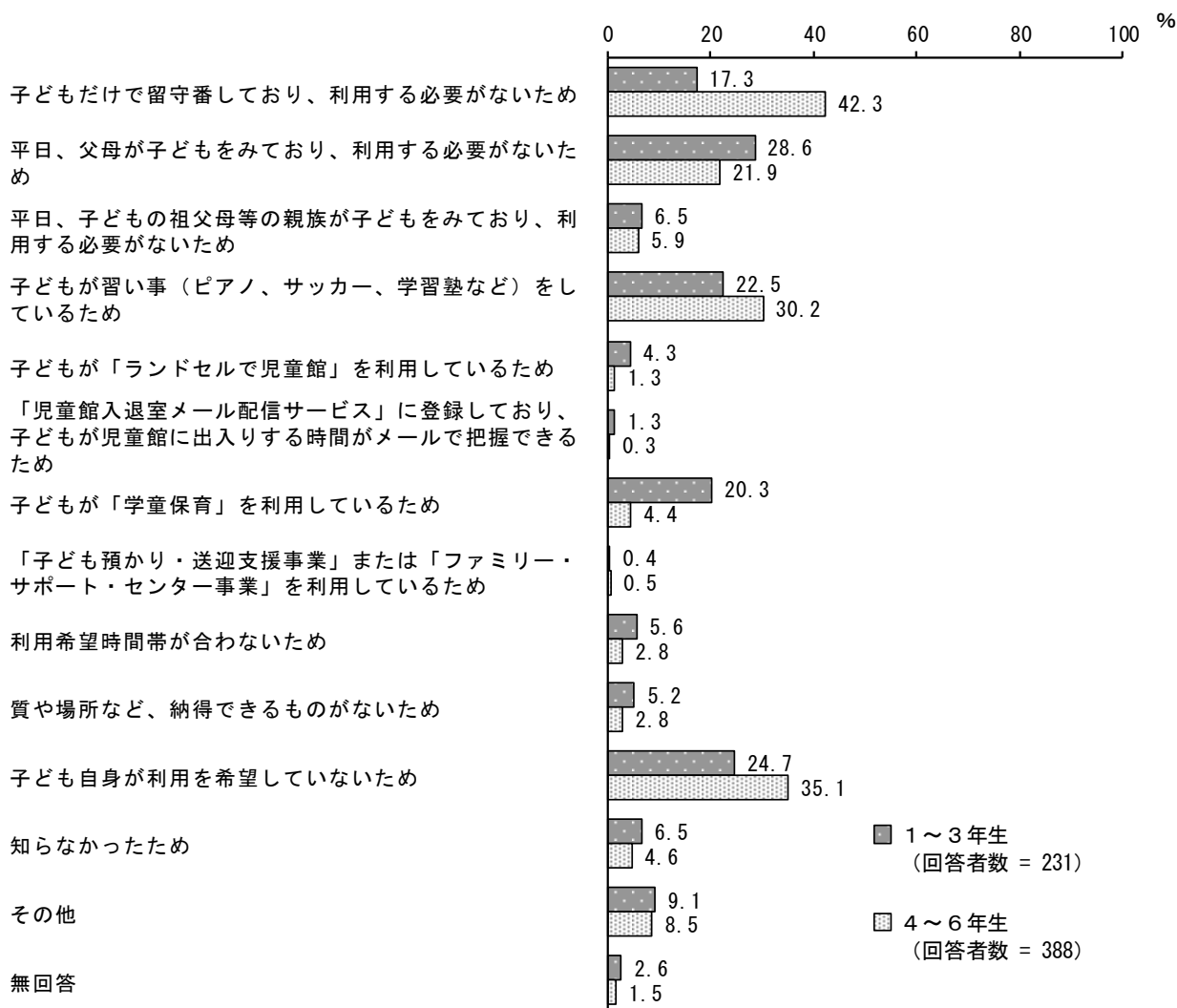
2-6-1-4 放課後子ども教室を今後利用したいと思わない理由

問 16-4 利用したいとは思わない理由は、次のどれですか
(あてはまるものすべてに○)。

1～3年生で「平日、父母が子どもをみており、利用する必要がないため」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「子ども自身が利用を希望していないため」の割合が 24.7%、「子どもが習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)をしているため」の割合が 22.5%となっている。

4～6年生で「子どもだけで留守番しており、利用する必要がないため」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「子ども自身が利用を希望していないため」の割合が 35.1%、「子どもが習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)をしているため」の割合が 30.2%となっている。

図表 280 放課後子ども教室を今後利用したいと思わない理由



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問 16 (3) で「利用したいとは思わない」と回答した人

2-6-2 現在放課後の時間を過ごしている場所・週あたりの日数

問 17 お子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所（事業）で過ごしていますか（あてはまるものすべてに○）。
また、それぞれの場所（事業）の週あたりの日数をお答えください（カッコ内に数字で）。

(1) 過ごしている場所

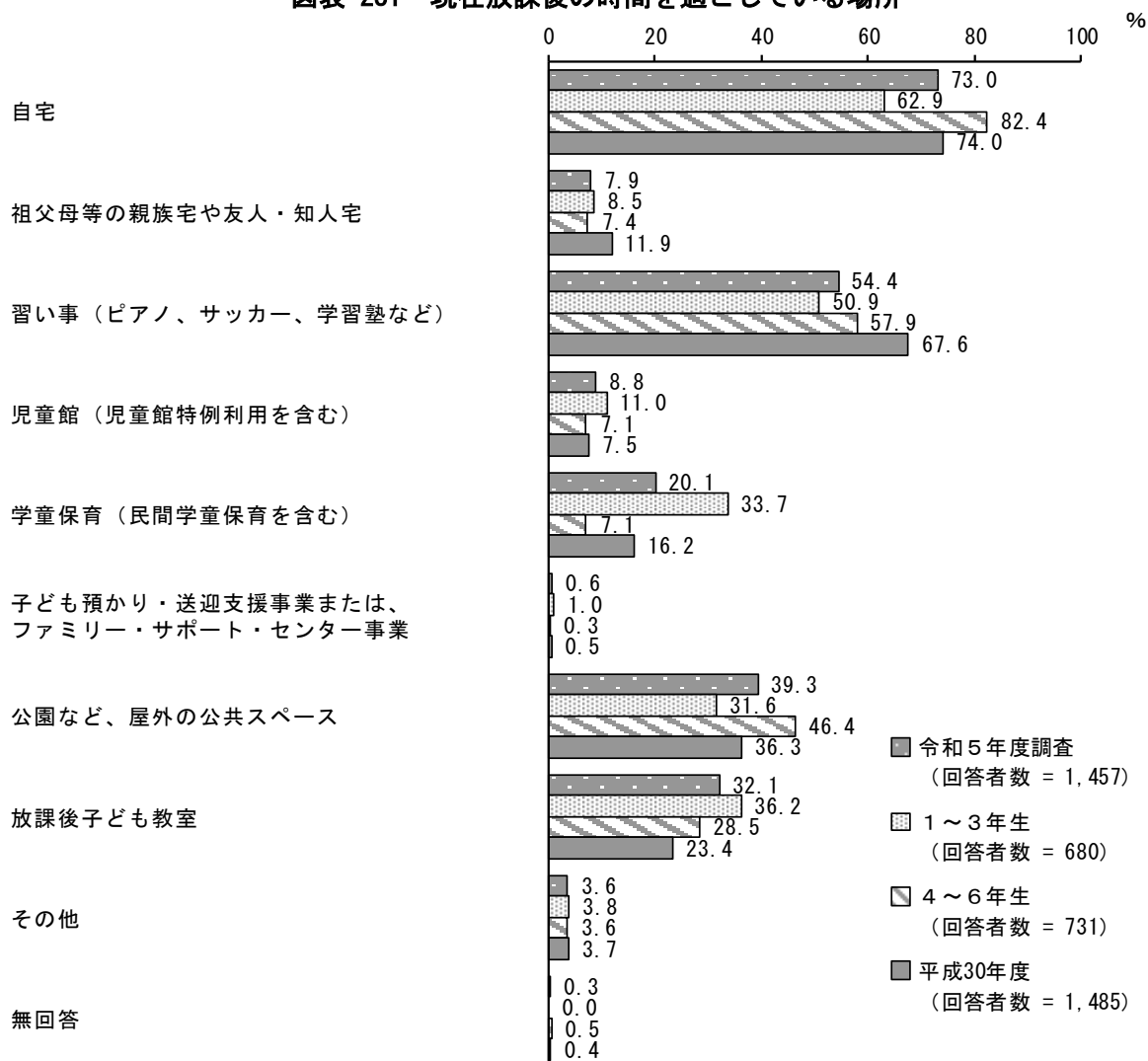
1～3年生で「自宅」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）」の割合が 50.9%、「放課後子ども教室」の割合が 36.2%となっている。

4～6年生で「自宅」の割合が 82.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）」の割合が 57.9%、「公園など、屋外の公共スペース」の割合が 46.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「学童保育（民間学童保育を含む）」の割合が、4～6年生で「自宅」「公園など、屋外の公共スペース」の割合が高くなっている。

平成 30 年度調査と比較すると、「放課後子ども教室」の割合が増加している。一方、「習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）」の割合が減少している。

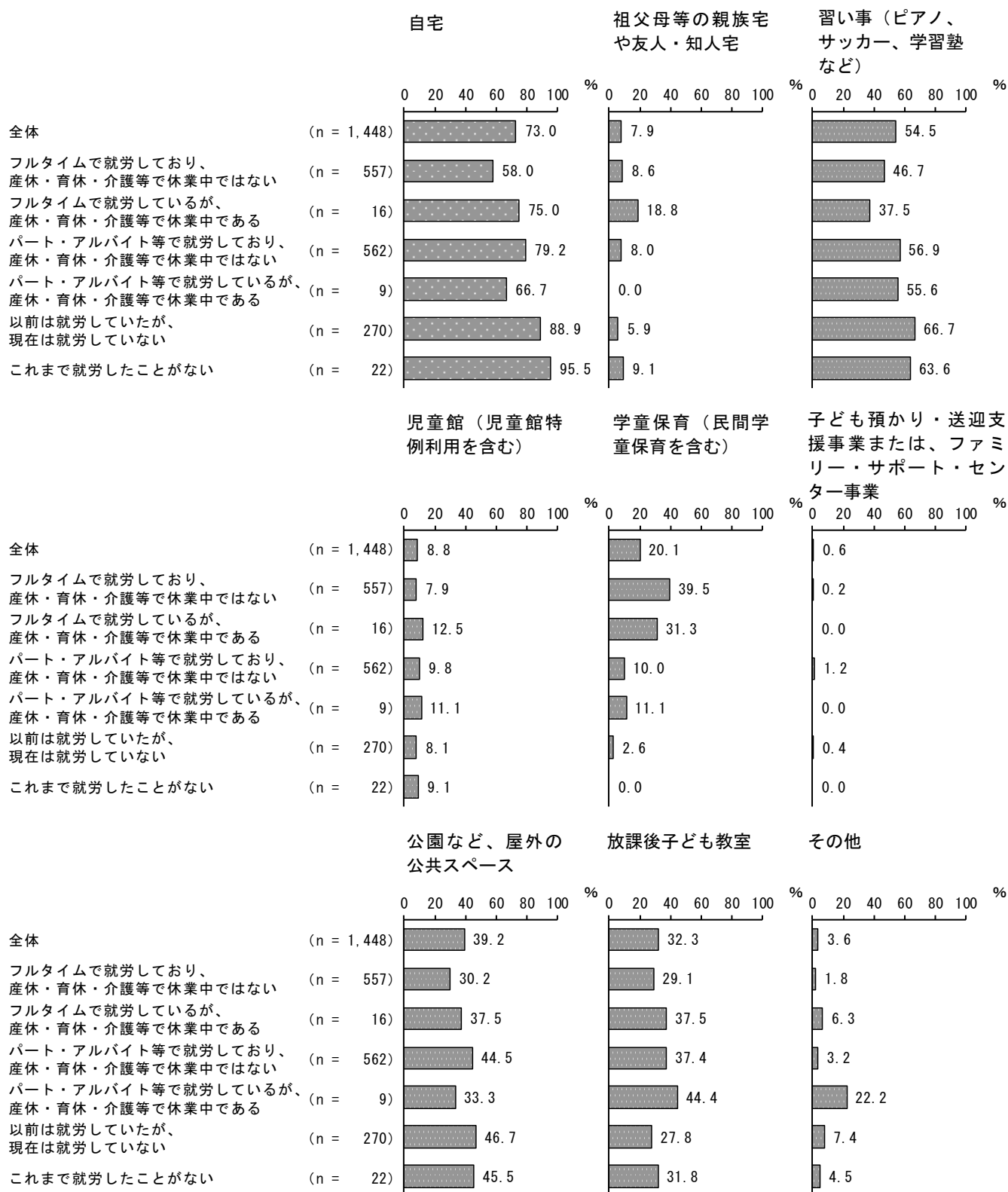
図表 281 現在放課後の時間を過ごしている場所



※回答対象は小学生対象調査の全員

母親の就労状況別でみると、全体と比べて、これまで就労したことがない人で「自宅」の割合が、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護等で休業中ではない人で「学童保育（民間学童保育を含む）」の割合が高くなっている。

図表 282 現在放課後の時間を過ごしている場所—母親の就労状況別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

(2) 週あたりの日数

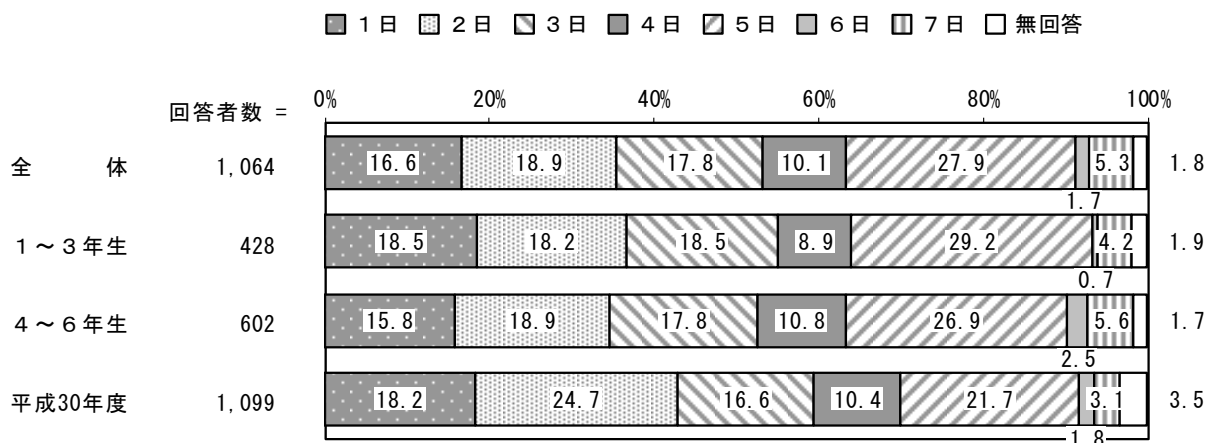
ア. 自宅

全体では、「5日」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が 18.9%、「3日」の割合が 17.8%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加している。一方、「2日」の割合が減少している。

図表 283 放課後「自宅」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は小学生対象調査の全員

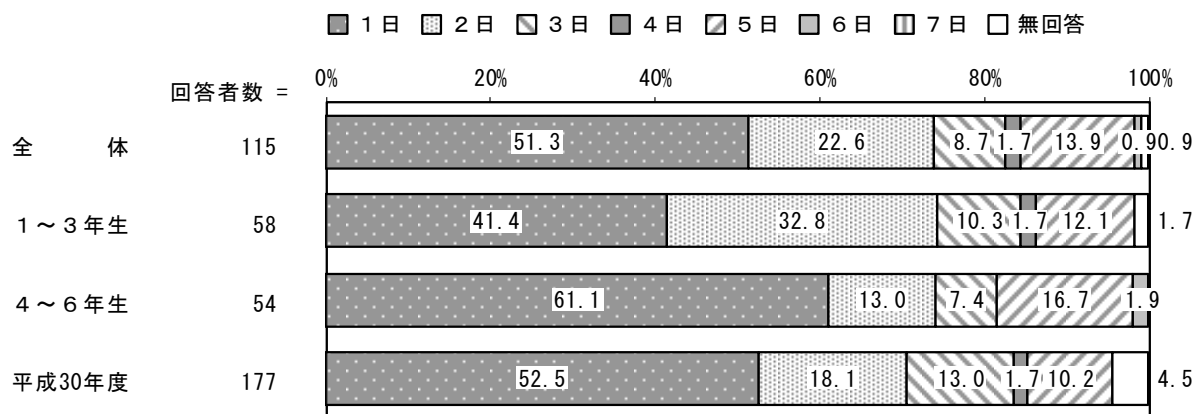
イ. 祖父母等の親族宅や友人・知人宅

全体では、「1日」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が 22.6%、「5日」の割合が 13.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「2日」の割合が、4～6年生で「1日」の割合が高くなっている。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 284 放課後「祖父母等の親族宅や友人・知人宅」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は小学生対象調査の全員

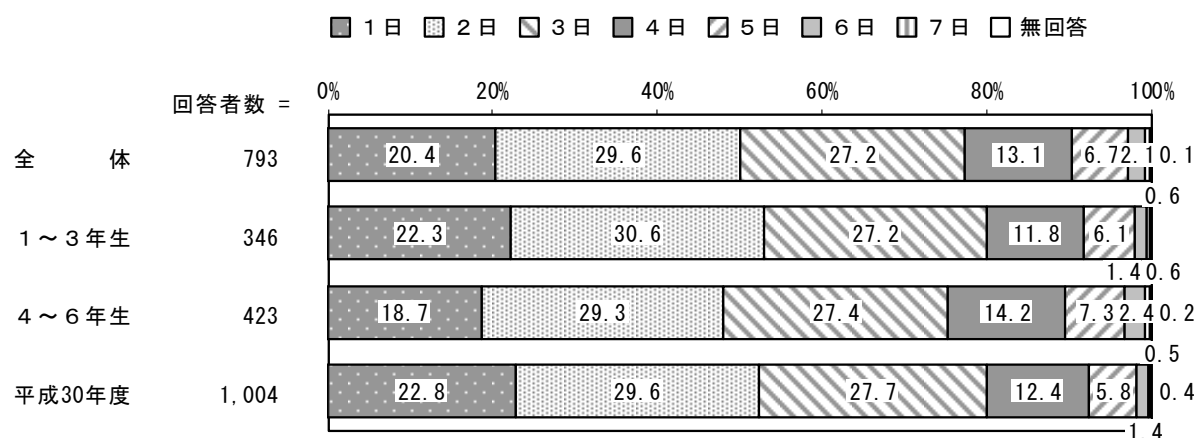
ウ. 習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）

全体では、「2日」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が 27.2%、「1日」の割合が 20.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 285 放課後「習い事」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は小学生対象調査の全員

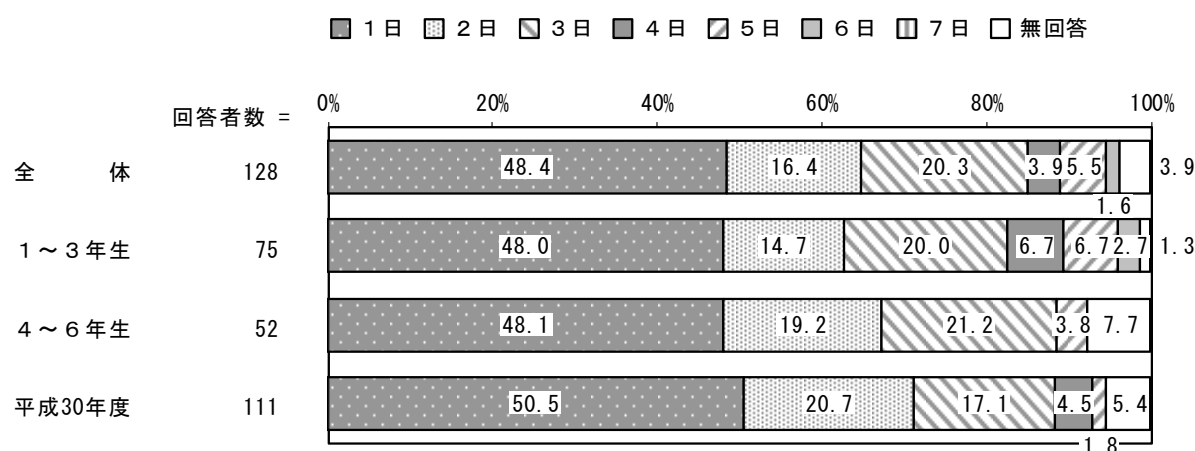
エ. 児童館（児童館特例利用含む）

全体では、「1日」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が 20.3%、「2日」の割合が 16.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 286 放課後「児童館」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

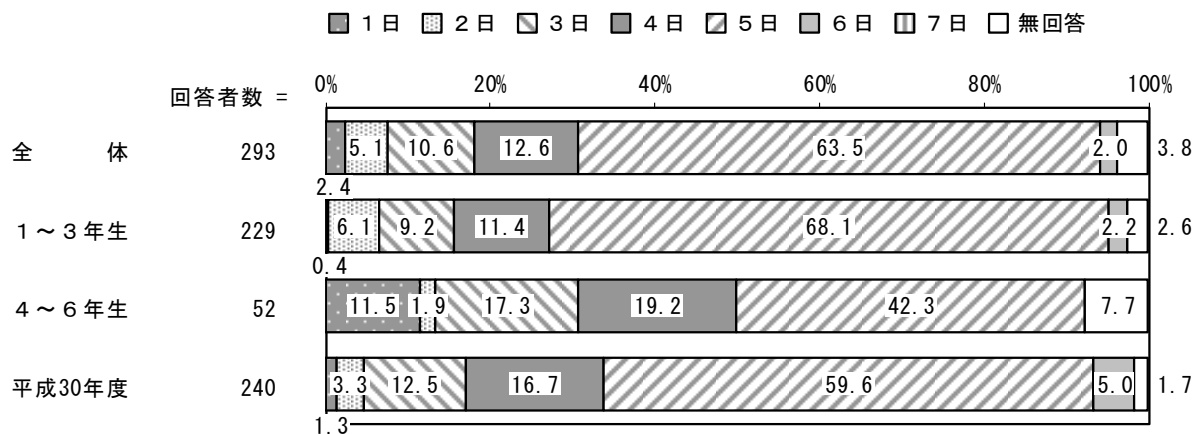
オ. 学童保育

全体では、「5日」の割合が63.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が12.6%、「3日」の割合が10.6%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、4～6年生で「3日」「4日」の割合が高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 287 放課後「学童保育」で過ごしている週あたりの日数

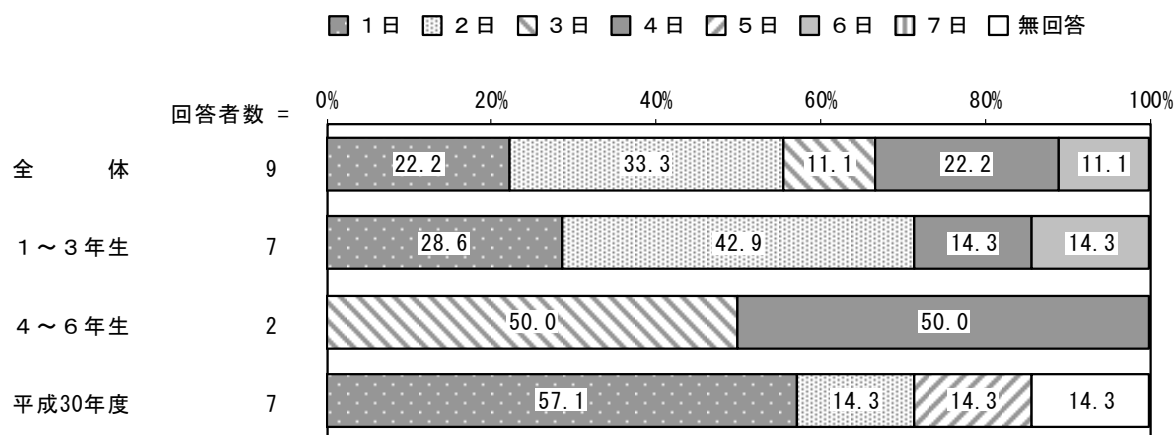


※回答対象は小学生対象調査の全員

カ. 子ども預かり・送迎支援事業または、ファミリー・サポート・センター事業

全体では、現在、子ども預かり・送迎支援事業または、ファミリー・サポート・センター事業で過ごしている週あたりの日数について、以下の図の通りである。

図表 288 放課後「子ども預かり・送迎支援事業または、ファミリー・サポート・センター事業」で過ごしている週あたりの日数



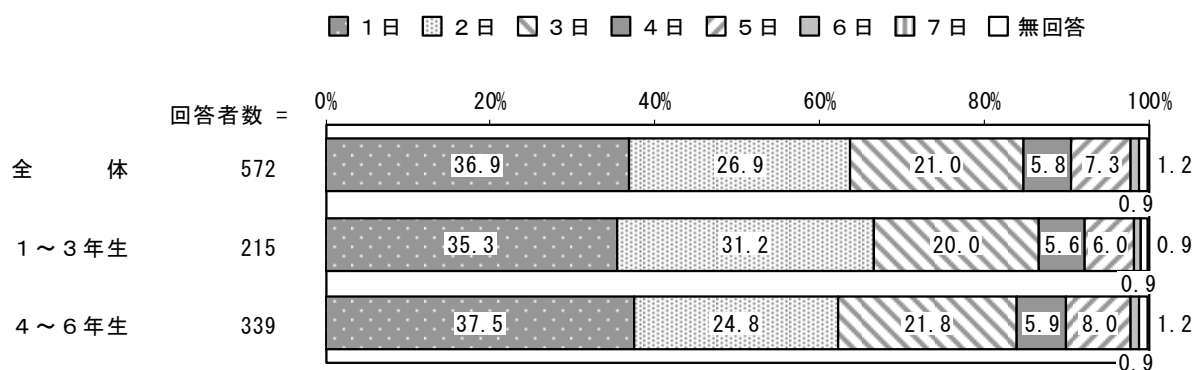
※回答対象は小学生対象調査の全員

キ. 公園など、屋外の公共スペース

全体では、「1日」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が 26.9%、「3日」の割合が 21.0%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 289 放課後「公園など、屋外の公共スペース」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は小学生対象調査の全員

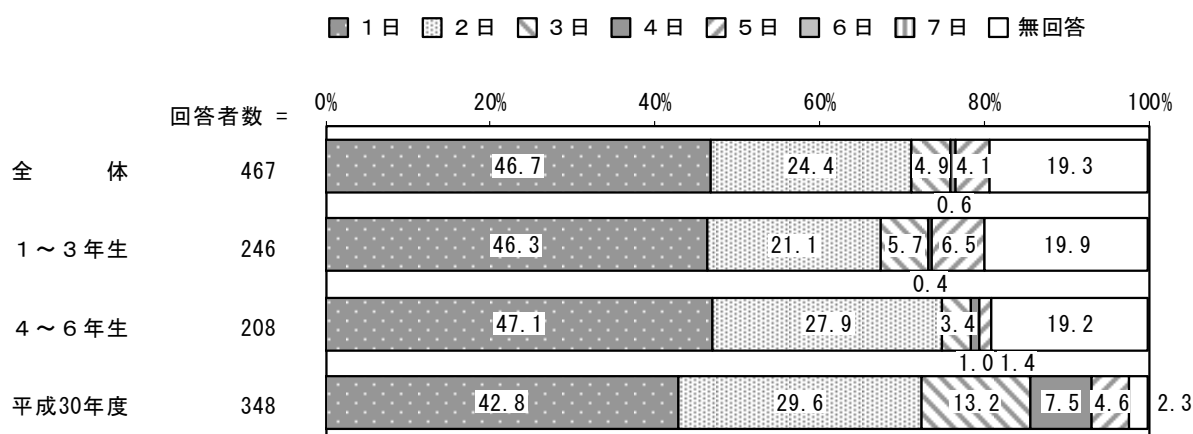
ク. 放課後子ども教室

全体では、「1日」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が 24.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度調査と比較すると、「2日」「3日」「4日」の割合が減少している。

図表 290 放課後「放課後子ども教室」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

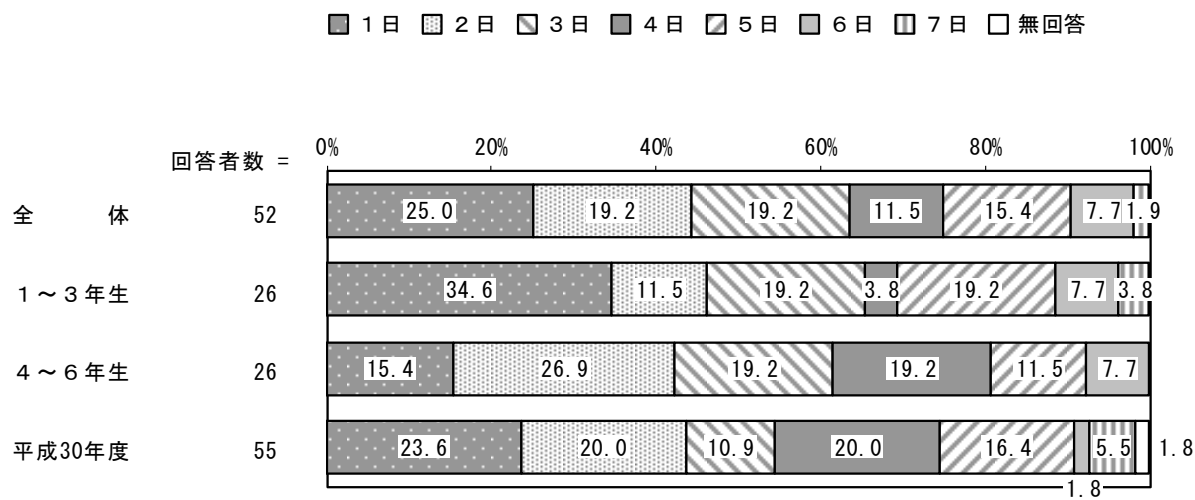
ケ. その他

全体では、「1日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「2日」、「3日」の割合が19.2%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「1日」の割合が、4～6年生で「2日」「4日」の割合が高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「3日」「6日」の割合が増加している。一方、「4日」の割合が減少している。

図表 291 放課後「その他」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は小学生対象調査の全員

2-6-3 学童保育の利用状況

2-6-3-1 学童保育における現在の利用時間帯と希望する利用時間帯

問 17-1 学童保育の現在の利用時間帯をお答えください。また、希望する利用時間帯をお答えください（カッコ内に数字）。

(1) 現在の利用時間帯

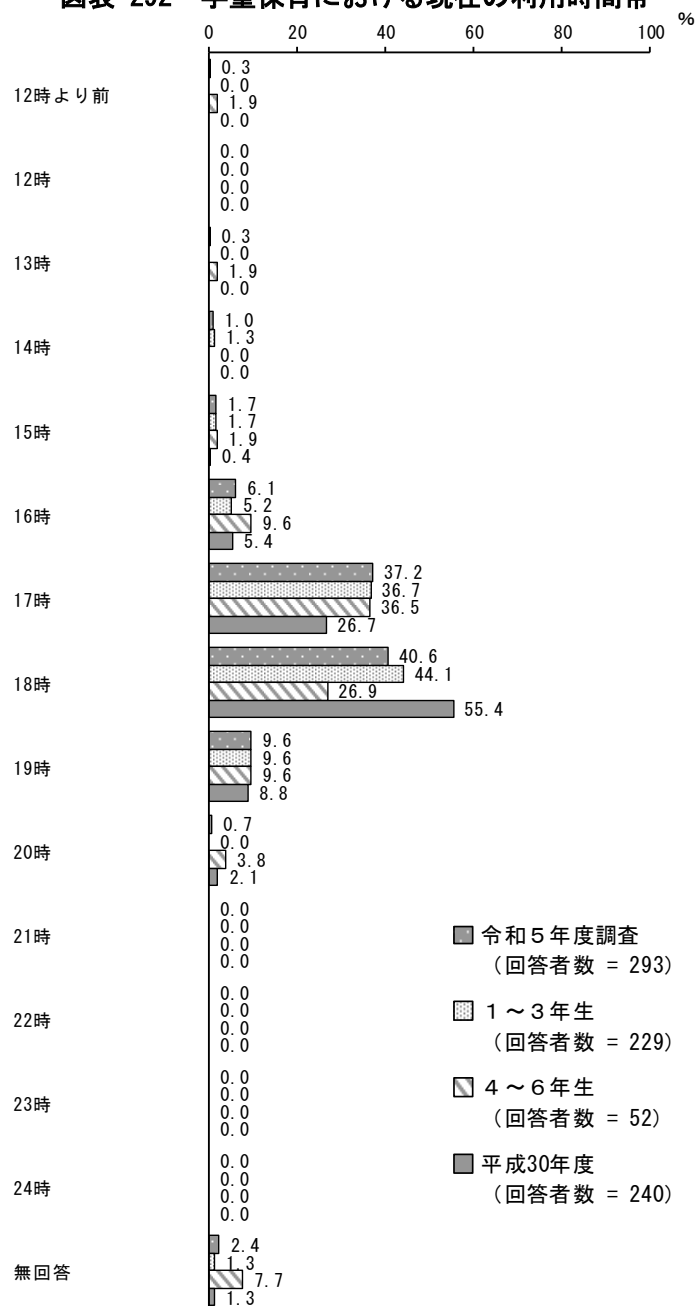
1～3年生で「18時」の割合が44.1%と最も高く、次いで「17時」の割合が36.7%となっている。

4～6年生で「17時」の割合が36.5%と最も高く、次いで「18時」の割合が26.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度調査と比較すると、「17時」の割合が増加している。一方、「18時」の割合が減少している。

図表 292 学童保育における現在の利用時間帯



※問 17 で、「5 放課後（平日の小学校終了後）学童保育で過ごしている」と答えた人

調査結果 小学生

(2) 希望する利用時間帯

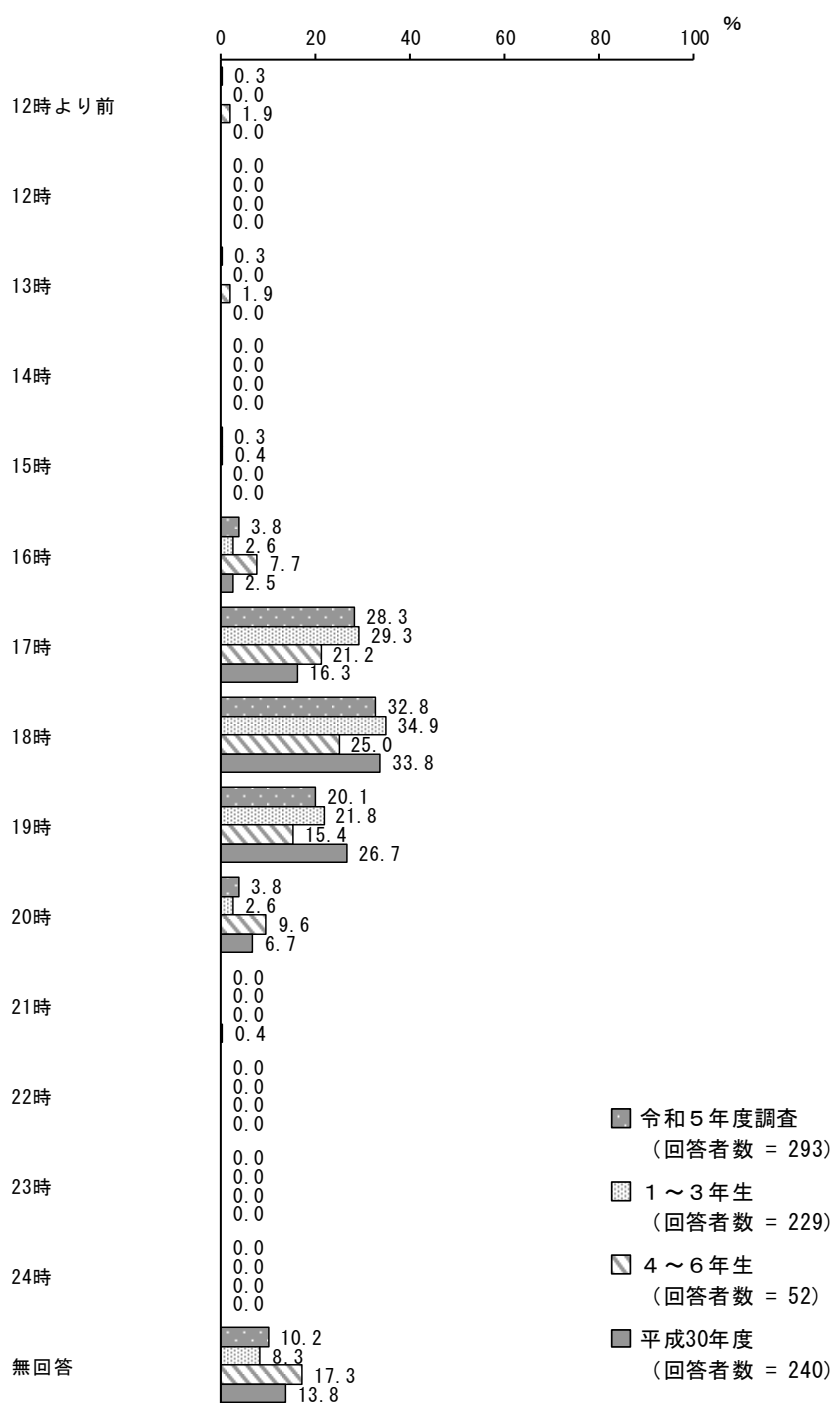
1～3年生で「18 時」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 29.3%、「19 時」の割合が 21.8%となっている。

4～6年生で「18 時」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 21.2%、「19 時」の割合が 15.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時」の割合が増加している。一方、「19 時」の割合が減少している。

図表 293 学童保育における希望する利用時間帯



※問 17 で、「5 放課後（平日の小学校終了後）学童保育で過ごしている」と答えた人

2-6-3-2 学童保育室の望ましい設置場所

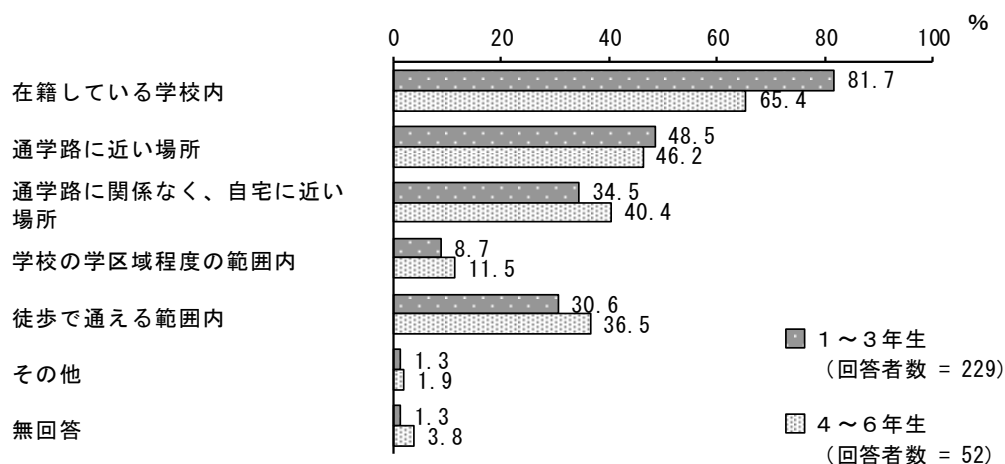
問 17-2 学童保育室の設置場所について、どこにあれば学童保育を利用しやすいですか（あてはまるものすべてに○）。

1～3年生で「在籍している学校内」の割合が 81.7%と最も高く、次いで「通学路に近い場所」の割合が 48.5%、「通学路に関係なく、自宅に近い場所」の割合が 34.5%となっている。

4～6年生で「在籍している学校内」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「通学路に近い場所」の割合が 46.2%、「通学路に関係なく、自宅に近い場所」の割合が 40.4%となっている。

学年別でみると、4～6年生で「徒歩で通える範囲内」の割合が高くなっている。

図表 294 学童保育室の望ましい設置場所



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※問 17 で、「5 放課後（平日の小学校終了後）学童保育で過ごしている」と答えた人

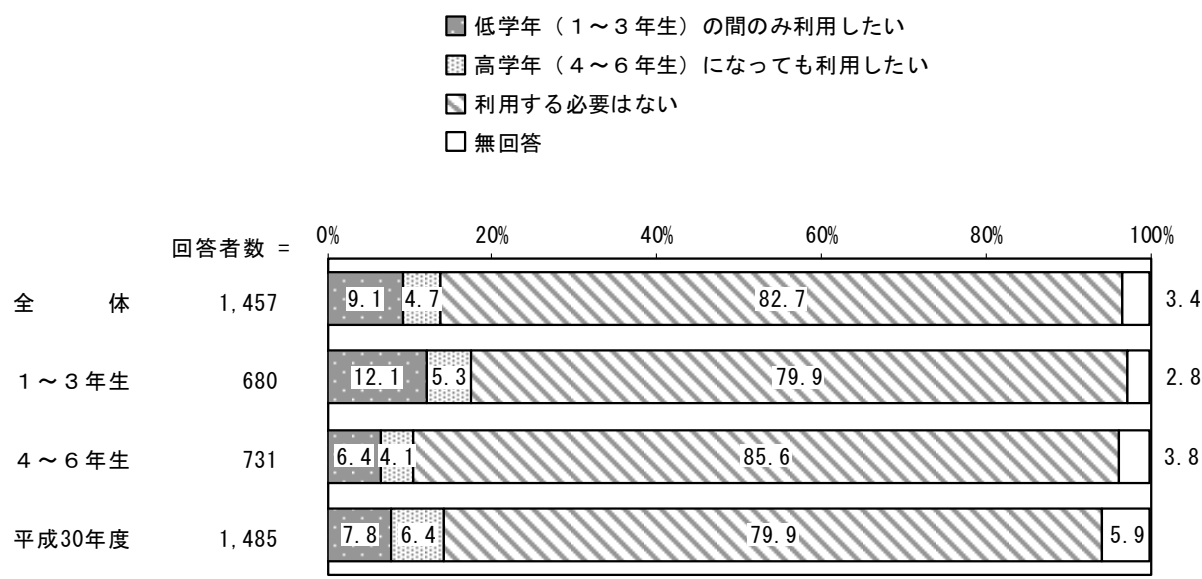
2-6-3-3 土曜日や日曜日・祝日や学校長期休業中の学童保育の利用意向

問 17-3 お子さんについて、(1) 土曜日に、(2) 日曜日・祝日に、学童保育を利用したいと思いますか(それぞれ○は1つだけ)。また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください(カッコ内に数字で)。

(1) 土曜日

全体では、「利用する必要はない」の割合が82.7%と最も高くなっている。
学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。
平成30年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 295 土曜日の学童保育の利用意向



(2) 土曜日の利用したい時間帯(開始時間)

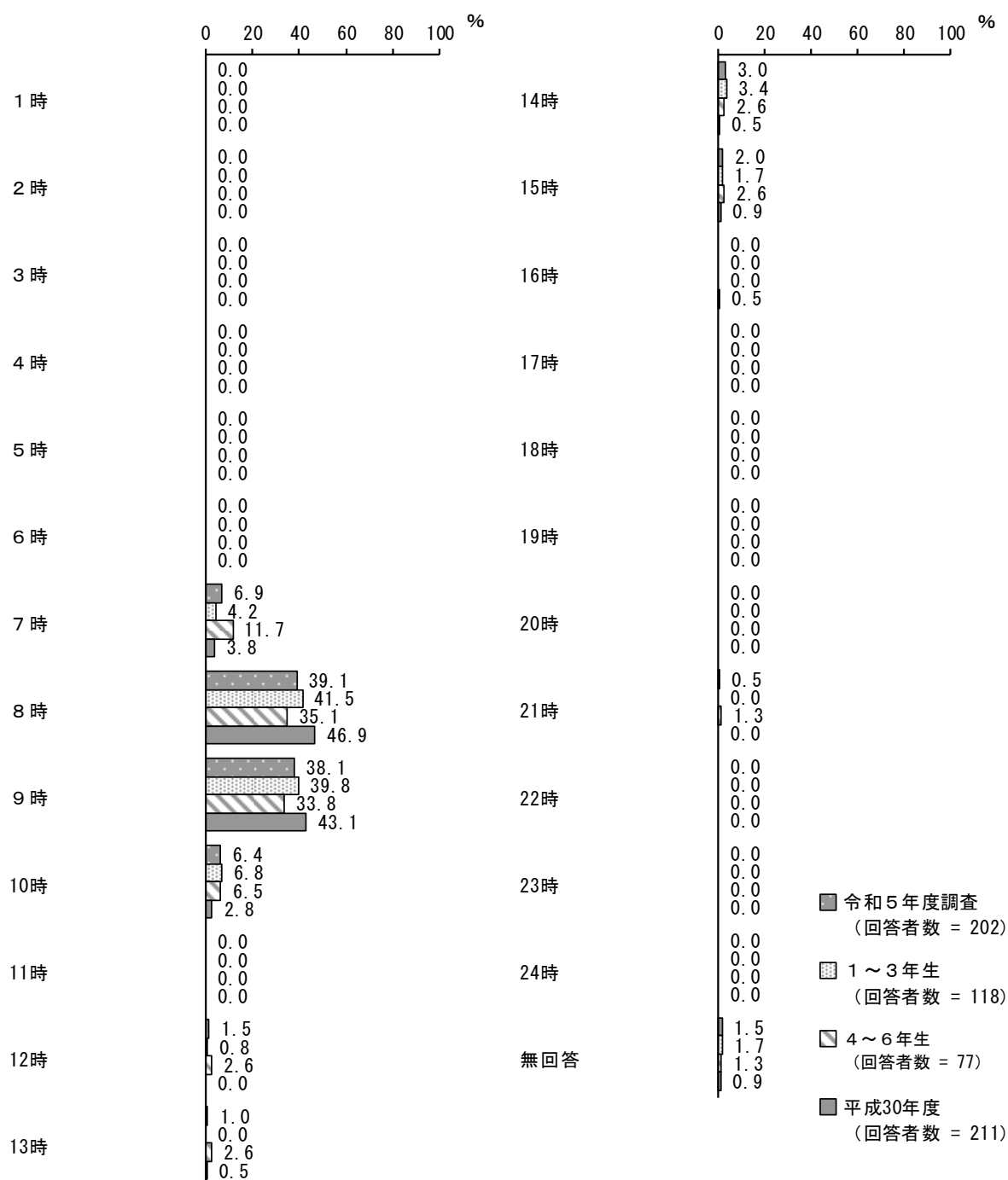
1～3年生で「8時」の割合が41.5%と最も高く、次いで「9時」の割合が39.8%となっている。

4～6年生で「8時」の割合が35.1%と最も高く、次いで「9時」の割合が33.8%、「7時」の割合が11.7%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度調査と比較すると、「8時」「9時」の割合が減少しており、特に「9時」の割合は減少幅が大きくなっている。

図表 296 土曜日の利用したい時間帯(開始時間)



※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

(3) 土曜日の利用したい時間帯(終了時間)

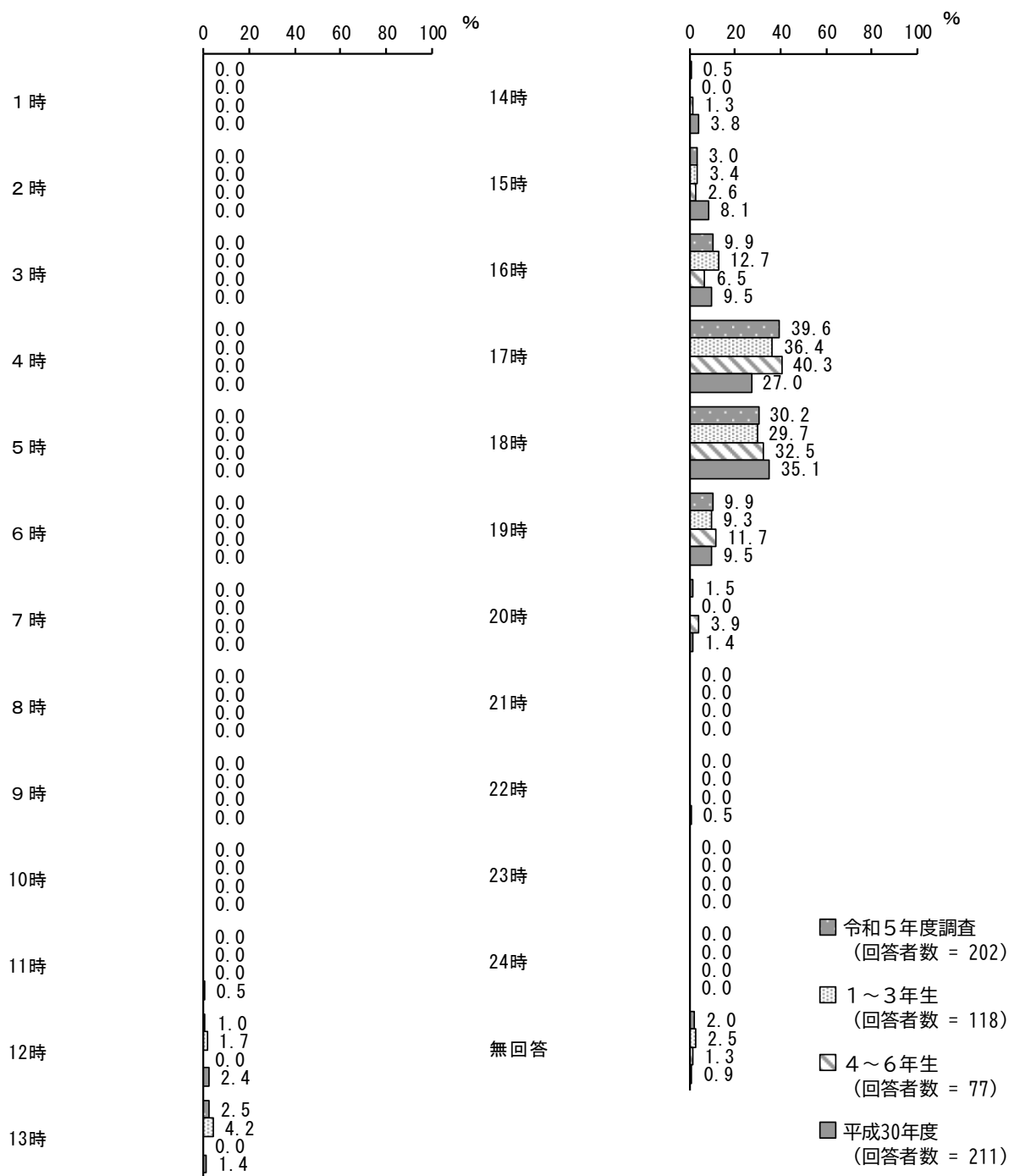
1～3年生で「17 時」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「18 時」の割合が 29.7%、「16 時」の割合が 12.7%となっている。

4～6年生で「17 時」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「18 時」の割合が 32.5%、「19 時」の割合が 11.7%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時」の割合が増加している。一方、「15 時」の割合が減少している。

図表 297 土曜日の利用したい時間帯(終了時間)

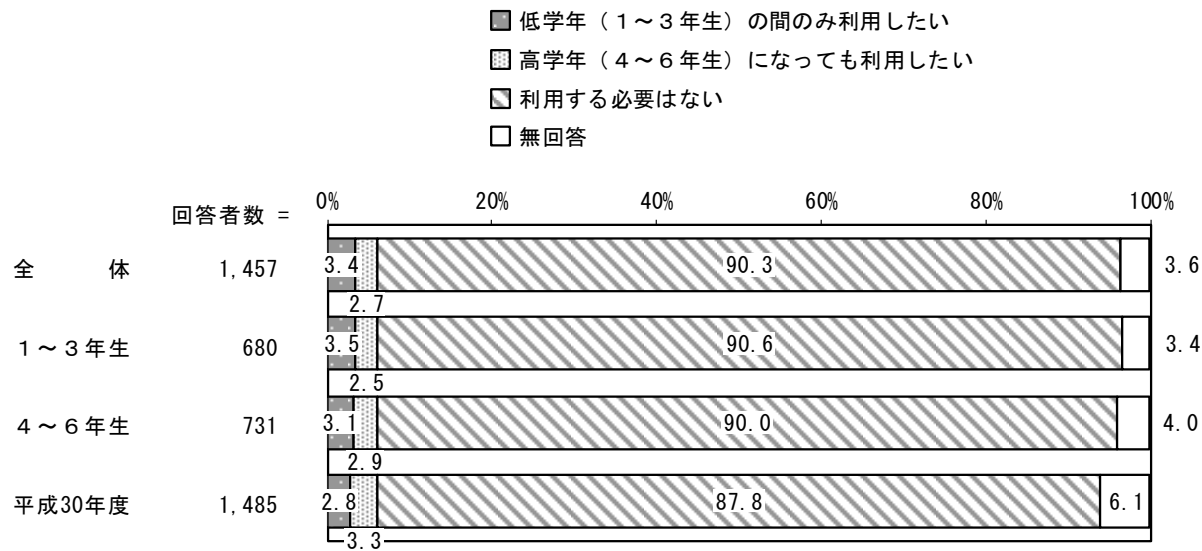


※回答対象は小学生対象調査の全員

(4) 日曜日・祝日

全体では、「利用する必要はない」の割合が90.3%と最も高くなっている。
学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。
平成30年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 298 日曜日・祝日の学童保育の利用意向



※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

(5) 日曜日・祝日の利用したい時間帯(開始時間)

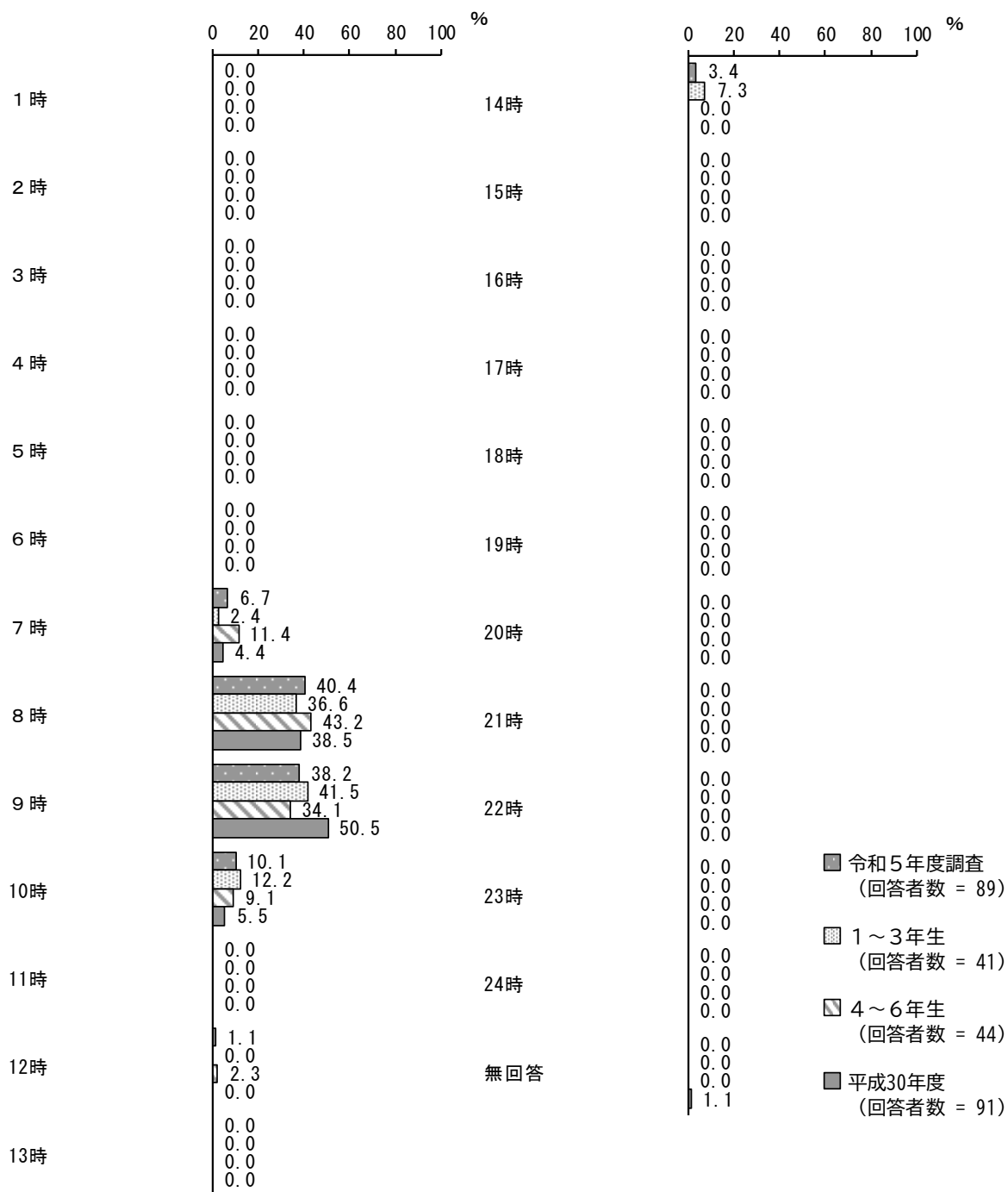
1～3年生で「9時」の割合が41.5%と最も高く、次いで「8時」の割合が36.6%、「10時」の割合が12.2%となっている。

4～6年生で「8時」の割合が43.2%と最も高く、次いで「9時」の割合が34.1%、「7時」の割合が11.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成30年度調査と比較すると、「9時」の割合が減少している。

図表 299 日曜日・祝日の利用したい時間帯(開始時間)



※回答対象は小学生対象調査の全員

(6) 日曜日・祝日の利用したい時間帯(終了時間)

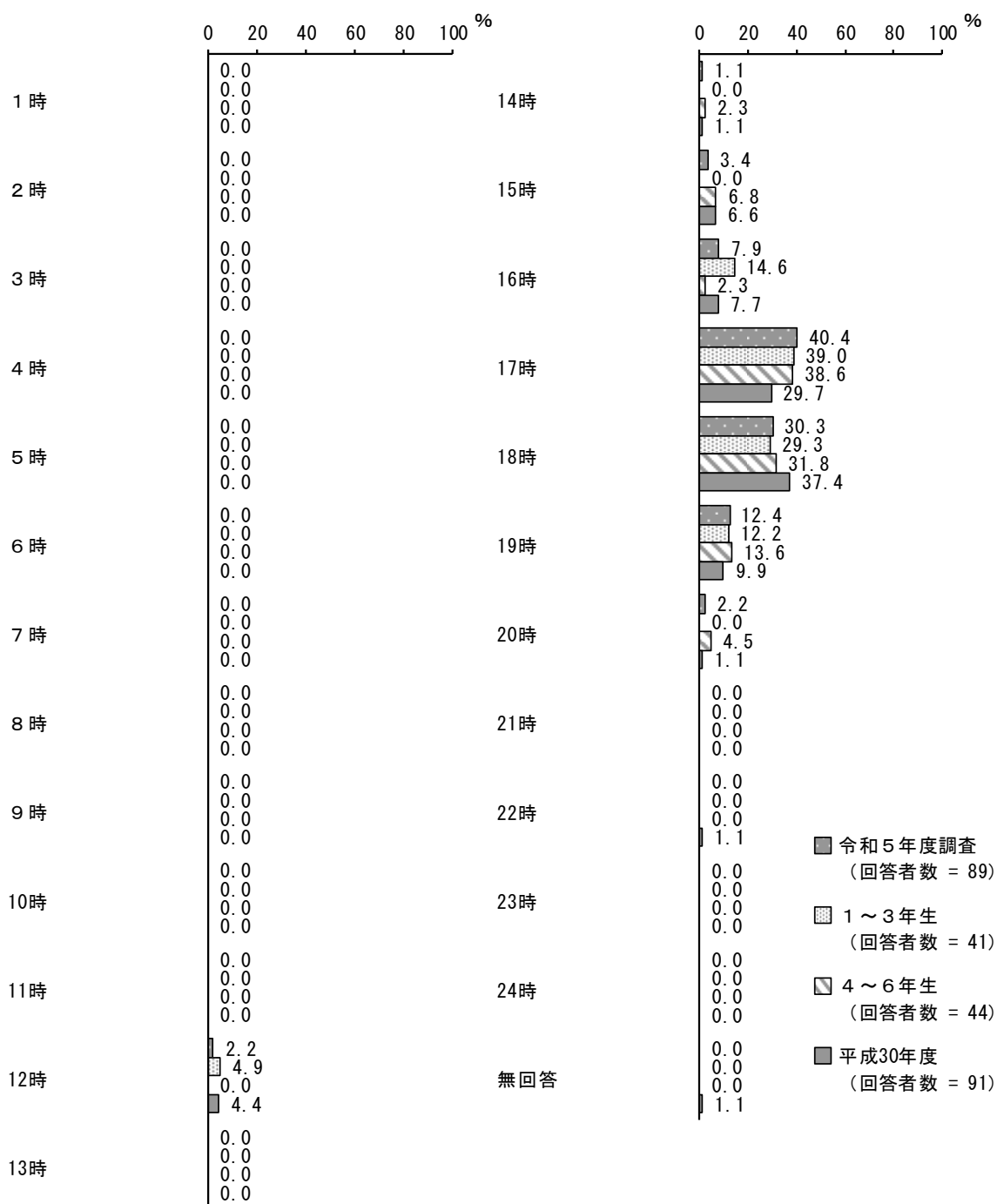
1～3年生で「17 時」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「18 時」の割合が 29.3%、「16 時」の割合が 14.6%となっている。

4～6年生で「17 時」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「18 時」の割合が 31.8%、「19 時」の割合が 13.6%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時」の割合が増加している。一方、「18 時」の割合が減少している。

図表 300 日曜日・祝日の利用したい時間帯(終了時間)



※回答対象は小学生対象調査の全員

2-6-4 学童保育室を選ぶときの重視点

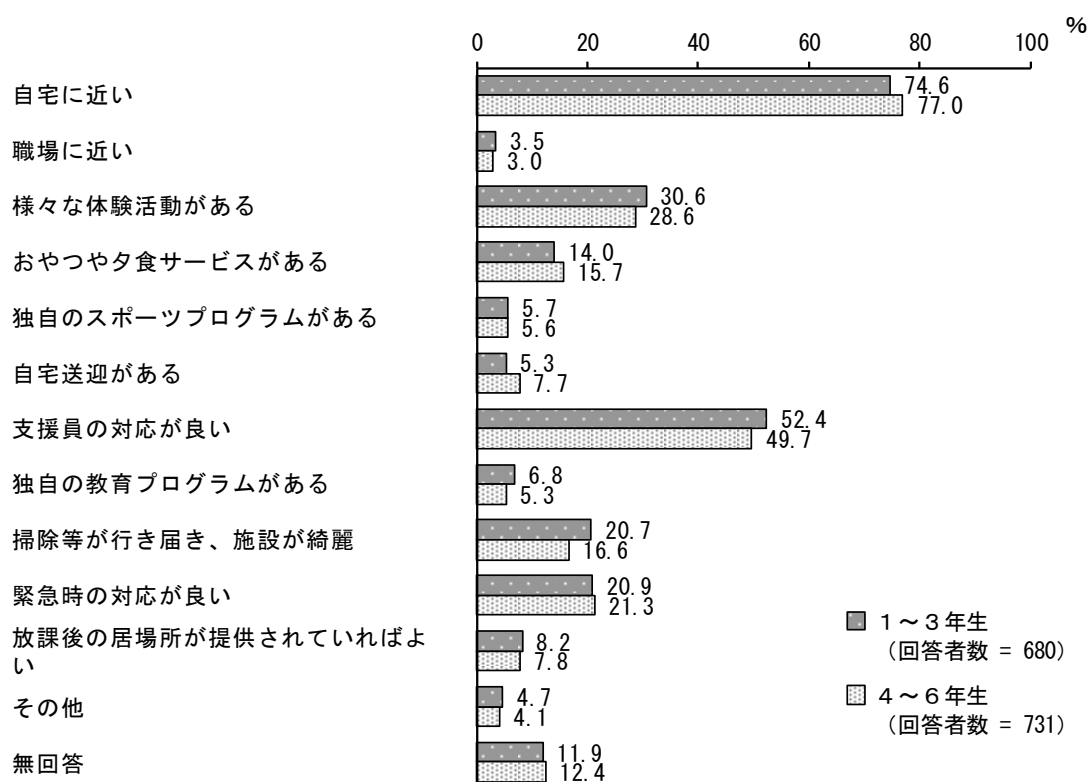
問 17-4 学童保育室を選ぶにあたって、どのようなことを重視しますか。
(○は3つ)。

1～3年生で「自宅に近い」の割合が74.6%と最も高く、次いで「支援員の対応が良い」の割合が52.4%、「様々な体験活動がある」の割合が30.6%となっている。

4～6年生で「自宅に近い」の割合が77.0%と最も高く、次いで「支援員の対応が良い」の割合が49.7%、「様々な体験活動がある」の割合が28.6%となっている。

学年別でみると、大きな差はみられない。

図表 301 学童保育室を選ぶときの重視点



※回答対象は小学生対象調査の全員

※複数回答のため、合計は100%に一致しない

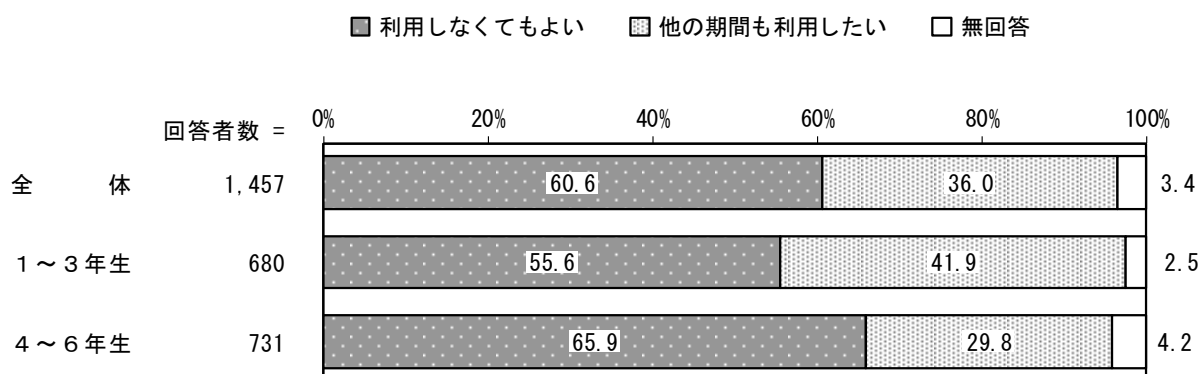
2-6-5 夏休み・冬休みなど長期休業中以外の学童保育室の利用希望

問 17-5 夏休み・冬休み・春休みなどの学校長期休業期間に学童保育室が利用できれば、他の期間は利用しなくてもよいと思いますか（○は1つだけ）。

全体では、「利用しなくてもよい」の割合が 60.6%、「他の期間も利用したい」の割合が 36.0%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、1～3年生で「他の期間も利用したい」の割合が高くなっている。

図表 302 夏休み・冬休みなど長期休業中以外の学童保育室の利用希望



※回答対象は小学生対象調査の全員

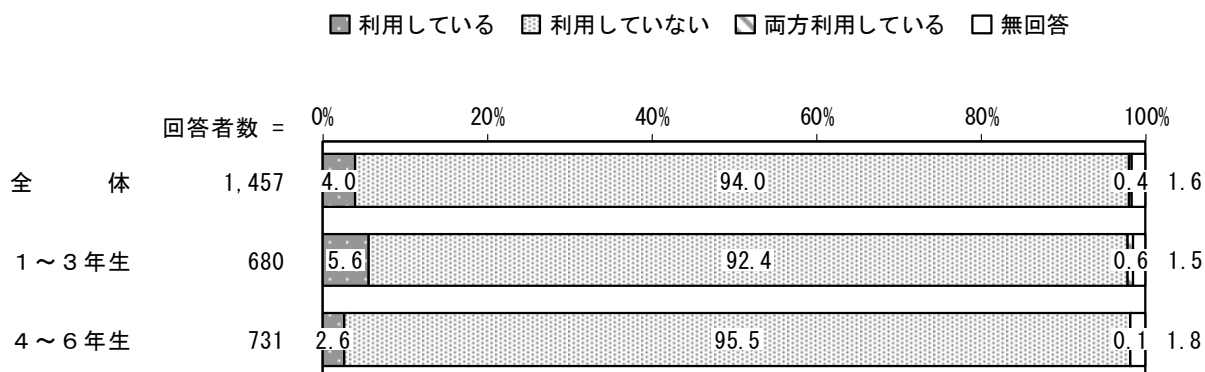
2-6-6 区で申請案内している学童保育室以外の学童保育室の利用の有無

問 17-6 お子さんは、区で申請案内をしている学童保育室以外の学童保育室を利用していますか（○は1つだけ）。

全体では、「利用していない」の割合が 94.0%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 303 区で申請案内している学童保育室以外の学童保育室の利用の有無



※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

2-6-7 学童保育室を利用している理由

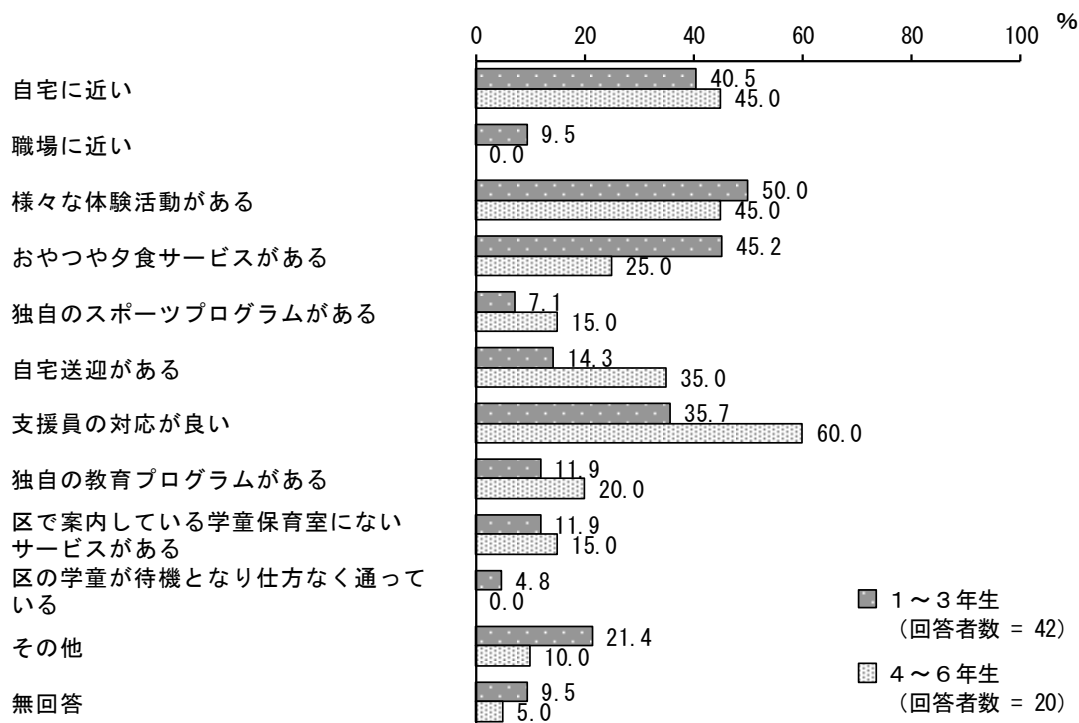
問 17-7 学童保育室を利用している理由は何ですか。(○は3つ)。

1～3年生で「様々な体験活動がある」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「おやつや夕食サービスがある」の割合が 45.2%、「自宅に近い」の割合が 40.5%となっている。

4～6年生で「支援員の対応が良い」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「自宅に近い」、「様々な体験活動がある」の割合が 45.0%となっている。

学年別でみると、1～3年生で「職場に近い」「様々な体験活動がある」「おやつや夕食サービスがある」の割合が、4～6年生で「自宅送迎がある」「支援員の対応が良い」「独自の教育プログラムがある」の割合が高くなっている。

図表 304 学童保育室を利用している理由



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問 17-6 で「1 区で申請案内している学童保育室以外の学童保育室を利用している」または「3 両方(区で申請案内している施設と案内していない施設)利用している」と答えた人

2-6-8 放課後子ども教室に期待すること

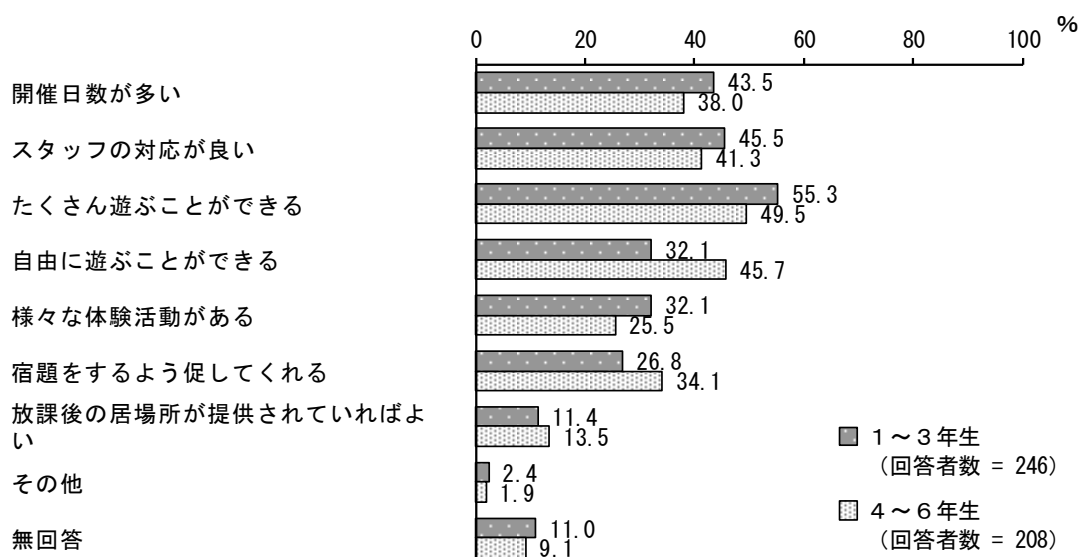
問 18 放課後子ども教室の利用にあたって、どのようなことを期待しますか
(〇は3つ)。

1～3年生で「たくさん遊ぶことができる」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「スタッフの対応が良い」の割合が 45.5%、「開催日数が多い」の割合が 43.5%となっている。

4～6年生で「たくさん遊ぶことができる」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「自由に遊ぶことができる」の割合が 45.7%、「スタッフの対応が良い」の割合が 41.3%となっている。

学年別でみると、1～3年生で「開催日数が多い」「たくさん遊ぶことができる」「様々な体験活動がある」4～6年生で「自由に遊ぶことができる」「宿題をするように促してくれる」の割合が高くなっている。

図表 305 放課後子ども教室に期待すること



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問 17 で「放課後（平日の小学校終了後）、放課後子ども教室で過ごしている」と答えた人

2-7 「病気の際の対応」について

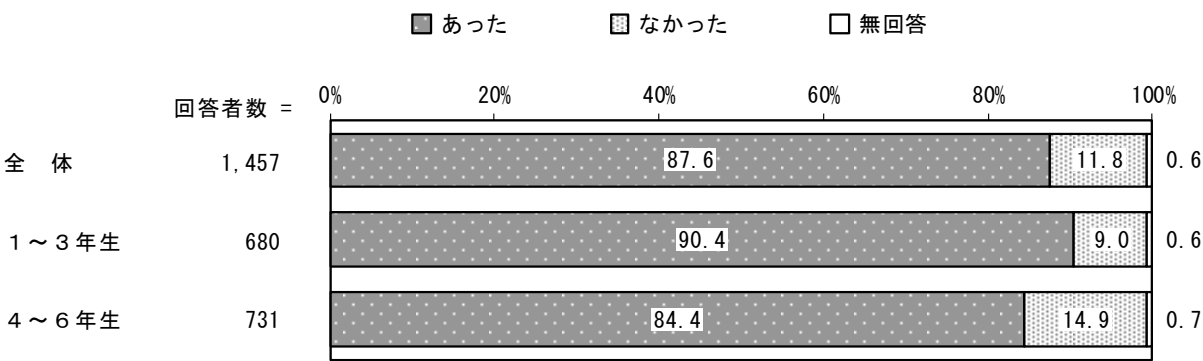
2-7-1 子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対応

2-7-1-1 子どもが病気やケガで学校を休んだ経験の有無

問 19 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか
(○は1つだけ)。

全体では、「あった」の割合が87.6%、「なかった」の割合が11.8%となっている。
学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 306 子どもが病気やケガで学校を休んだ経験の有無



※回答対象は小学生対象調査の全員

2-7-1-2 子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対処方法・日数

問 19-1 その際、この 1 年間に行った対処方法は次のどれですか

(あてはまる番号すべてに○)。

また、それぞれのおおよその日数(年間)をお答えください

(それぞれ○は1つだけ)。

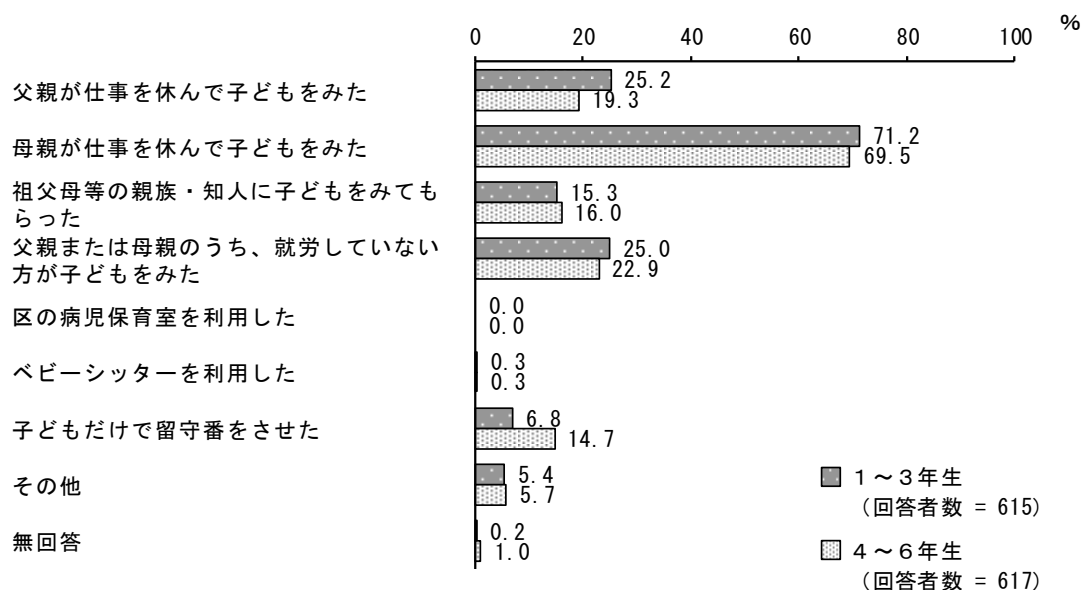
(1) 対処方法

1～3年生で「母親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が 25.2%、「父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた」の割合が 25.0%となっている。

4～6年生で「母親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた」の割合が 22.9%、「父親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が 19.3%となっている。

学年別でみると、1～3年生で「父親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が、4～6年生で「子どもだけで留守番をさせた」の割合が高くなっている。

図表 307 子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対処方法



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問 19 で「この 1 年間にお子さんが病気やケガで学校を休んだことがあった」と答えた人

調査結果 小学生

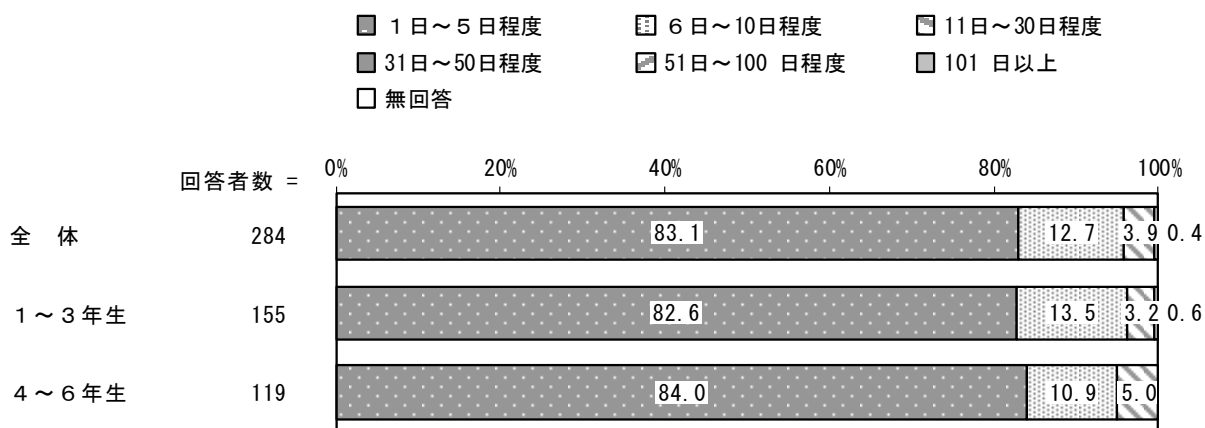
(2) 対処日数

ア 父親が仕事を休んで子どもをみた

全体では、「1日～5日程度」の割合が83.1%と最も高く、次いで「6日～10日程度」の割合が12.7%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 308 父親が仕事を休んで子どもをみた際の対処日数



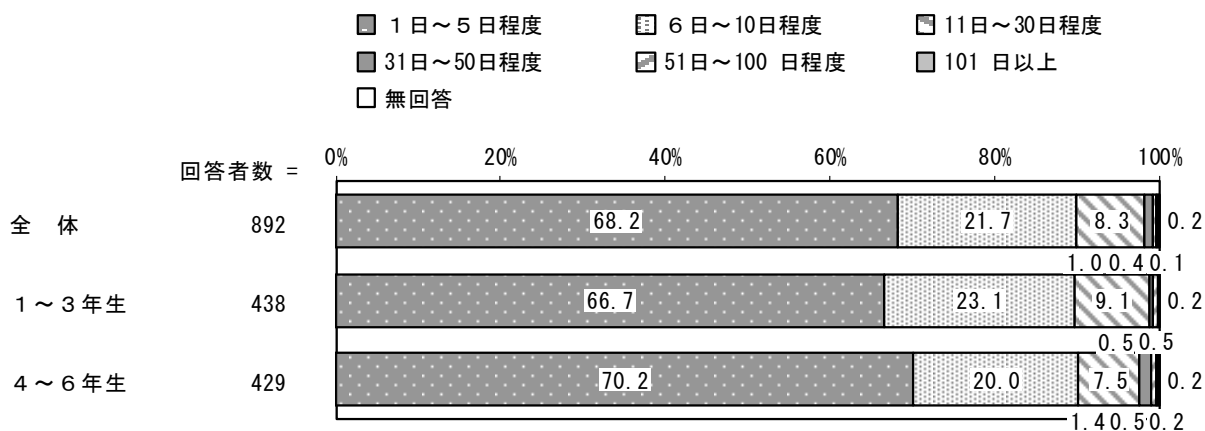
※回答対象は問19-1(1)で「父親が休んで子どもをみた」と答えた人

イ 母親が仕事を休んで子どもをみた

全体では、「1日～5日程度」の割合が68.2%と最も高く、次いで「6日～10日程度」の割合が21.7%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 309 母親が仕事を休んで子どもをみた際の対処日数



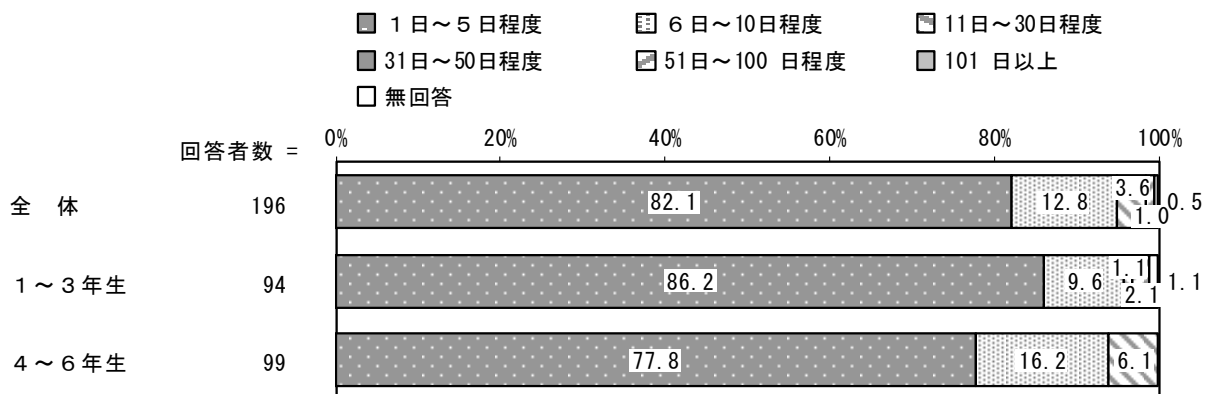
※回答対象は問19-1(1)で「母親が休んで子どもをみた」と答えた人

ウ 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった

全体では、「1日～5日程度」の割合が82.1%と最も高く、次いで「6日～10日程度」の割合が12.8%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 310 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった際の対処日数



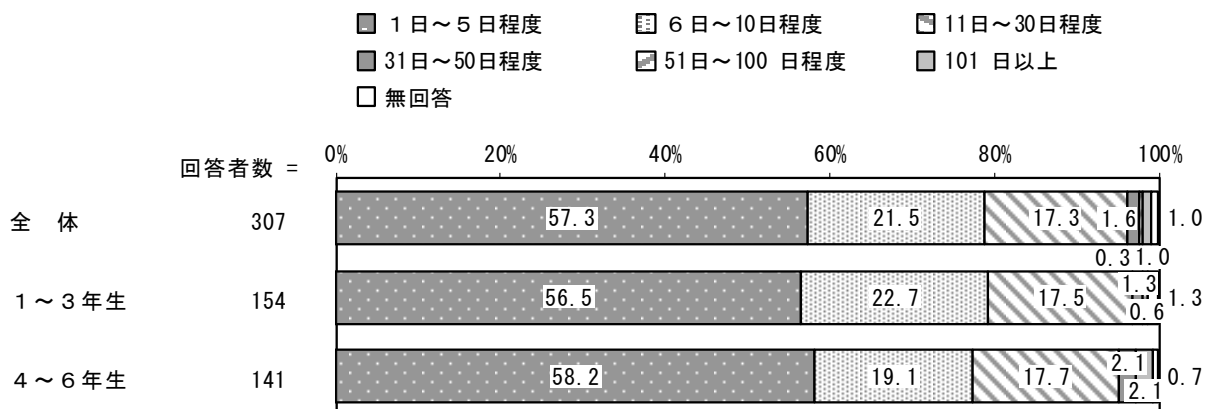
※回答対象は問 19-1 (1) で「祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」と答えた人

エ 父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた

全体では、「1日～5日程度」の割合が57.3%と最も高く、次いで「6日～10日程度」の割合が21.5%、「11日～30日程度」の割合が17.3%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 311 父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた際の対処日数



※回答対象は問 19-1 (1) で「父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた」と答えた人

調査結果 小学生

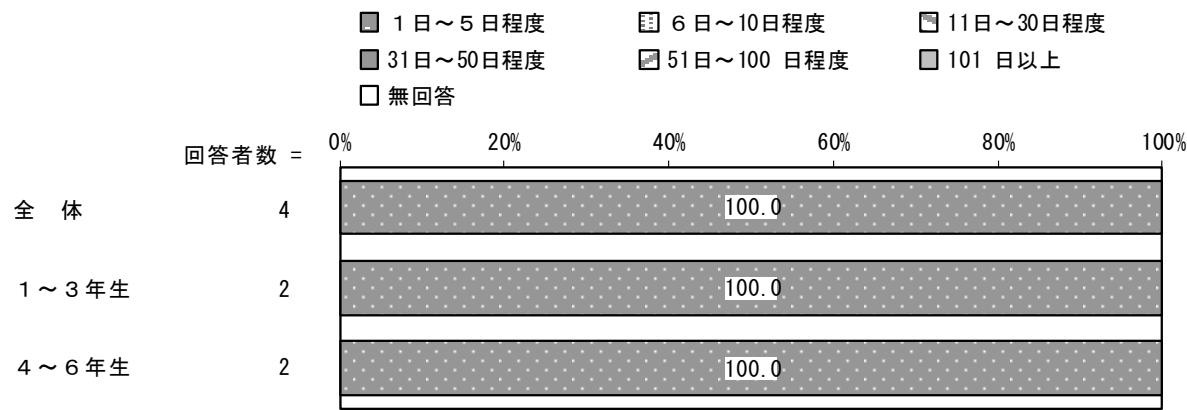
オ 区の病児保育室を利用した

有効な回答はなかった。

カ ベビーシッターを利用した

ベビーシッターを利用した対処日数について、以下の図の通りである。

図表 312 ベビーシッターを利用した際の対処日数



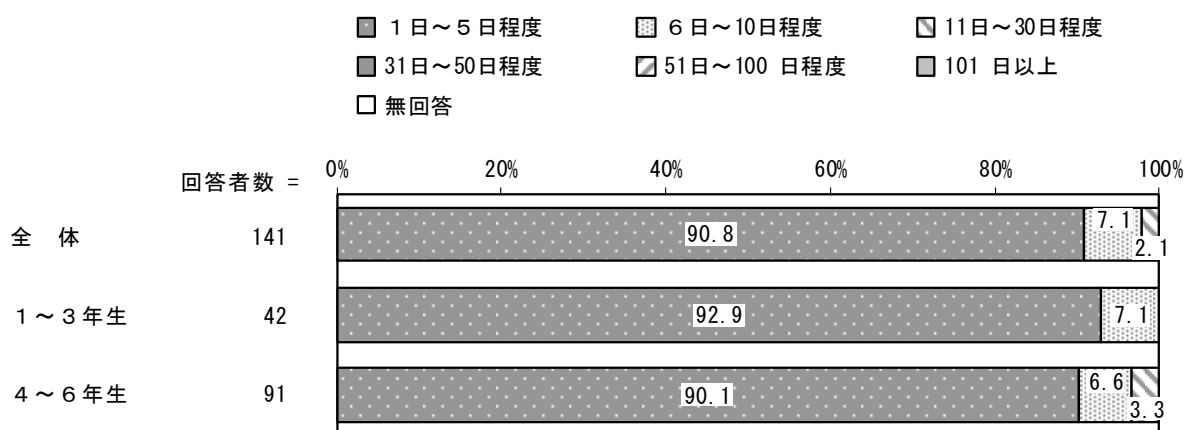
※回答対象は問 19－1（１）で「ベビーシッターを利用した」と答えた人

キ 子どもだけで留守番をさせた

全体では、「1日～5日程度」の割合が90.8%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 313 子どもだけで留守番をさせた際の対処日数



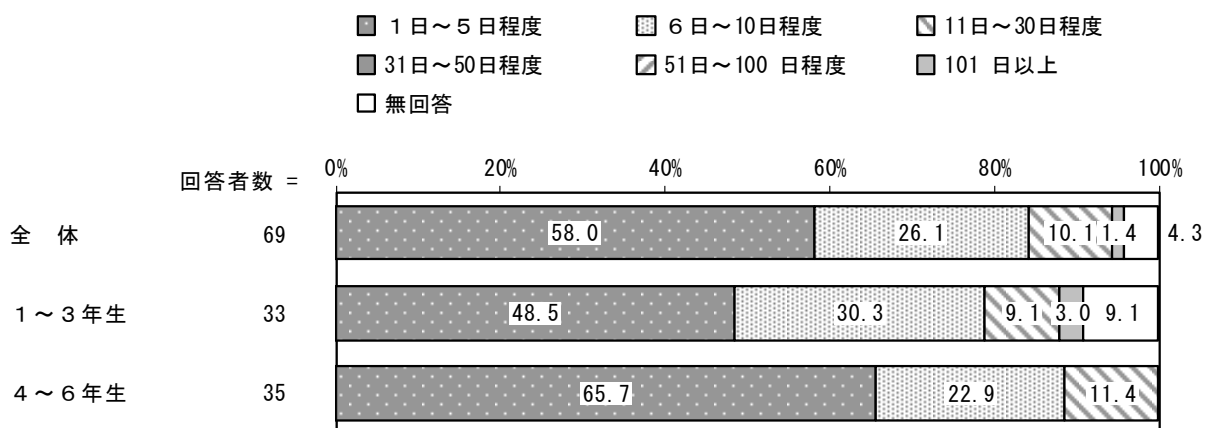
※回答対象は問19-1(1)で「子どもだけで留守番をさせた」と答えた人

ク その他

全体では、「1日～5日程度」の割合が58.0%と最も高く、次いで「6日～10日程度」の割合が26.1%、「11日～30日程度」の割合が10.1%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、4～6年生で「1日～5日程度」の割合が高くなっている。

図表 314 その他の対処日数



※回答対象は問19-1(1)で「その他」と答えた人

調査結果 小学生

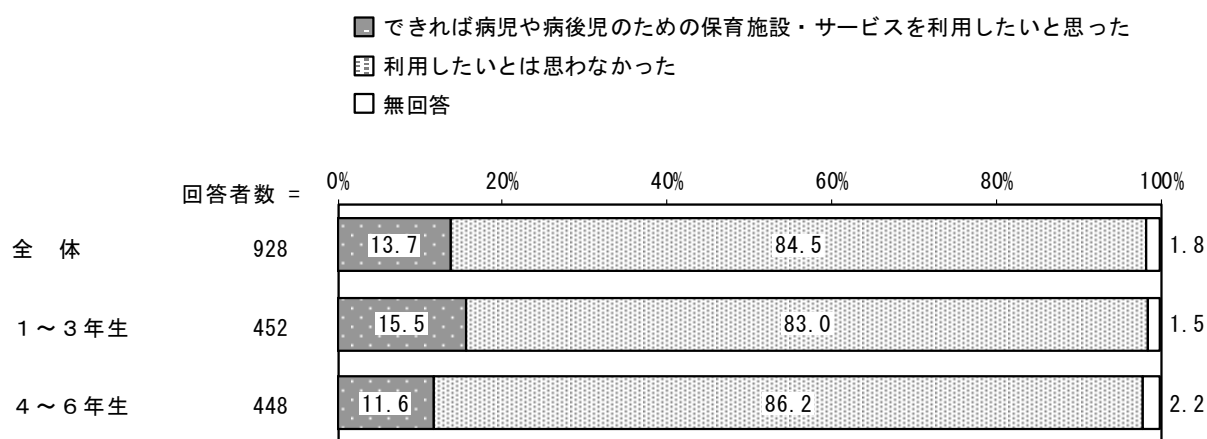
2-7-1-3 病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向

問 19-2 父親または母親が休んだ際、「できれば病児や病後児のための保育施設・保育サービスを利用したい」と思われましたか（○は1つだけ）。

全体では、「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」の割合が13.7%、「利用したいとは思わなかった」の割合が84.5%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 315 病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向



※回答対象は問 19-1 で「父親が仕事を休んで子どもをみた」または「母親が仕事を休んで子どもをみた」と答えた人

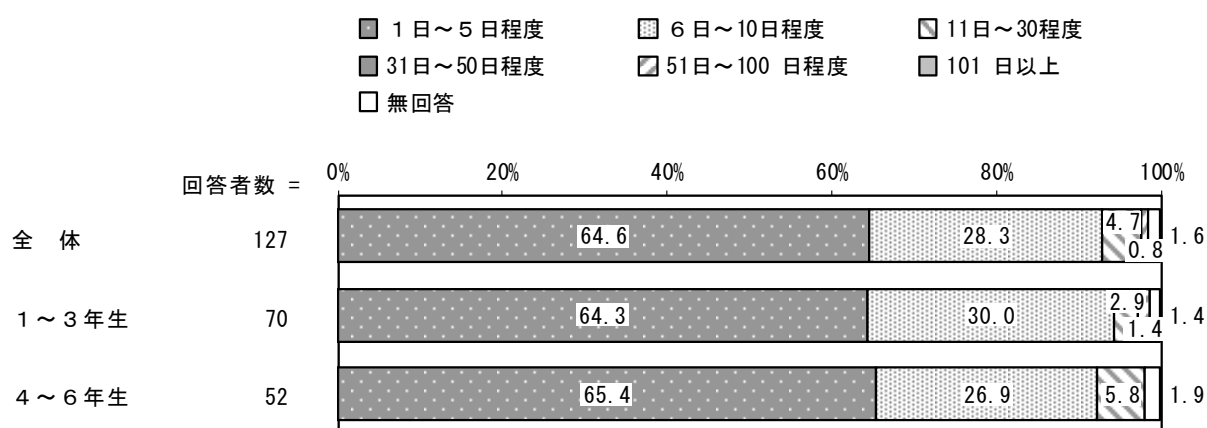
2-7-1-4 病児や病後児のための保育施設やサービスを希望した日数

問 19-3 病児・病後児のための保育施設やサービスを利用したいと思った日は何日くらいありましたか。およその日数（年間）をお答えください（カッコ内に数字で）。

全体では、「1日～5日程度」の割合が64.6%と最も高く、次いで「6日～10日程度」の割合が28.3%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 316 病児や病後児のための保育施設やサービスを希望した日数



※回答対象は問 19-2 で「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」と答えた人

2-7-1-5 病児や病後児のための保育施設やサービスの望ましい事業形態

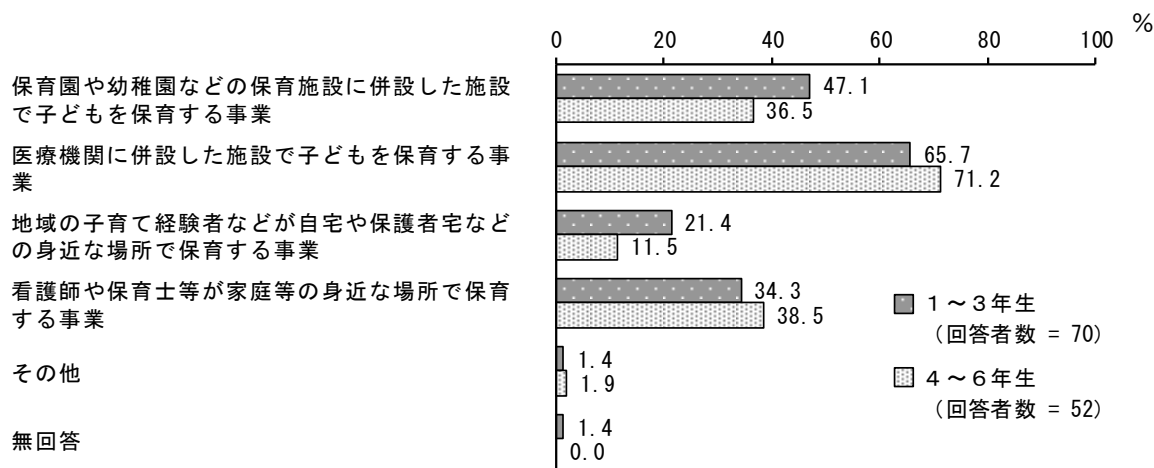
問 19-4 病児・病後児のための保育施設やサービスにお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか（あてはまるものすべてに○）。

1～3年生で「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園などの保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 47.1%、「看護師や保育士等が家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が 34.3%となっている。

4～6年生で「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「看護師や保育士等が家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が 38.5%、「保育園や幼稚園などの保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 36.5%となっている。

学年別でみると、1～3年生で「保育園や幼稚園などの保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域の子育て経験者などが自宅や保護者宅などの身近な場所で保育する事業」の割合が、4～6年生で「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が高くなっている。

図表 317 病児や病後児のための保育施設やサービスの望ましい事業形態



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は小学生対象調査の全員

2-8 「一時預かり等の利用」について

2-8-1 不定期の一時預かり等の利用状況

問 20 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用した事業は次のどれですか（あてはまるものすべてに○）。
また、それぞれのおおよその日数（年間）をお答えください
（それぞれ○は1つだけ）。

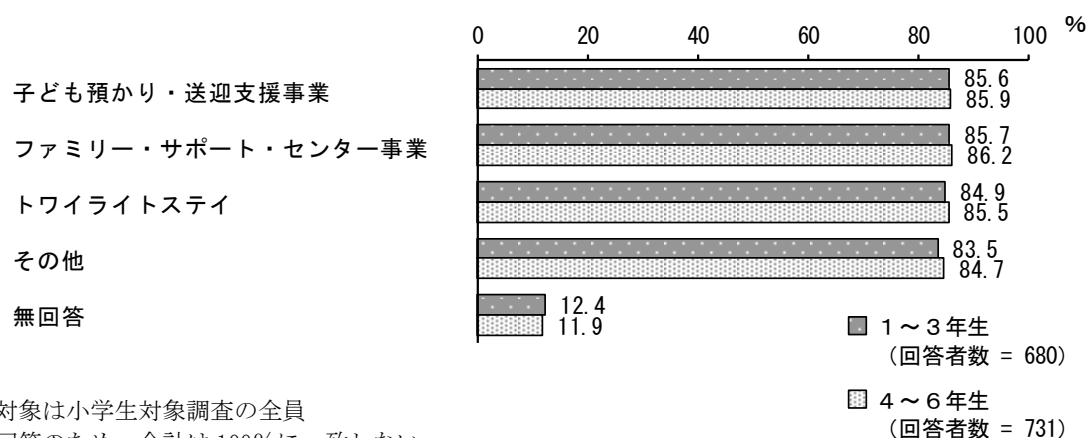
（1）現在、不定期に利用している事業

1～3年生で「ファミリー・サポート・センター事業」の割合が 85.7%と最も高く、次いで「子ども預かり・送迎支援事業」の割合が 85.6%、「トワイライトステイ」の割合が 84.9%となっている。

4～6年生で「ファミリー・サポート・センター事業」の割合が 86.2%と最も高く、次いで「子ども預かり・送迎支援事業」の割合が 85.9%、「トワイライトステイ」の割合が 85.5%となっている。

学年別でみると、大きな差はみられない。

図表 317 現在、不定期に利用している事業



※回答対象は小学生対象調査の全員

※複数回答のため、合計は100%に一致しない

調査結果 小学生

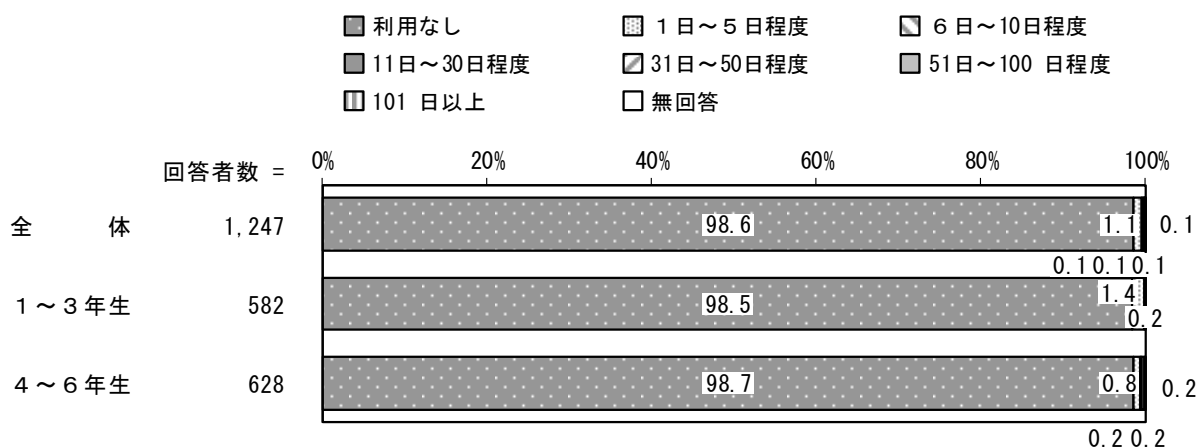
(2) 年間利用日数

ア 子ども預かり・送迎支援事業

全体では、利用したことはあるものの直近1年間では「利用なし」の割合が98.6%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 318 子ども預かり・送迎支援事業の年間利用日数



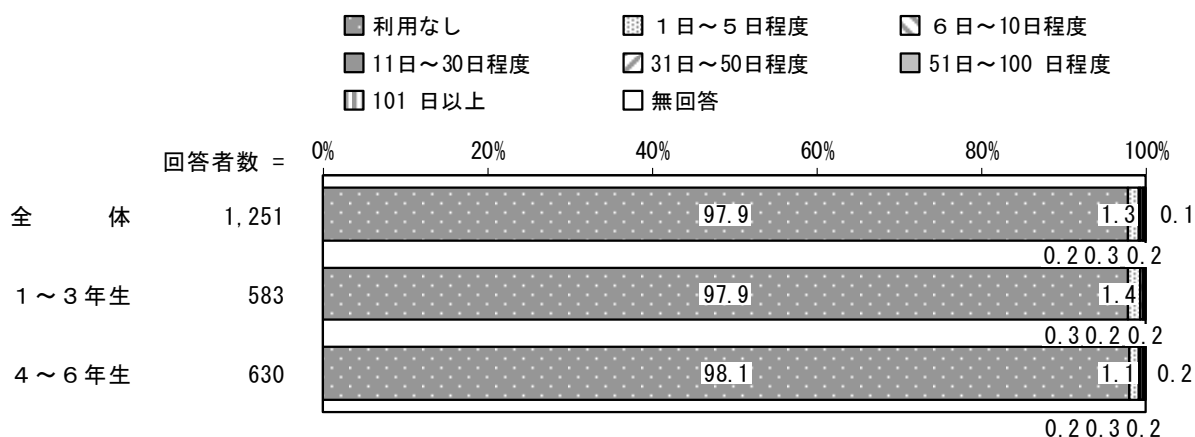
※回答対象は問20(1)で「1 不定期的に子ども預かり・送迎支援事業を利用している」と答えた人

イ ファミリー・サポート・センター事業

全体では、利用したことはあるものの直近1年間では「利用なし」の割合が97.9%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 319 ファミリー・サポート・センター事業の年間利用日数



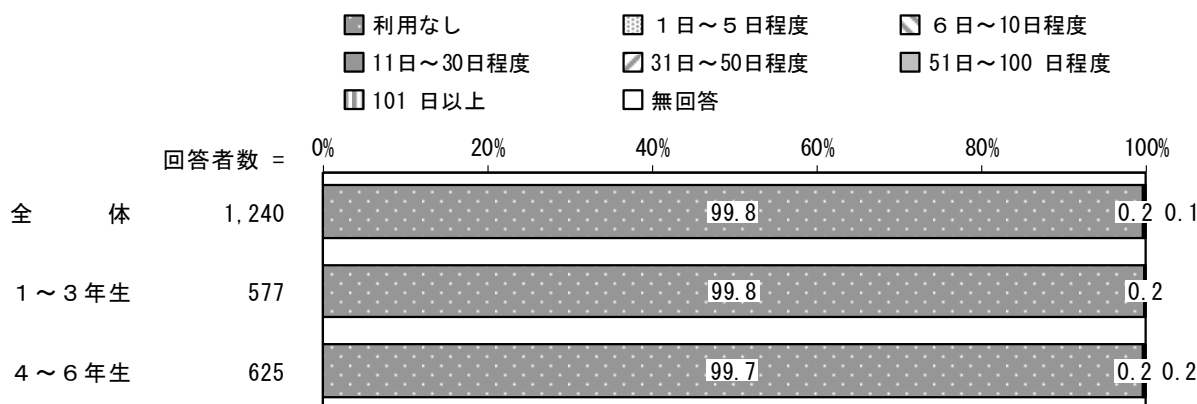
※回答対象は問20(1)で「2 不定期的にファミリー・サポート・センター事業を利用している」と答えた人

ウ トワイライトステイ

全体では、利用したことはあるものの直近1年間では「利用なし」の割合が99.8%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 320 トワイライトステイの年間利用日数



※回答対象は問20(1)で「3 不定期的にトワイライトステイを利用している」と答えた人

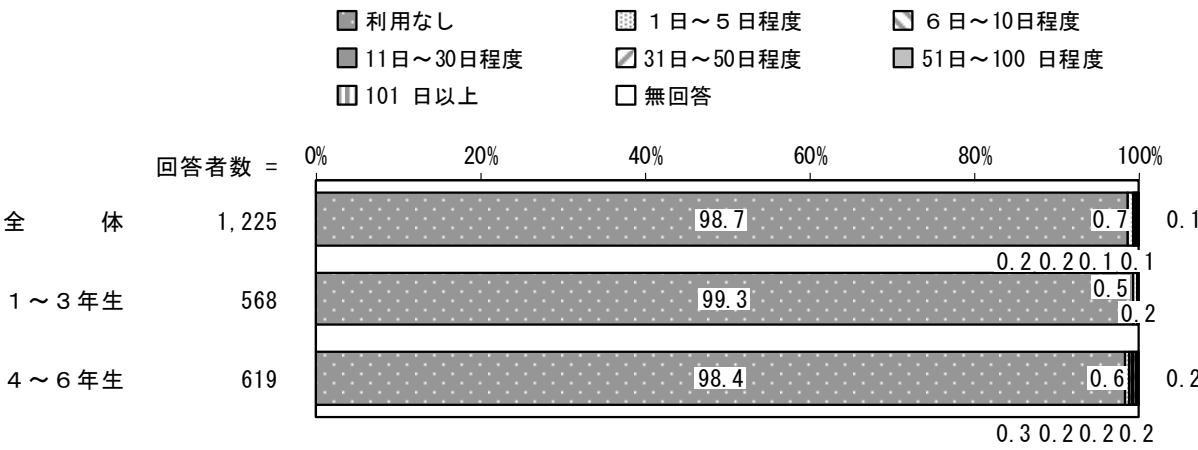
調査結果 小学生

エ その他

全体では、利用したことはあるものの直近1年間では「利用なし」の割合が98.7%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 321 その他の年間利用日数



※回答対象は問20（1）で「4 不定期的にその他を利用している」と答えた人

2-8-2 宿泊を伴う一時預かり等の状況

2-8-2-1 宿泊を伴う一時預かり等が必要となったことの有無

問 21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。
 その際、この1年間に行った対処方法は次のどれですか（あてはまるものすべてに○）。
 また、それぞれのおおよその日数（年間）をお答えください（それぞれ○は1つだけ）。

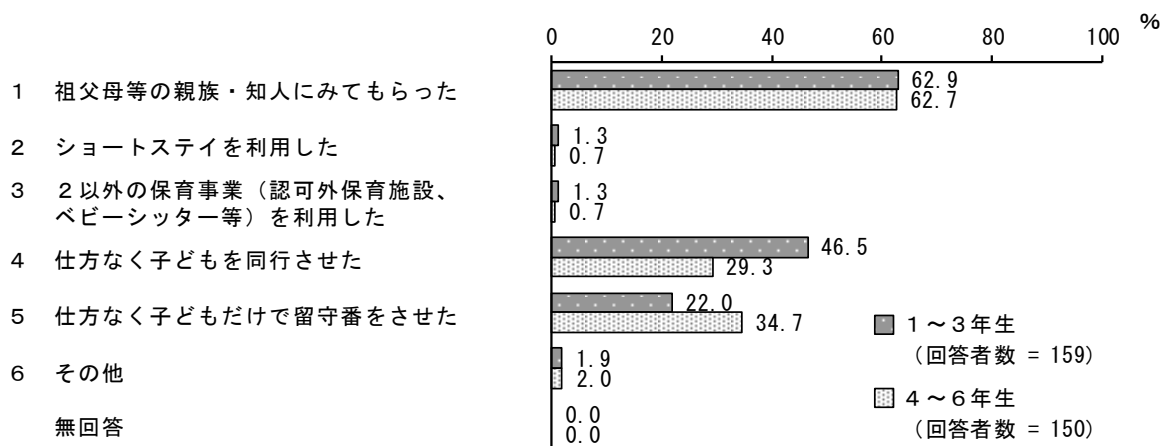
(1) この1年間に行った対処方法

1～3年生で「祖父母等の親族・知人にみてもらった」の割合が62.9%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が46.5%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合が22.0%となっている。

4～6年生で「祖父母等の親族・知人にみてもらった」の割合が62.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合が34.7%、「仕方なく子どもを同行させた」の割合が29.3%となっている。

学年別でみると、1～3年生で「仕方なく子どもを同行させた」の割合が、4～6年生で「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合が高くなっている。

図表 322 宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処方法



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

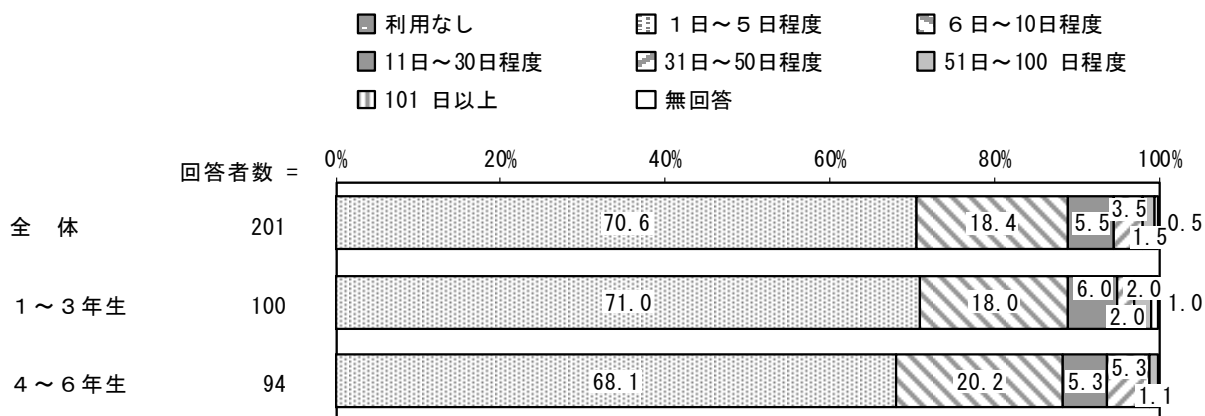
(2) 対処日数

ア 祖父母等の親族・知人にみてもらった

全体では、「1日～5日程度」の割合が70.6%と最も高く、次いで「6日～10日程度」の割合が18.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 323 祖父母等の親族・知人にみてもらった際の対処日数

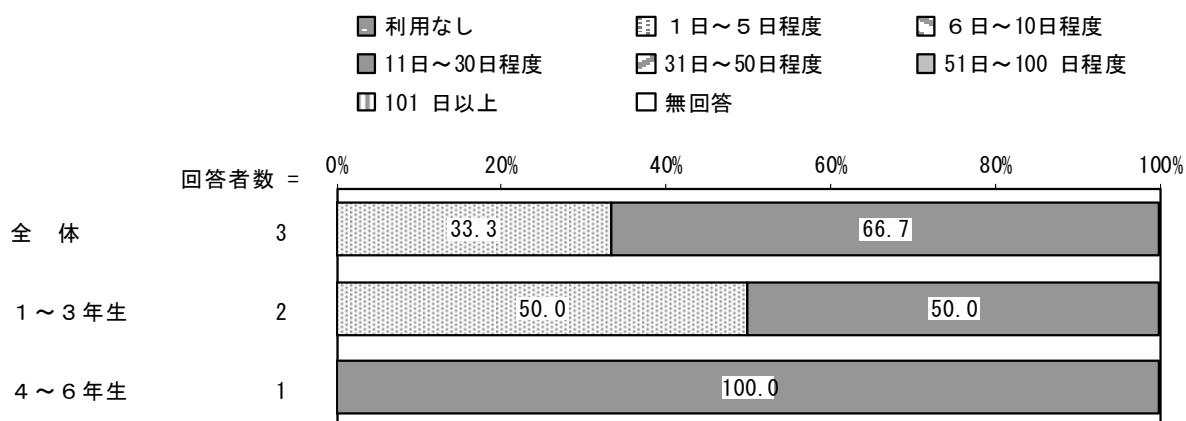


※回答対象は問21(1)で「祖父母等の親族・知人にみてもらった」と答えた人

イ ショートステイを利用した

ショートステイを利用した対処日数について、以下の図の通りである。

図表 324 ショートステイを利用した際の対処日数

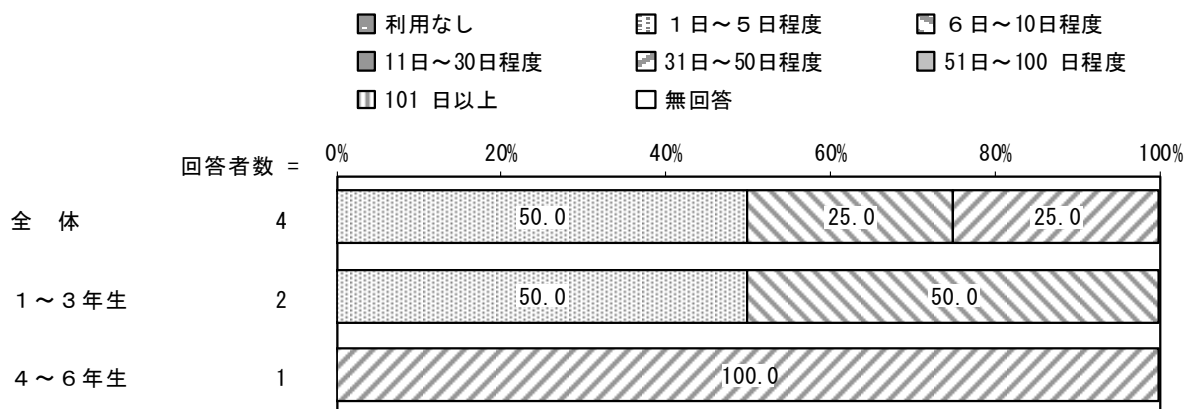


※回答対象は問21(1)で「ショートステイを利用した」と答えた人

ウ 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した

保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した対処日数について、以下の図の通りである。

図表 325 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した際の対処日数



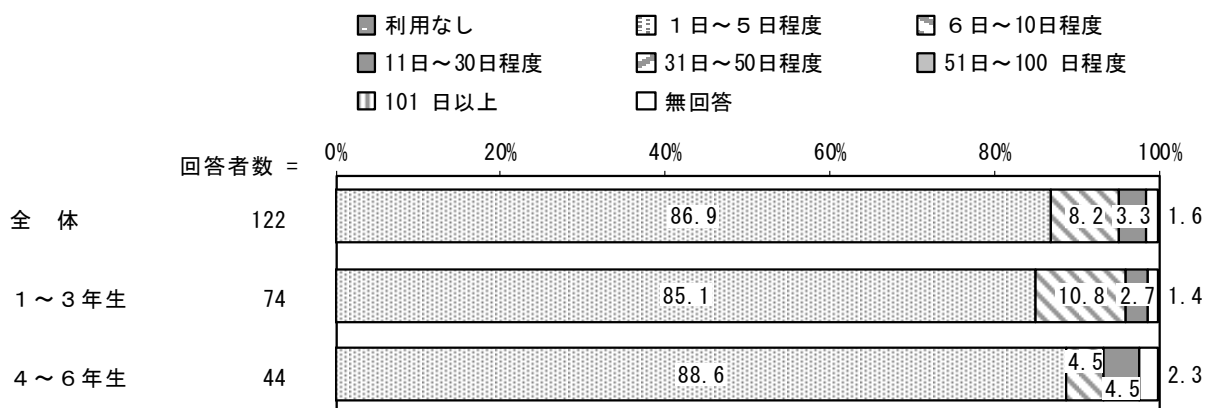
※回答対象は問 21（１）で「認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した」と答えた人

エ 仕方なく子どもを同行させた

全体では、「１日～５日程度」の割合が 86.9%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 326 仕方なく子どもを同行させた際の対処日数



※回答対象は問 21（１）で「仕方なく子どもを同行させた」と答えた人

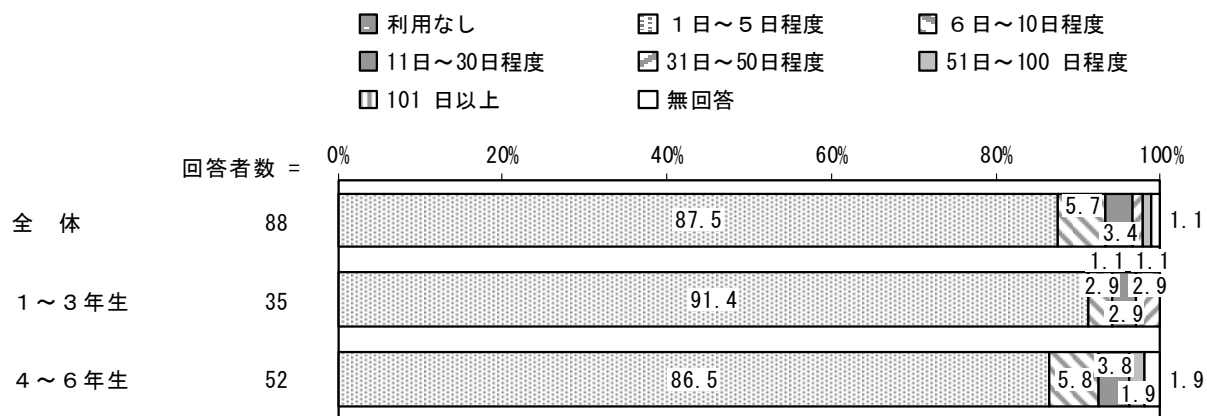
調査結果 小学生

オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

全体では、「1日～5日程度」の割合が87.5%と最も高くなっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 327 仕方なく子どもだけで留守番をさせた際の対処日数

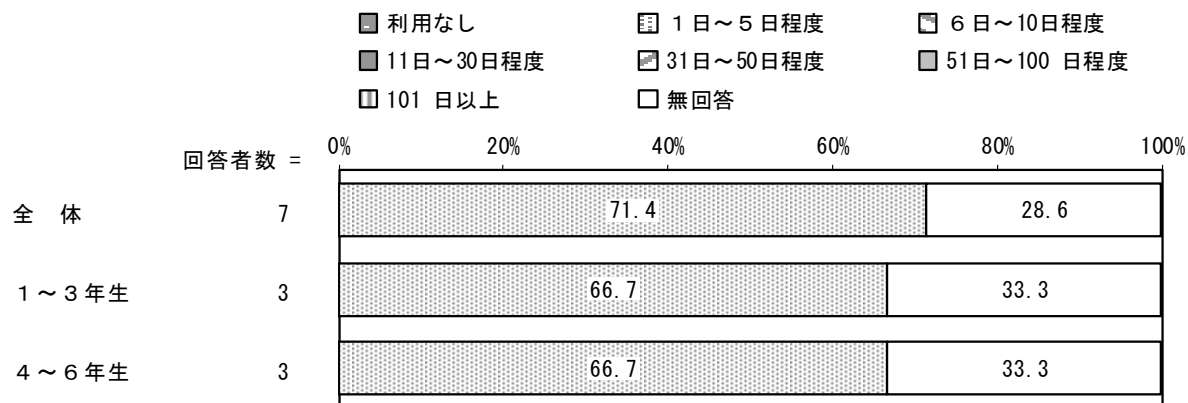


※回答対象は問 21（1）で「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と答えた人

カ その他

その他の対処日数について、以下の図の通りである。

図表 328 その他の対処日数



※回答対象は問 21（1）で「その他」と答えた人

2-9 子育て支援に関する情報について

2-9-1 子育てに関する情報の入手先

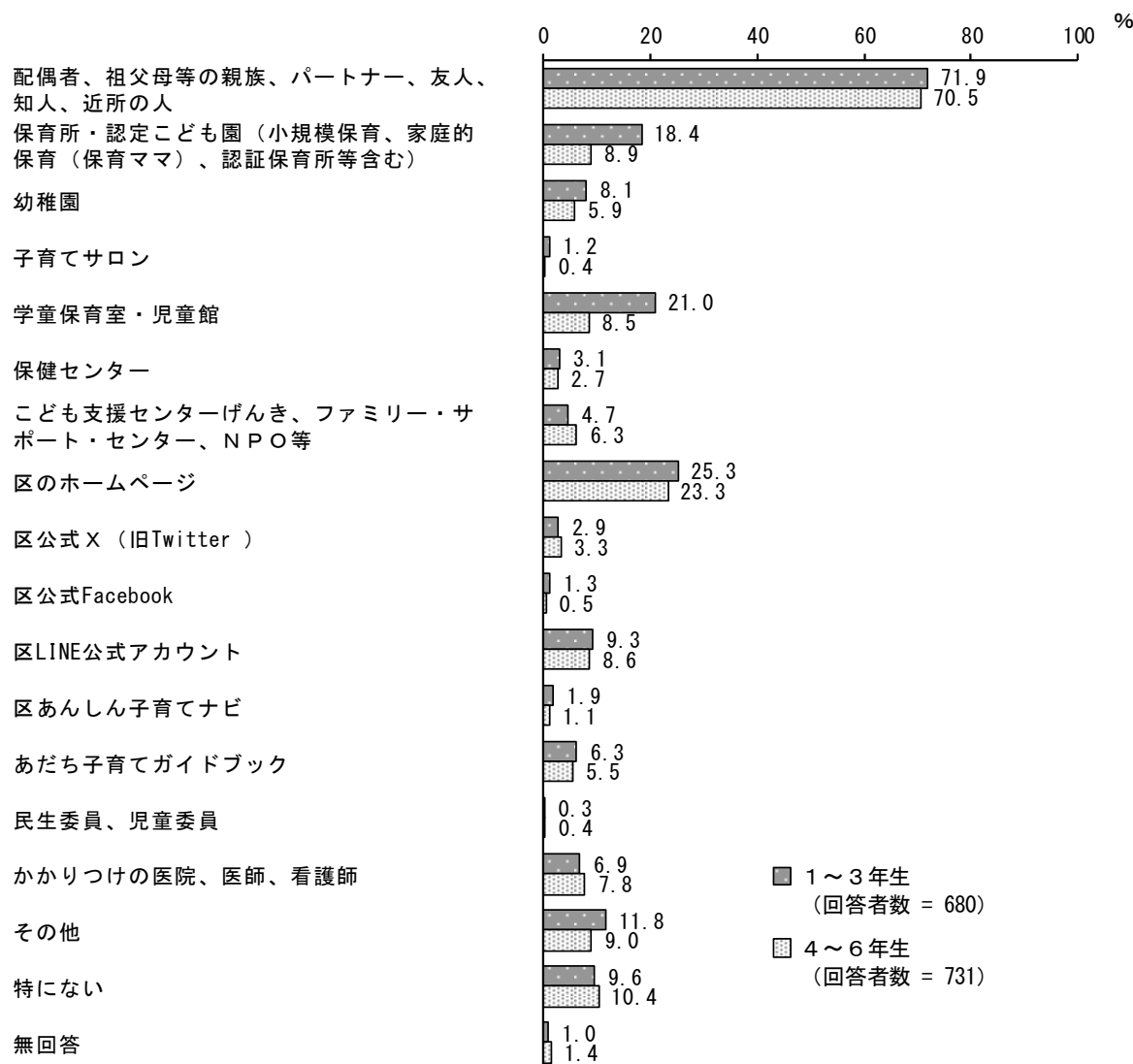
問 22 子育てに関する情報をどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)。

1～3年生で「配偶者、祖父母等の親族、パートナー、友人、知人、近所の人」の割合が71.9%と最も高く、次いで「区のホームページ」の割合が25.3%、「学童保育室・児童館」の割合が21.0%となっている。

4～6年生で「配偶者、祖父母等の親族、パートナー、友人、知人、近所の人」の割合が70.5%と最も高く、次いで「区のホームページ」の割合が23.3%、「特にない」の割合が10.4%となっている。

学年別でみると、1～3年生で「保育所・認定こども園」「学童保育室・児童館」の割合が高くなっている。

図表 329 子育てに関する情報の入手先



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は小学生対象調査の全員

調査結果 小学生

2-9-2 子育てに関して入手したい情報

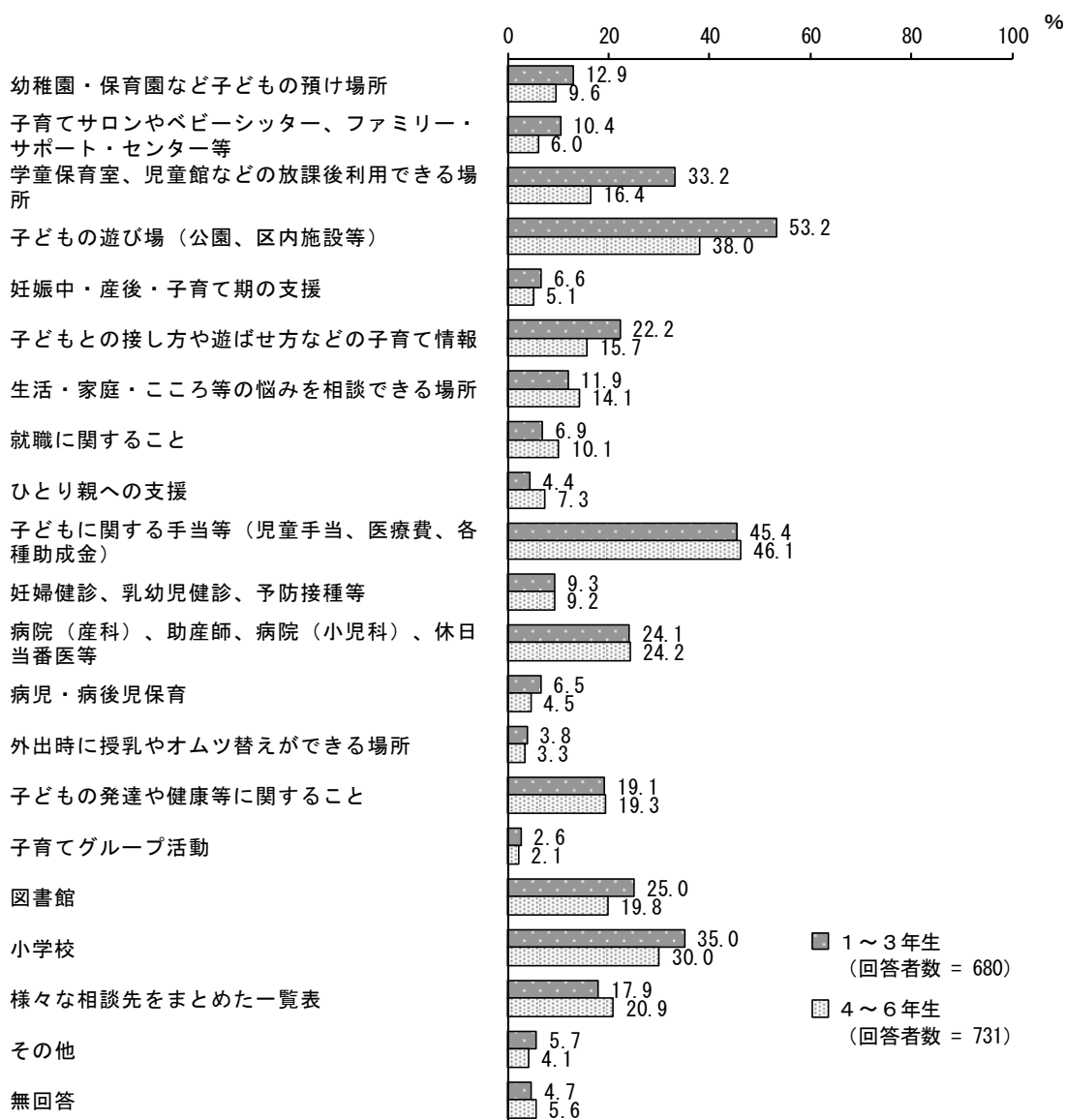
問 23 子育てに関するどのような情報を入手したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)。

1～3年生で「子どもの遊び場（公園、区内施設等）」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「子どもに関する手当等（児童手当、医療費、各種助成金）」の割合が 45.4%、「小学校」の割合が 35.0%となっている。

4～6年生で「子どもに関する手当等（児童手当、医療費、各種助成金）」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「子どもの遊び場（公園、区内施設等）」の割合が 38.0%、「小学校」の割合が 30.0%となっている。

学年別でみると、1～3年生で「学童保育室、児童館などの放課後利用できる場所」「子どもの遊び場（公園、区内施設）」「子どもとの接し方や遊ばせ方などの子育て情報」「図書館」「小学校」の割合が高くなっている。

図表 330 子育てに関して入手したい情報



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は小学生対象調査の全員

2-10 子育て全般について

2-10-1 足立区における子育てのしやすさ

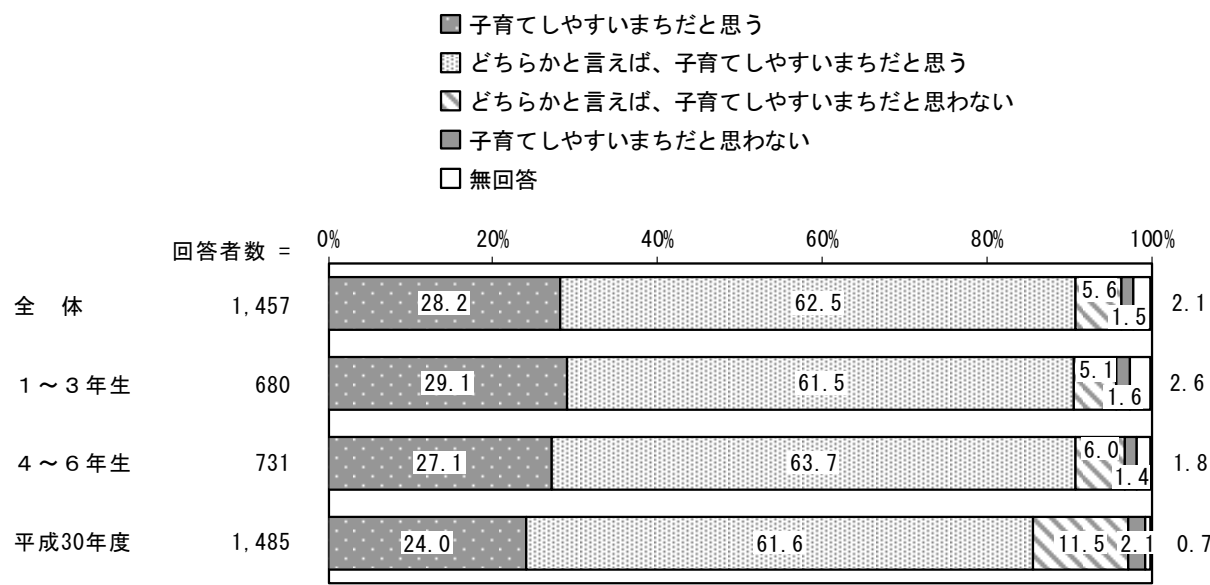
問 24 足立区は、子育てしやすいまちだと思いますか（○は1つだけ）。

全体では、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」の割合が 28.2%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

平成 30 年度調査と比較すると、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思わない」の割合が減少している。

図表 331 足立区における子育てのしやすさ



※回答対象は小学生対象調査の全員

2-10-2 足立区が子育てしやすいまちだと思える理由

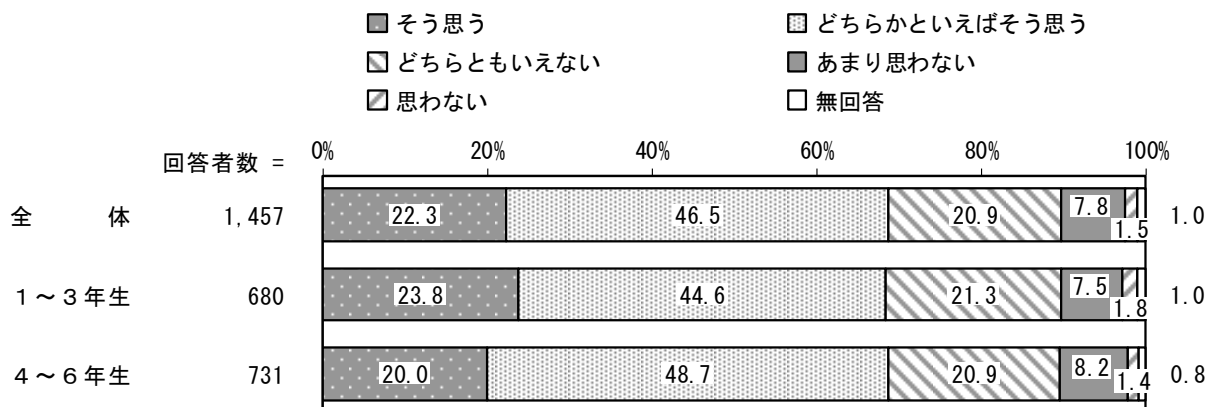
問 25 足立区の子育て環境についてどのように思いますか（〇はそれぞれ1つずつ）。

1 住環境が良い

全体では、「どちらかといえばそう思う」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 22.3%、「どちらともいえない」の割合が 20.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 332 足立区が子育てしやすいまちだと思える理由・住環境が良い



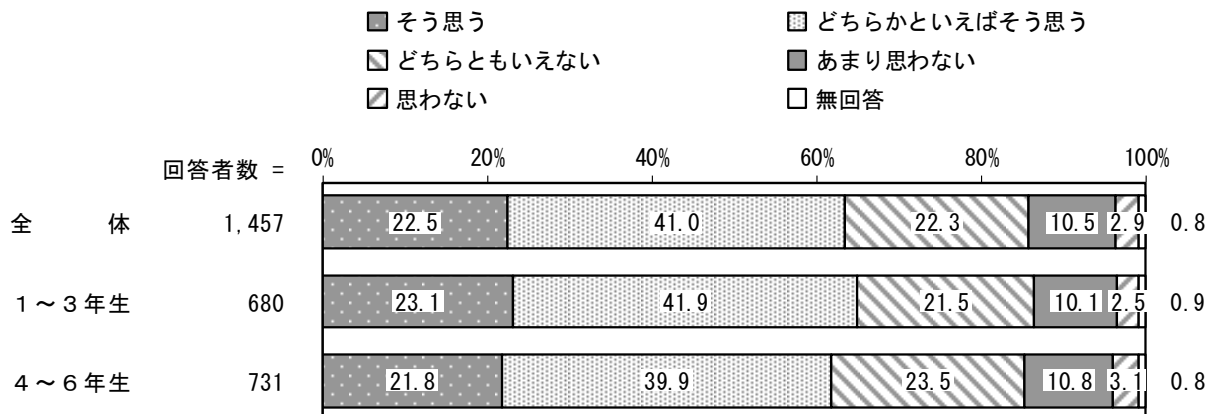
※回答対象は小学生対象調査の全員

2 自然環境が良い

全体では、「どちらかといえばそう思う」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 22.5%、「どちらともいえない」の割合が 22.3%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 333 足立区が子育てしやすいまちだと思える理由・自然環境が良い



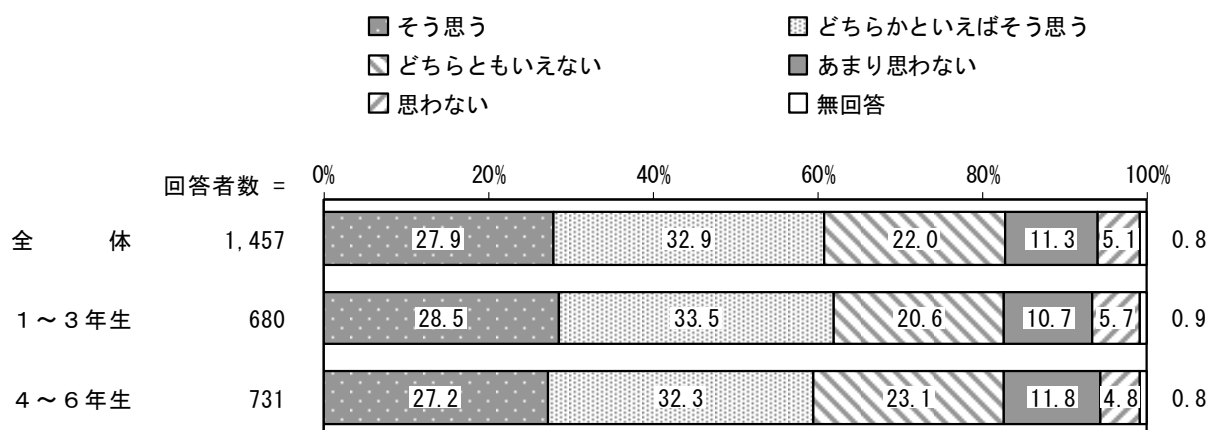
※回答対象は小学生対象調査の全員

3 交通機関が便利

全体では、「どちらかといえばそう思う」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 27.9%、「どちらともいえない」の割合が 22.0%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 334 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・交通機関が便利



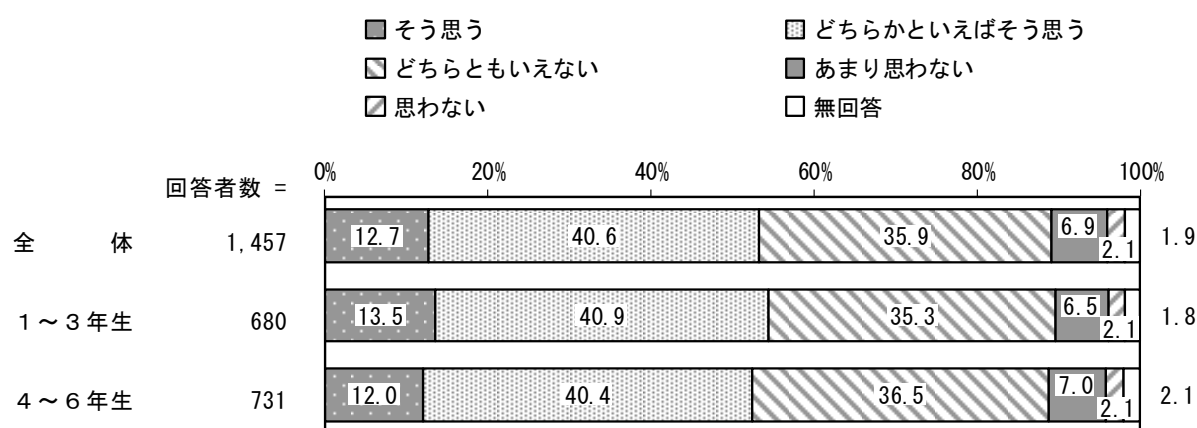
※回答対象は小学生対象調査の全員

4 保育サービス等が充実している

全体では、「どちらかといえばそう思う」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 35.9%、「そう思う」の割合が 12.7%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 335 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・保育サービス等が充実している



※回答対象は小学生対象調査の全員

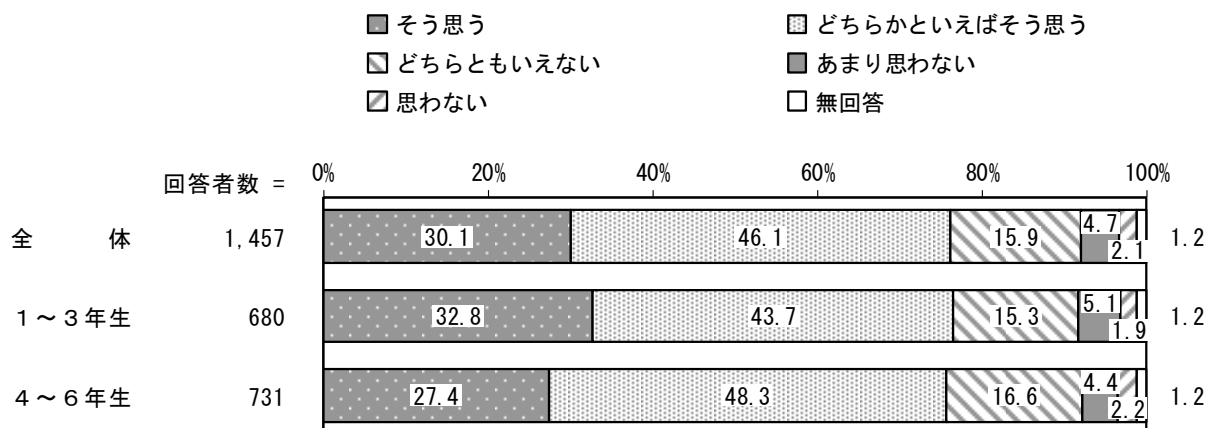
調査結果 小学生

5 小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい

全体では、「どちらかといえばそう思う」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 30.1%、「どちらともいえない」の割合が 15.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 336 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい



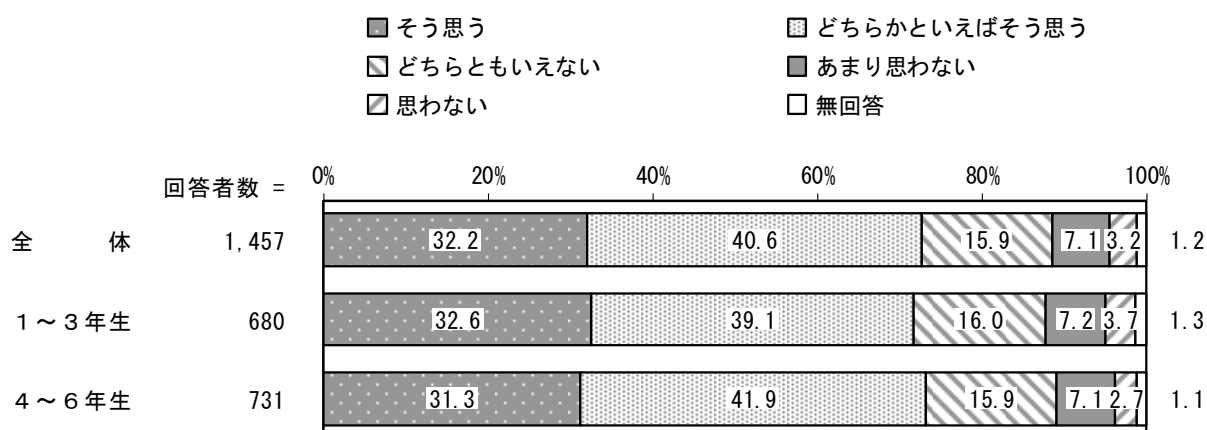
※回答対象は小学生対象調査の全員

6 子育てサロンや児童館・図書館が近所にある

全体では、「どちらかといえばそう思う」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 32.2%、「どちらともいえない」の割合が 15.9%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 337 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・子育てサロンや児童館・図書館が近所にある



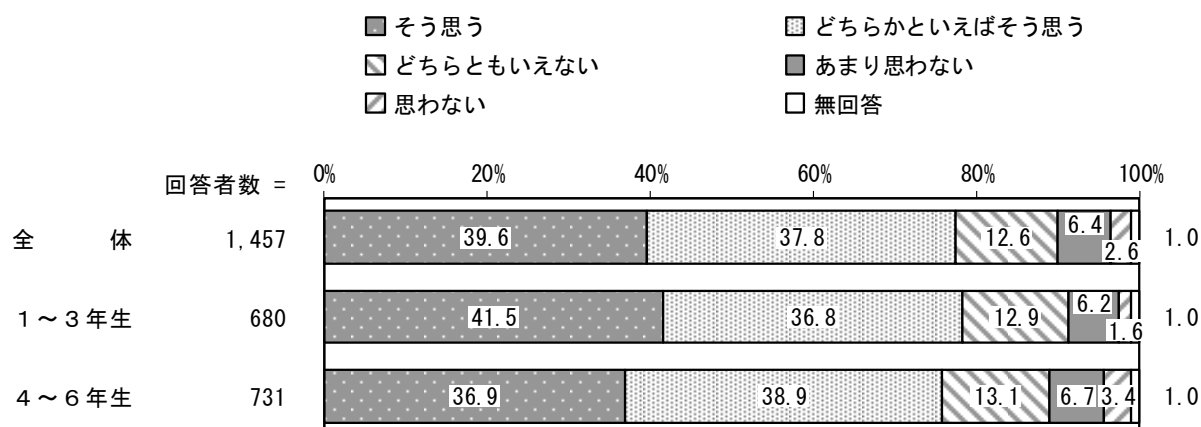
※回答対象は小学生対象調査の全員

7 公園など子どもの遊び場が多い

全体では、「そう思う」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 37.8%、「どちらともいえない」の割合が 12.6%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 338 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・公園など子どもの遊び場が多い



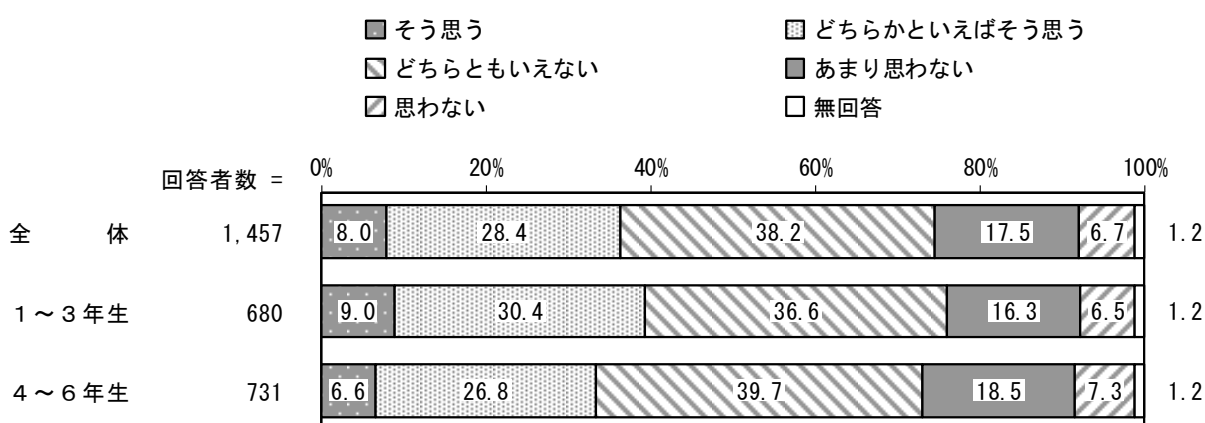
※回答対象は小学生対象調査の全員

8 近所づきあいや地域活動が盛ん

全体では、「どちらともいえない」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 28.4%、「あまり思わない」の割合が 17.5%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 339 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・近所づきあいや地域活動が盛ん



※回答対象は小学生対象調査の全員

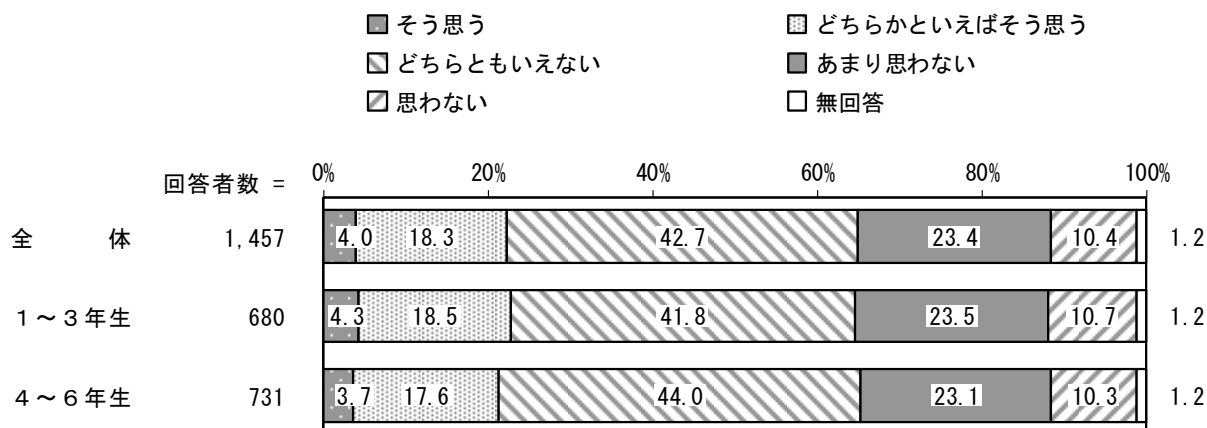
調査結果 小学生

9 地域の子育てネットワークができている

全体では、「どちらともいえない」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 23.4%、「どちらかといえばそう思う」の割合が 18.3%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 340 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・地域の子育てネットワークができている



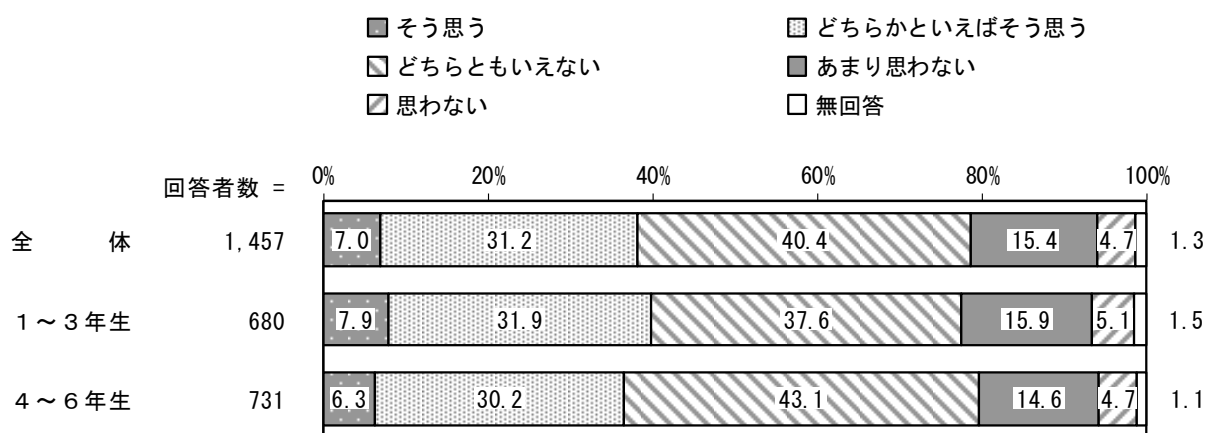
※回答対象は小学生対象調査の全員

10 子育てに関する情報が得やすい

全体では、「どちらともいえない」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 31.2%、「あまり思わない」の割合が 15.4%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 341 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・子育てに関する情報が得やすい



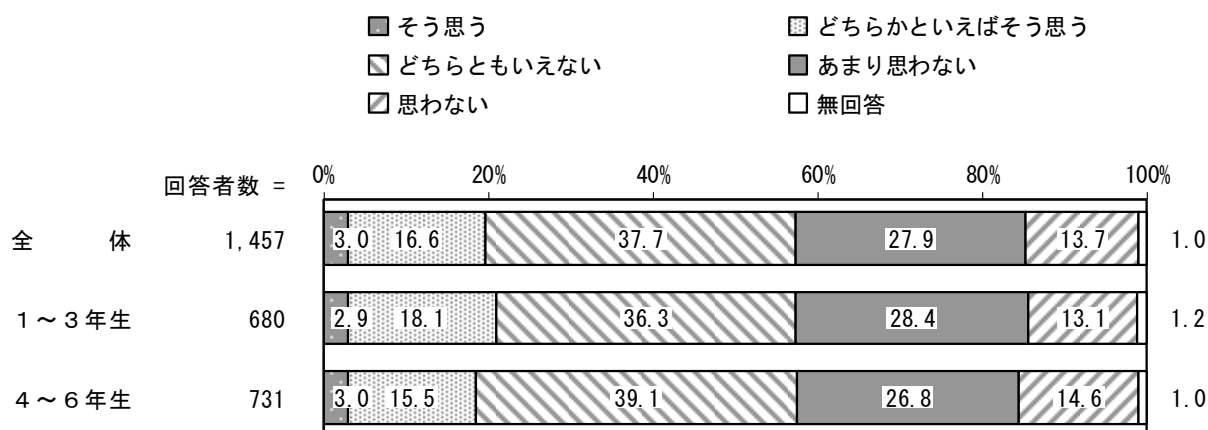
※回答対象は小学生対象調査の全員

11 事故や犯罪が少なく安全

全体では、「どちらともいえない」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 27.9%、「どちらかといえばそう思う」の割合が 16.6%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 342 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・事故や犯罪が少なく安全



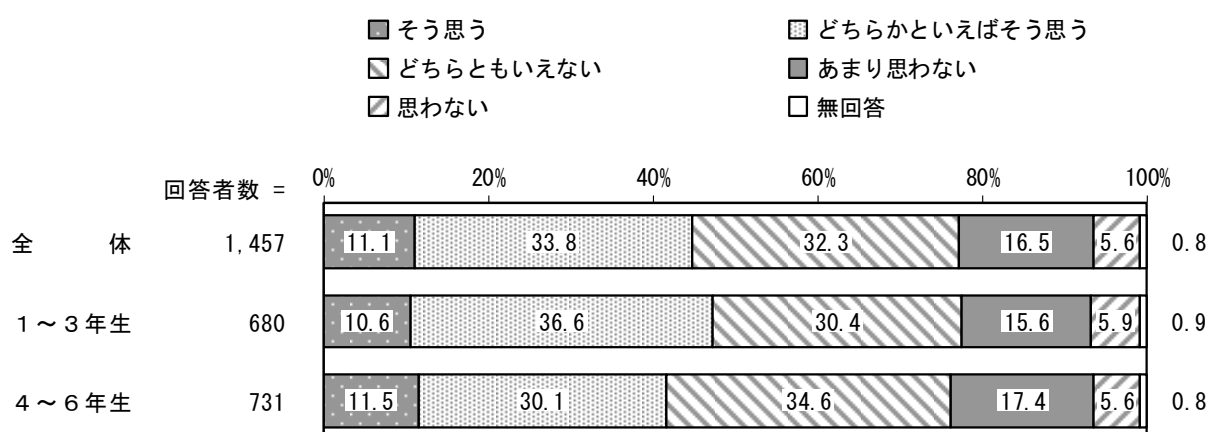
※回答対象は小学生対象調査の全員

12 医療機関や専門的な相談先が身近にある

全体では、「どちらかといえばそう思う」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 32.3%、「あまり思わない」の割合が 16.5%となっている。

学年別でみると、全体と比べて、大きな差はみられない。

図表 343 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由・医療機関や専門的な相談先が身近にある



※回答対象は小学生対象調査の全員